
Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter
ユーザーズガイド

免責事項

本書の内容の一部、または全部を無断で複製することはできません。

本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書に記載されている以外の方法で本製品を操作した結果、たとえ本製品がインストールされているお客様所有のコンピュータに何らかの障害が発生しても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品のサポートサービスに関する詳細は、当社営業担当にお問い合わせください。

他社商標

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VMware vSphere は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

VMware および ESXi は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

その他すべてのブランド名および製品名は個々の所有者の登録商標または商標です。

なお、本文中では®および™は明記していません。

Copyright 1999-2009 Contributors to log4cplus project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

輸出管理について

このドキュメントにより、提供された技術やプログラム又は購入した製品を輸出(又は非居住者への提供)する場合は、「外国為替および外国貿易法」その他適用される法令を遵守してください。

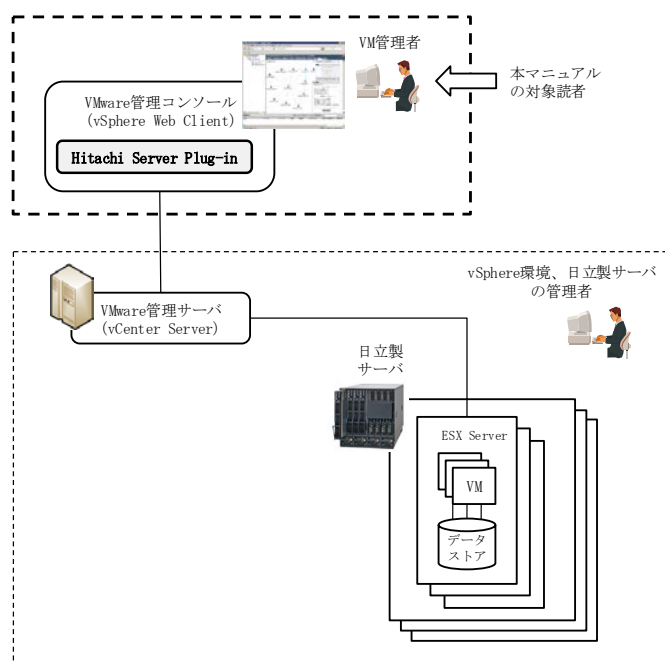
はじめに

本書は、日立製サーバ用の「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter ユーザーズガイド」です。本書では、Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter (以下、Hitachi Compute Plug-in) が提供する機能、システムの前環境、環境構築の手順、トラブルシューティングについて説明しています。

対象読者

本書は、次の方を対象読者として記述しています。

- VMware 管理コンソール(vSphere Web Client)を操作し、日立製サーバの構成確認または設定作業(電源操作等)を実施する方(以下、VM 管理者)



本書は、VM 管理者が Hitachi Compute Plug-in をインストールおよび操作する上で必要となる情報のみを提供しております。したがって、Hitachi Compute Plug-in を動作させる上で前提となる vSphere 環境や日立製サーバの設定方法については記載しておりませんので、vSphere 環境の管理者および日立製サーバの管理者へ依頼し、事前に前提システムの構築作業を完了しておいてください。

また、本書では Hitachi Compute Plug-in を使用中に発生した問題へのトラブルシューティング情報も提供します。VM 管理者は本書が提供する情報をもとに、原因となる部位の切り分けを行います。Hitachi Compute Plug-in 側の問題である場合は、Hitachi Compute Plug-in のサポート窓口にお問い合わせください。また、vSphere 環境もしくは日立製サーバが原因であると分かった場合には、それぞれの管理者へ連絡を行い、環境の確認、原因の調査および問題の解決を行う必要があります。

前提知識

本書は、次の知識がある方を対象として記述しています。

- Microsoft Windows Server、および Microsoft Windows の基本的な操作を理解している
- vSphere Web Client の基本的な操作を理解している

関連ドキュメント

関連するドキュメントを以下に示します。

- VMware vSphere Hypervisor および VMware vCenter Server 5.1 のドキュメント
- VMware vSphere Hypervisor および VMware vCenter Server 5.5 のドキュメント
- VMware vSphere Hypervisor および VMware vCenter Server 6.0 のドキュメント
- Hitachi Compute Systems Manager マニュアル一式
- BladeSymphony BS500 マニュアル一式
- BladeSymphony BS2000 マニュアル一式
- BladeSymphony BS2500 マニュアル一式
- HA8000 シリーズ マニュアル一式

本書に記載されている画面図について

本書では、Windows コンピュータ上の画面を掲載しています。掲載されている画面図の色は、ご利用のディスプレイ上に表示される画面の色と異なる場合があります。

vSphere Web Client の画面は vSphere Web Client 5.1 のものを掲載しています。

発行暦

版番号	発行年月	変更内容
第 2 版	2014 年 6 月	
第 3 版	2014 年 11 月	バージョンアップに伴う記載変更
第 4 版	2015 年 2 月	バージョンアップに伴う記載変更
第 5 版	2015 年 7 月	バージョンアップに伴う記載変更

本書内で使用する用語および略語

#	用語 および 略語	説明
1.	Add 機能	Add Chassis および Add Rack-mounted Server を指します。
2.	Datacenter (データセンター)	vCenter Server で、ESXi ホストやデータストアを一元管理するための管理単位です。
3.	ESXi	VMware vSphere Hypervisor もしくは VMware ESXi のことを、本書内では ESXi と呼びます。ESXi は、VMware 社のベアメタル型ハイパーバイザ(仮想化 OS)です。
4.	HBA	Host Bus Adapter の略。 コンピュータと他のネットワーク機器やストレージ装置を接続するハードウェアです。
5.	HCSM	Hitachi Compute Systems Manager の略。 Hitachi Command Suite に含まれるソフトウェアのひとつで、複数のサーバを一元管理するためのソフトウェアです。
6.	Hitachi Command Suite	大規模かつ複雑な環境下で、ストレージリソースの運用を支援するストレージ管理ソフトウェア群です。
7.	Remove 機能	Remove Chassis および Remove Rack-mounted Server を指します。
8.	vCenter Server	VMware vCenter Server の略。 VMware 社の仮想環境を統括管理するための管理サーバウェアです。複数の ESXi をデータセンターという単位にまとめ、一括で管理を行うことが可能となります。
9.	VM	Virtual Machine の略。
10.	vSphere Web Client	VMware 社の仮想環境管理コンソールです。vSphere Client の機能を Web アプリケーション化したものです。 1 台のサーバマシンにインストールして運用します。 vSphere 6.0 以降の場合、vCenter Server とともにサービスの一部としてインストールされます。
11.	WWN	World Wide Name の略。

目次

1. 製品概要.....	1
2. 前提要件.....	2
2.1 システム構成.....	2
2.2 前提ハードウェア.....	5
2.3 前提ソフトウェア.....	5
2.3.1 オペレーティングシステム.....	5
2.3.2 ソフトウェア.....	6
2.4 HCSM 設定.....	7
2.5 管理対象のサポート機種.....	8
3. 制限事項、留意事項.....	9
3.1 環境構築での制限事項、留意事項.....	9
3.2 運用での制限事項、留意事項.....	10
4. インストールと設定.....	12
4.1 環境構築手順.....	12
4.1.1 環境構築の流れ.....	12
4.1.2 vSphere 環境構築.....	13
4.1.3 管理対象日立製サーバの確認.....	13
4.2 インストール.....	14
4.2.1 保守用設定ファイルの変更.....	17
4.3 アンインストール.....	18
4.3.1 インストーラを使用したアンインストール.....	18
4.3.2 コントロールパネルを使用したアンインストール.....	20
4.4 修復インストール.....	24
4.4.1 インストーラを使用した修復インストール.....	24
4.4.2 コントロールパネルを使用した修復インストール.....	26
4.5 更新インストール（バージョンアップ）.....	27
4.6 Hitachi Compute Plug-in の有効化と無効化.....	29
5. Hitachi Compute Plug-in の画面表示手順.....	30
6. 機能詳細.....	33
6.1 機能一覧.....	33
6.2 設定機能.....	34
6.2.1 Add Chassis.....	34
6.2.1.1 シャーシの登録.....	34
6.2.2 Remove Chassis.....	40
6.2.3 Add Rack-mounted Server.....	42
6.2.3.1 ラックマウントサーバの登録.....	42

6.2.4 Remove Rack-mounted Server	48
6.3 操作機能	50
6.3.1 電源操作	50
6.3.2 LID 操作	53
6.3.3 リフレッシュ	55
6.4 情報表示	57
6.4.1 Chassis List 画面	57
6.4.1.1 Chassis List	57
6.4.1.2 Chassis Information List	58
6.4.2 Chassis 詳細画面	59
6.4.2.1 サマリ	59
6.4.2.2 シャーンに関する関連オブジェクト	62
6.4.3 Server Blade List 画面	64
6.4.3.1 Server Blade List	64
6.4.3.2 Server Blade Information List	64
6.4.4 Server Blade 詳細画面	66
6.4.4.1 サマリ	66
6.4.4.2 サーバブレードに関する関連オブジェクト	68
6.4.5 Rack-mounted Server List 画面	69
6.4.5.1 Rack-mounted Server List	69
6.4.5.2 Rack-mounted Server Information List	69
6.4.6 Rack-mounted Server 詳細画面	71
6.4.6.1 サマリ	71
6.4.6.2 ラックマウントサーバに関する関連オブジェクト	74
6.4.7 VM List 画面	75
6.4.7.1 VM List	75
6.4.7.2 VM Information List	75
7. トラブルシューティング	77
7.1 インストール時のトラブルシューティング	77
7.2 運用中のトラブルシューティング	78
7.3 メッセージ ID	80
7.3.1 メッセージの種類	80
7.3.2 メッセージの見方	80
7.4 メッセージ一覧	84
7.4.1 インストーラで表示されるエラーメッセージ	84
7.4.2 インストーラで表示される警告メッセージ	86
7.4.3 エラーメッセージ一覧	87
7.4.4 警告メッセージ一覧	91
7.4.5 イベントログ出力警告メッセージ	92

7.5 動作環境の確認ポイント	93
7.5.1 日立製サーバ環境の確認ポイント	93
7.5.2 HCSM サーバ環境の確認ポイント.....	94
7.5.3 vSphere 環境の確認ポイント	95
7.6 ログファイル.....	96
7.6.1 ログファイル一覧.....	96
7.6.2 ログファイルの出力レイアウト.....	98
7.6.3 ログファイルの世代管理.....	99
7.6.4 HiAppServerModule.log.....	100
7.7 トラブル発生時の収集情報	101

1. 製品概要

Hitachi Compute Plug-in は、vSphere Web Client のプラグインとして動作し、vSphere 環境で使用している日立製サーバの構成情報を表示する機能を提供します。また、日立製サーバに対応する ESXi および仮想マシンの情報を表示する機能や、日立製サーバの電源操作および LID 操作を行う機能を提供します。

2. 前提要件

2.1 システム構成

Hitachi Compute Plug-in を使用するためのシステム構成の前提要件を以下に示します。

- ① HCSM サーバを構築して、使用する日立製サーバを HCSM に登録する必要があります。
- ② VMware 管理クライアント、vSphere Web Client、vCenter Server、ESXi、HCSM サーバ、日立製サーバ間は、LAN(イーサネット)にて通信可能な環境が必須です。
- ③ インターネットプロトコルは IPv4 を使用してください (IPv6 は未サポートです)。

vSphere 5.1 または vSphere 5.5 を使用する際の Hitachi Compute Plug-in のシステム構成例を 図 2.1-1 に示します。

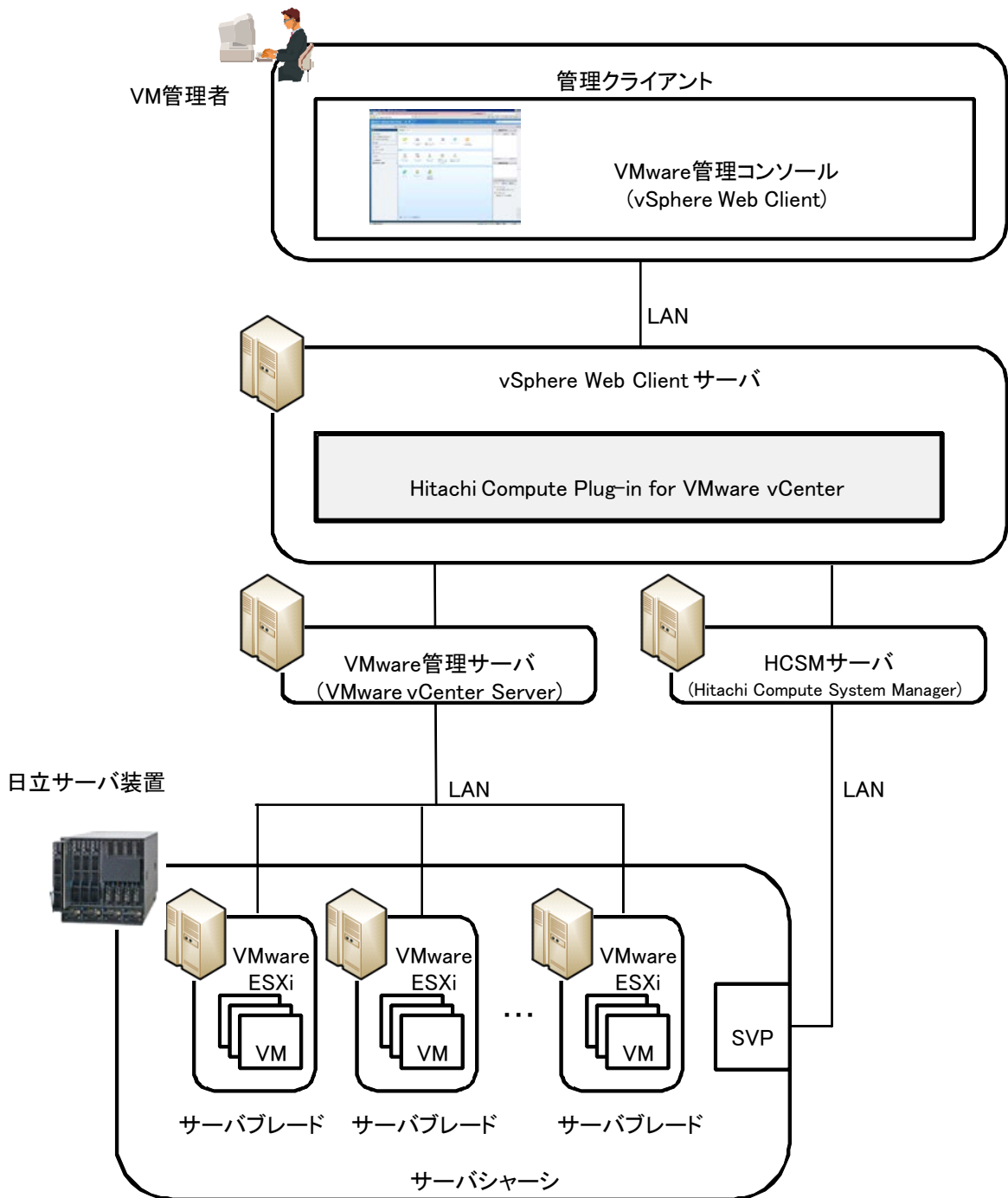


図 2.1-1 システム構成例 (vSphere 5.1/5.5 使用時)

vSphere 6.0以降を使用する際のHitachi Compute Plug-inのシステム構成例を図2.1-2に示します。

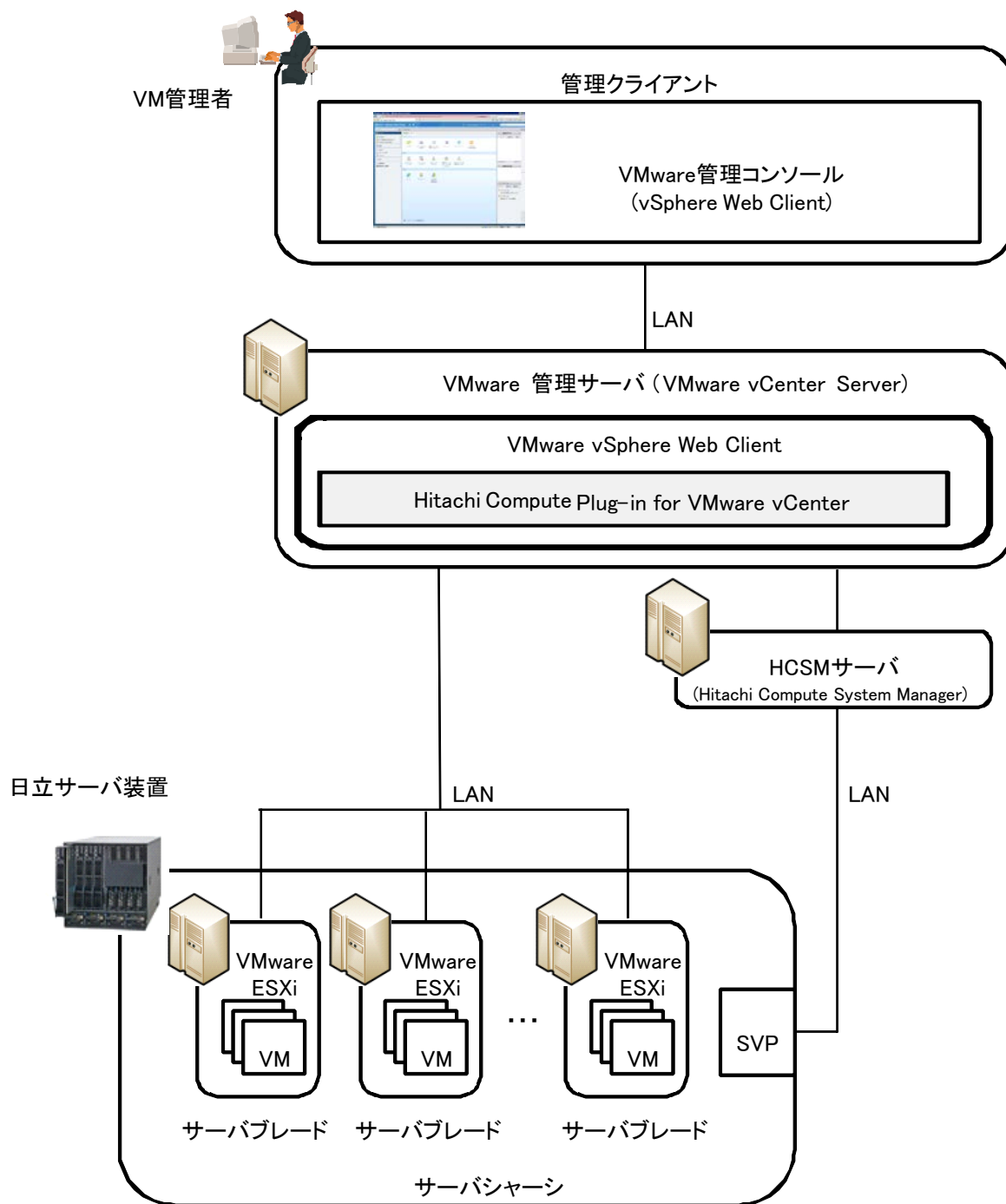


図 2.1-2 システム構成例 (vSphere 6.0 使用時)

2.2 前提ハードウェア

Hitachi Compute Plug-in をインストールするマシン (図 2.1-1 の「vSphere Web Client サーバ」および図 2.1-2 の「VMware 管理サーバ」) のハードウェア前提要件について表 2.2-1 に示します。

表 2.2-1 サーバの前提要件一覧

#	項目	条件	備考
1.	CPU	vSphere Web Client の仕様に準じます。	-
2.	メモリ	vSphere Web Client の仕様に準じます。	-
3.	HDD 空き容量	vSphere Web Client に必要な容量は、vSphere Web Client の仕様に準じます。 Hitachi Compute Plug-in に必要な容量は、保守用設定ファイル ^{*1} の内容により異なります。 ・ログファイルサイズがインストール時の初期値(10MB)、バックアップファイルのログ世代数がインストール時の初期値(5世代)の場合 0.2 GB 以上 ・ログファイルサイズが最大(100MB)、バックアップファイルのログ世代数が最大(255世代)の場合 25GB 以上 【必要ディスクサイズ計算式】 必要ディスクサイズ[GB] = ((指定ログファイルサイズ[MB] × (ログ世代数+1)) + 100[MB]) ÷ 1024	インストール時の必須容量は 100MB 以上
4.	LAN	vSphere Web Client の仕様に準じます。	-

*1 ログファイルサイズ、ログ世代数は保守用設定ファイルで指定できます。詳細は 4.2.1 章を参照してください。

2.3 前提ソフトウェア

2.3.1 オペレーティングシステム

Hitachi Compute Plug-in がサポートするオペレーティングシステムについて表 2.3.1-1、および表 2.3.1-2 に示します。

表 2.3.1-1 オペレーティングシステム一覧(vSphere Web Client)

#	オペレーティングシステム
1.	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter Edition SP1
2.	Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter Edition
3.	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter Edition

表 2.3.1-2 オペレーティングシステム一覧 (VMware 管理クライアント)

#	オペレーティングシステム
1.	Microsoft Windows 7 Enterprise/Home Premium/Professional/ultimate SP1
2.	Microsoft Windows 8 無印/Pro/Enterprise
3.	Microsoft Windows 8.1 無印/Pro/Enterprise
4.	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter Edition SP1
5.	Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter Edition
6.	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter Edition
7.	Mac OS X v10.9

2.3.2 ソフトウェア

Hitachi Compute Plug-in は、表 2.3.2-1 のソフトウェア上での動作をサポートします。

表 2.3.2-1 ソフトウェア一覧

#	ソフトウェア*1	備考
1.	VMware vSphere Web Client 5.1 (Update 3) VMware vSphere Web Client 5.5 (Update 2e) VMware vSphere Web Client 6.0 *2	vSphere Web Client サーバを利用するために必要なソフトウェアです。
2.	VMware vCenter Server 5.1 (Update 3) VMware vCenter Server 5.5 (Update 2e) VMware vCenter Server 6.0 VMware vCenter Server Appliance 5.1 (Update 3) VMware vCenter Server Appliance 5.5 (Update 2e) VMware vCenter Server Appliance 6.0	VMware 管理サーバを利用するために必要なソフトウェアです。
3.	VMware ESXi Server 5.1 (Update 3) VMware ESXi Server 5.5 (Update 2) VMware ESXi Server 6.0	VMware ESXi を利用するために必要なソフトウェアです。管理対象のサーバへインストールして利用します。管理対象のサーバがサポートする VMware ESXi のバージョンについては、日立製サーバのマニュアルを参照してください。
4.	Hitachi Compute Systems Manager 7.6.1 以降 (Hitachi Command Suite の一部)	HCSM サーバを利用するために必要なソフトウェアです。
5.	Microsoft Internet Explorer Mozilla Firefox Google Chrome	VMware 管理クライアントにインストールするソフトウェアです。サポートバージョンは、vSphere Web Client のサポートするものに準じます。
6.	Adobe Flash Player	VMware 管理クライアントにインストールするソフトウェアです。サポートバージョンは、vSphere Web Client のサポートするものに準じます。

*1 Hitachi Compute Plug-in のインストール時に vSphere Web Client がインストールされていない場合、Hitachi Compute Plug-in のインストールに失敗します。

*2 vSphere Web Client 6.0 は vCenter Server 6.0 のインストール時に自動でインストールされます。

2.4 HCSM設定

必要な HCSM の設定について、表 2.4-1 に示します。

表 2.4-1 必要な HCSM 設定一覧

#	設定要否 <凡例> ○：設定必須 △：運用によって必要	項目	内容
1	○	HCSM のユーザアカウント	Add 機能で指定する HCSM のユーザアカウントに、Admin 権限または Modify 権限を割り当てておくこと。
2	○	HCSM の管理リソース	Hitachi Compute Plug-in で管理する日立製サーバを、あらかじめ HCSM のリソースに登録しておくこと。
3	△	HCSM の SSL 通信設定	HCSM との通信で https プロトコルを使用する場合、HCSM の導入・設定ガイドを参照して、HCSM サーバおよび VMware 管理クライアントで SSL 通信するよう設定を行うこと。VMware 管理クライアントの SSL 通信設定には GUI と CLI がありますが、GUI の SSL 通信設定を行うこと。

2.5 管理対象のサポート機種

管理対象のサポート機種を表 2.5-1 に示します。

表 2.5-1 サポート機種一覧

#	サポート機種	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> - BS500 - BS520H サーバブレード A1/B1 モデル - BS520H サーバブレード A2/B2 モデル - BS520H サーバブレード B3 モデル *1 - BS520A サーバブレード A1 モデル - BS540A サーバブレード A1/B1 モデル - BS520X サーバブレード B1 モデル *1 *2 - BS520X サーバブレード B2 モデル *2 *3 	<ul style="list-style-type: none"> • SVP ファームウェアリビジョンは、HCSM のマニュアルおよびソフトウェア添付資料を参照してください。 • *1 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.0 以降の必要があります。 • *2 の機種では、4 ブレードでの SMP 構成時は未サポートです。 • *3 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.4 以降の必要があります。
2	<ul style="list-style-type: none"> - BS2000 - 標準サーバブレード R3 モデル - 標準サーバブレード S3 モデル - 標準サーバブレード R4 モデル - 標準サーバブレード S4 モデル - 高性能サーバブレード A2 モデル - 高性能サーバブレード E2 モデル 	<ul style="list-style-type: none"> • SVP ファームウェアリビジョンは、HCSM のマニュアルおよびソフトウェア添付資料を参照してください。
3	<ul style="list-style-type: none"> - BS2500 - 標準サーバブレード A1 モデル *3 - 高性能サーバブレード A1 モデル *1 *2 - 高性能サーバブレード E1 モデル *1 *2 - 高性能サーバブレード A2 モデル *2 *4 - 高性能サーバブレード E2 モデル *2 *4 	<ul style="list-style-type: none"> • SVP ファームウェアリビジョンは、HCSM のマニュアルおよびソフトウェア添付資料を参照してください。 • *1 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.0 以降の必要があります。 • *2 の機種では、4 ブレードでの SMP 構成時は未サポートです。 • *3 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.1 以降の必要があります。 • *4 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.2 以降の必要があります。
4	<ul style="list-style-type: none"> - HA8000 - RS210 N モデル *1 - RS210 N1 モデル *2 - RS220 N モデル *1 - RS220 N1 モデル *2 - TS20 N モデル *2 	<ul style="list-style-type: none"> • ファームウェアリビジョンは、HCSM のマニュアルおよびソフトウェア添付資料を参照してください。 • *1 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.2 以降の必要があります。 • *2 の機種を管理する場合、HCSM が 8.1.4 以降の必要があります。

3. 制限事項、留意事項

3.1 環境構築での制限事項、留意事項

環境構築での制限事項および留意事項を表 3.1-1 に示します。

表 3.1-1 環境構築での制限事項・留意事項一覧

#	項目	内容
1.	インストール時の確認	プロセス監視、ウイルスを監視するサービス(デーモン・プロセス)などが動作していないことを確認してください。サービス(デーモン・プロセス)が動作していると、インストールができない場合があります。
2.	インストール時のユーザ	インストールは、管理者権限を持っているユーザで実行してください。
3.	インストールフォルダ	Hitachi Compute Plug-in のインストールフォルダは、vSphere Web Client のバージョンにより異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • vSphere Web Client 5.1/5.5 <vSphere Web Client のインストールフォルダ>\plugin-packages\HitachiComputePlugin • vSphere Web Client 6.0 <vCenter Server のインストールフォルダ>\vCenter Server\WebClient\plugin-packages\HitachiComputePlugin Hitachi Compute Plug-in をインストールする際には、あらかじめ vSphere Web Client がインストールされたドライブに Hitachi Compute Plug-in のインストールに必要な空き容量(2.2 章を参照)が確保されていることを確認してください。
4.	HCSM サーバとの通信ポート	<ul style="list-style-type: none"> • HCSM との通信で https プロトコルを使用する場合、Hitachi Compute Plug-in は、TCP のポート番号 22016 をデフォルトで使用します。また、HCSM との通信で http プロトコルを使用する場合、TCP のポート番号 22015 をデフォルトで使用します。TCP のポート番号 22016 または 22015 を他のソフトウェアが使用していないことを確認してください。他のソフトウェアが使用している場合は、HCSM の設定でポート番号を変更し、Add 機能で HCSM サーバのポート番号を変更してください。 • インストール後は HCSM サーバと通信を行うため、使用するポート番号で通信可能な設定をしてください。
5.	Hitachi Compute Plug-in インストール	Hitachi Compute Plug-in をインストールした後、vSphere Web Client を再起動してください。
6.	Hitachi Compute Plug-in 修復インストールおよびアンインストール	Hitachi Compute Plug-in の修復インストール、およびアンインストールを実行する場合、事前に vSphere Web Client を停止してから修復インストール、およびアンインストールを実行してください。
7.	vSphere Web Client 6.0 以降へのアップグレード	vSphere Web Client 5.1/5.5 の環境に Hitachi Compute Plug-in をインストールした状態で vSphere Web Client 6.0 以降にアップグレードした場合、一度 Hitachi Compute Plug-in をアンインストールして、新規インストールする必要があります。 vSphere Web Client 5.1/5.5 の Hitachi Compute Plug-in で登録した日立製サーバは引き継がれないため、Add 機能を使用して日立製サーバを再登録してください。

3.2 運用での制限事項、留意事項

運用上の制限事項および留意事項を表 3.2-1 に示します。

また、当社では vSphere Web Client の制限事項を確認しています。vSphere Web Client に起因する制限事項および留意事項を表 3.2-2 に示します。

また、HCSM に起因する制限事項および留意事項を表 3.2-3 に示します。

表 3.2-1 運用上の制限事項・留意事項一覧

#	項目	内容
1.	アカウント設定変更	Add 機能で日立製サーバ登録時に使用した HCSM アカウントのユーザ ID またはパスワードを変更した場合、日立製サーバの情報が取得できなくなります。 対象の日立製サーバが表示されている場合、Remove 機能を使用して一度削除した後、Add 機能を使用して日立製サーバを再登録してください。
2.	ログファイル	保守用設定ファイルでログファイルサイズ、ログ世代数に小さい値を設定した場合、バックアップしたログファイルがすぐにラップアラウンドしてしまい、トラブルシュートに必要な情報が消えてしまう可能性があります。やむを得ない場合を除き、保守用設定ファイルの値を小さい値に変更しないでください。
3.	設定ファイル変更	vSphere Web Client サービス起動中に以下の設定ファイルを変更した場合、vSphere Web Client サービスを再起動してください。 - 保守用設定ファイル (hilogger.config)
4.	タスク処理実行中の障害	タスク処理の実行中に vSphere 環境に障害が発生またはサービスが停止した場合、実行途中のタスクが残留します。 タスクの進捗が 10 分以上進まない場合、タスクをキャンセルしてください。その後、操作対象のリソースの状態を確認し、必要に応じて再度操作を実行してください。
5.	Find 機能	Chassis List 画面、Server Blade List 画面、Rack-mounted Server List 画面および VM List 画面で、Find 機能は使用できません。リソースの検索には、Filter 機能を使用してください。
6.	タスク名とイベント情報の表示	Hitachi Compute Plug-in インストール後に操作機能(6.3 章参照)を初めて実行したとき、タスク名やイベント情報が正しく表示されません*1。vSphere Web Client にログインし直すことで、以降は正しく表示されます。 *1 「hiserverplugin.xxx」(xxx 部分は可変)のような表示になります。
7.	ブラウザの言語設定が英語以外の場合のイベント情報表示	vSphere Web Client 5.1 では、ブラウザの言語設定が英語以外の場合、イベント情報が表示されません。ブラウザの言語設定を英語にするか、vSphere Web Client 5.5 以降にバージョンアップしてください。
8.		vSphere Web Client 5.5 以降では、ブラウザの言語設定が英語以外の場合、イベントコンソールでのタイプ情報のみ正しく表示されません。ブラウザの言語設定を英語にするか、タスクコンソールの関連イベントで確認してください。

表 3.2-1 運用上の制限事項・留意事項一覧

#	項目	内容
9.	「最近のタスク」ウィンドウの表示	<p>「アイデンティティソースのタイプがローカル OS 以外の vSphere Web Client ユーザ」*1 で vSphere Web Client にログインした場合、「最近のタスク」ウィンドウで表示対象が「マイタスク」になっていると、Hitachi Compute Plug-in のタスクが表示されません。表示対象を「すべてのユーザーのタスク」*2 にすることで、タスクが表示されます。</p> <p>*1 アイデンティティソースのタイプが Open LDAP、Active Directory またはタイプなし (vSphere Web Client 5.1 の場合は System-Domain ドメインのユーザ、vSphere Web Client 5.5 以降の場合は vsphere.local ドメインのユーザ) のことを指す。</p> <p>*2 vSphere Web Client 6.0 以降では、「すべてのユーザーのタスク」は無効に設定されています。タスクを表示するには、「他のタスク」をクリックするか、表示対象を「すべてのユーザーのタスク」にするため、vSphere Web Client の設定を変更してください。</p> <p>設定の変更方法については、vCenter Server 6.0 のドキュメントを参照してください。</p>
10.	オブジェクト件数表示	<p>vSphere Web Client 5.5 で、Chassis List 画面、Server Blade List 画面、Rack-mounted Server List 画面および VM List 画面の右下のオブジェクト件数表示が実際の件数と異なる場合があります。</p> <p>vSphere Web Client にログイン後、シャーン数、サーバ/ホスト数、仮想マシン数が増減した場合に発生します。</p> <p>シャーン、サーバ/ホスト、仮想マシンの登録、作成、削除操作完了後に vSphere Web Client に再度ログインすることで、オブジェクト件数は正しく表示されます。</p>
11.	長時間応答がない場合の対処	<p>長時間応答がない場合は、日立製サーバ環境、HCSM サーバ環境および vSphere 環境で問題が発生している可能性があります。7.5 章を参照し、問題が発生していないかを確認してください。</p>
12.	vSphere Web Client サービス起動直後のログイン	<p>vSphere Web Client サービス起動直後にログインした場合、Hitachi Compute Plug-in のアイコンが表示されない場合があります。時間を置いて再度ログインしてください。</p>

表 3.2-2 vSphere Web Client に起因する制限事項・留意事項一覧

#	項目	内容
1.	シャーン ID で使用する文字	<p>シャーン ID に “[” または "]" の文字を含む場合、イベント情報の表示が崩れることがあります。シャーン ID に “[” または "]" の文字を使用しないでください。</p>

表 3.2-3 HCSM に起因する制限事項・留意事項一覧

#	項目	内容
1.	HCSM のアカウント	<p>Add Rack-mounted Server 機能で指定する HCSM アカウントとして、ユーザ定義のリソースグループに属するユーザは使用できません。</p> <p>ビルトインリソースグループ (All Resources) に属するユーザのアカウント、または System アカウントを指定してください。</p> <p>HCSM のリソースグループについては、HCSM のマニュアルを参照してください。</p>

4. インストールと設定

4.1 環境構築手順

本章では、Hitachi Compute Plug-in を使用するにあたって必要な環境構築について記載しています。

4.1.1 環境構築の流れ

Hitachi Compute Plug-in を使用するための、環境構築の流れを図 4.1.1-1 に示します。

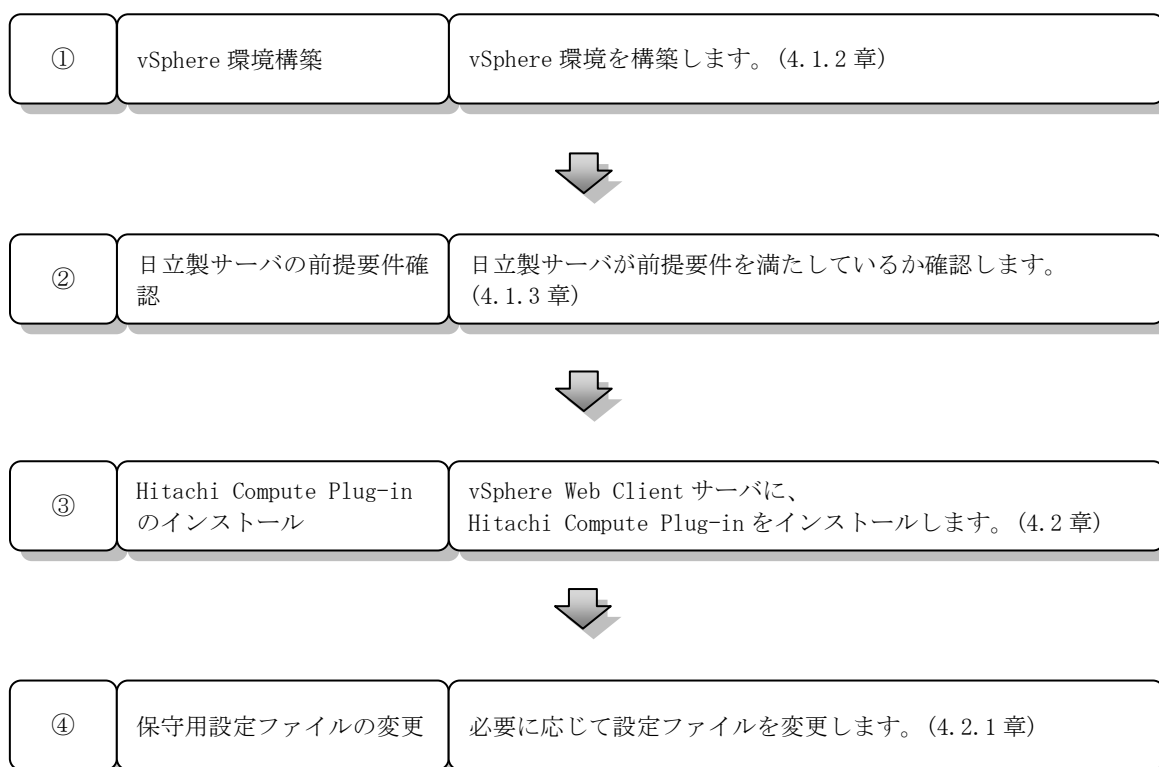


図 4.1.1-1 環境構築の流れ

配布パッケージのディレクトリ構成を図 4.1.1-2 に、配布パッケージ内のファイルの説明を表 4.1.1-1 に示します。

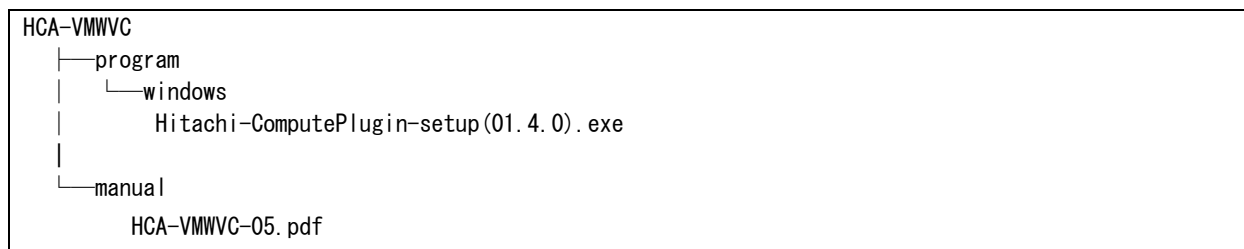


図 4.1.1-2 配布パッケージのディレクトリ構成

表 4.1.1-1 配布パッケージおよび含まれるファイルの一覧

#	ファイル	説明
1.	HCA-VMWVC-04.zip	配布パッケージのファイルです。
2.	HCA-VMWVC-05.pdf	本ユーザーズガイドです。
3.	Hitachi-ComputePlugin-setup(01.4.0).exe	Hitachi Compute Plug-in のインストーラです。

4.1.2 vSphere環境構築

Hitachi Compute Plug-in を使用するために、vSphere 環境の構築が必要となります。

vSphere 環境の構築手順については、VMware 社が公開しているドキュメントを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/support/support-resources/pubs/vsphere-esxi-vcenter-server-pubs/>

4.1.3 管理対象日立製サーバの確認

Hitachi Compute Plug-in で管理する日立製サーバが、2.5 章に記載している条件を満たしていることを確認してください。条件を満たしていない場合は、条件を満たすように変更してください。

4.2 インストール

Hitachi Compute Plug-in のインストール手順を表 4.2-1 に示します。

表 4.2-1 Hitachi Compute Plug-in インストール手順


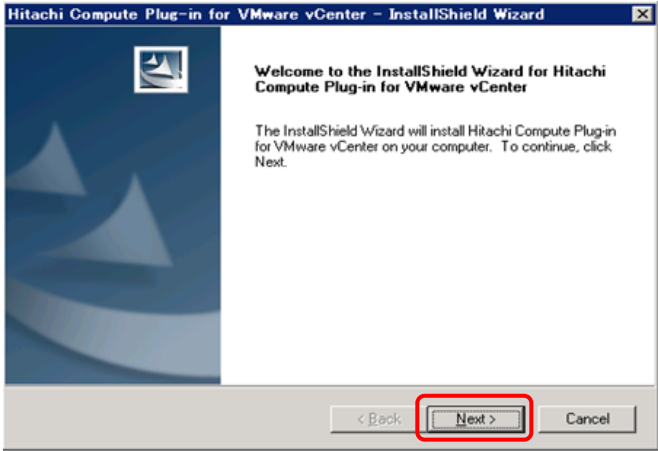
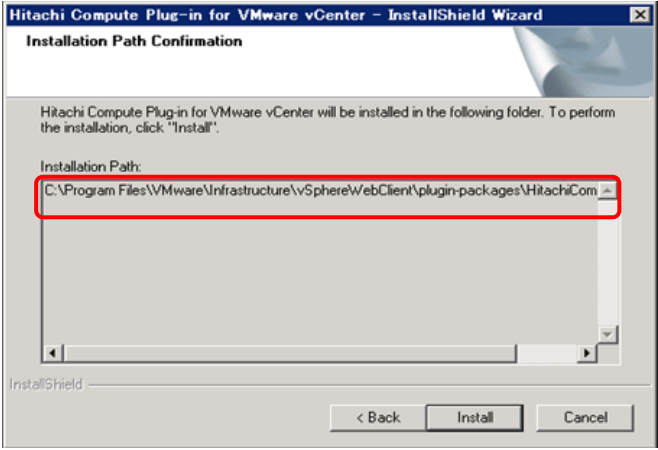
#	説明	画面
1.	インストーラを実行します。	 Hitachi-ComputePlugin-setup (01.4.0).exe
2.	ウィザードの「Next」ボタンをクリックします。	
3.	<p>表示される Installation Path は、vSphere Web Client のバージョンにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> vSphere Web Client 5.1/5.5 <vSphere Web Client のインストールフォルダ>\plugin-packages\Hitachi ComputePlugin にインストールされます。 vSphere Web Client 6.0 <vCenter Server のインストールフォルダ>\vCenter Server\WebClient\plugin-packages\HitachiComputePlugin にインストールされます。 <p>インストールフォルダは固定で変更できません。</p> <p>図は、vSphere Web Client 5.1/5.5 の場合を示します。</p>	

表 4.2-1 Hitachi Compute Plug-in インストール手順

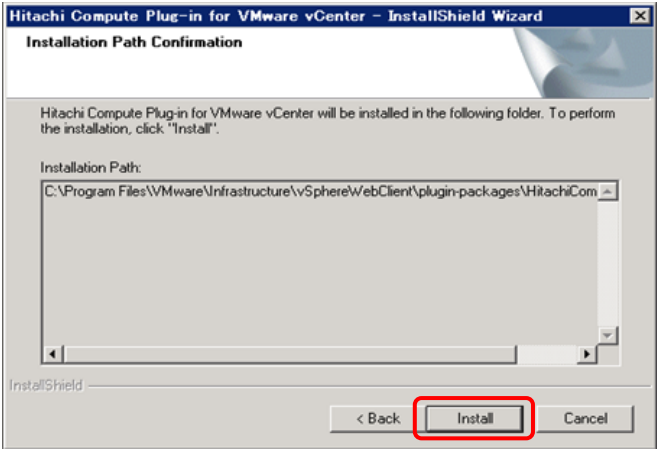
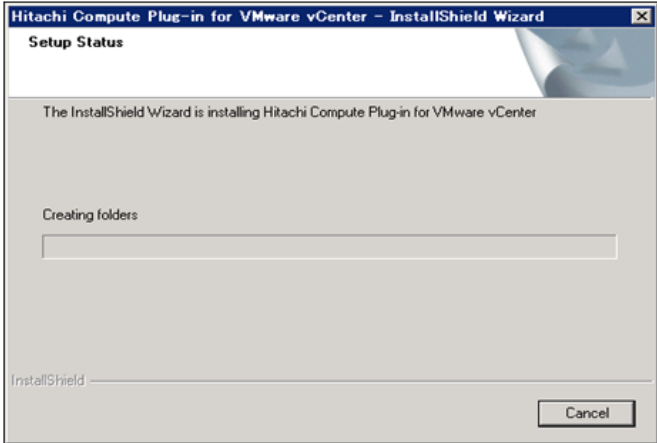
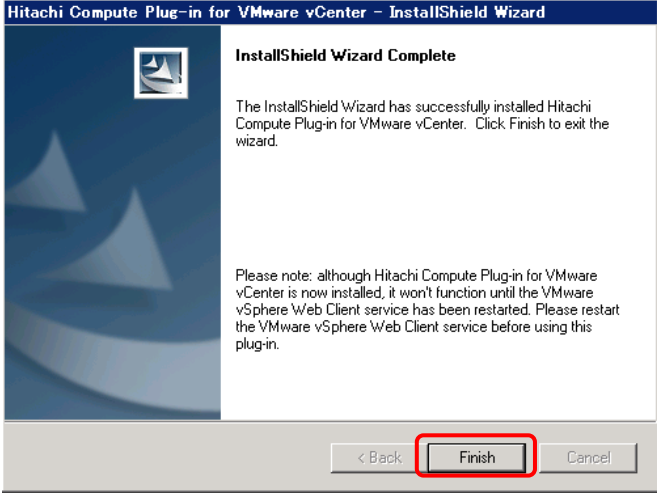
#	説明	画面
4.	「Install」 ボタンをクリックすると、インストールを開始します。	
5.	インストールが行われます。	
6.	Hitachi Compute Plug-in のインストールが完了したメッセージが表示されるので「Finish」 ボタンをクリックして終了します。 以上でインストール作業は完了です。	
7.	Hitachi Compute Plug-in のインストール作業完了後、VMware vSphere Web Client のサービスを再起動します。	

表 4.2-1 Hitachi Compute Plug-in インストール手順

#	説明	画面
8.	<p>表 3.2-1 #6 の現象を回避するため、以下の手順を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Add 機能 (6.2 参照) で、管理対象とする日立製サーバを最低 1 台登録します。 2. 登録した日立製サーバに対して、Refresh 機能 (6.3.3 参照) を実行します。 3. vSphere Web Client からログアウトします。 	

4.2.1 保守用設定ファイルの変更

Hitachi Compute Plug-in をインストールすると、Hitachi Compute Plug-in のインストールフォルダに保守用設定ファイル(hilogger.config)が作成されます。本ファイルで Hitachi Compute Plug-in のログ出力の振る舞いを設定できます。保守用設定ファイルの内容を表 4.2.1-1 に示します。本ファイルを編集する場合、テキストエディタにて英数字文字を1バイト体系の文字コードセット(SJIS等)で保存し、各設定項目の行末には必ず改行を入れてください。

表 4.2.1-1 保守用設定ファイルの内容

#	項目	説明	記載方法	備考
1.	ログファイルサイズ	ログファイルのサイズを指定します。	[MaxFileSize=<サイズ>]	<ul style="list-style-type: none"> ・<サイズ>の値によって、出力するログファイルのサイズをMB単位で指定できます。1~100の範囲で指定してください。 ・<サイズ>は半角10進数で指定してください。 ・MaxFileSize=<サイズ>は半角の[]で囲んでください。 ・[MaxFileSize=<サイズ>]の後ろに改行を入れてください。 ・ログファイルサイズの指定を省略した場合や、サイズの値が不正(範囲外の値、半角以外)な場合は10MBで動作します。
2.	ログ世代数	ログファイルがログファイルサイズで指定したサイズを超えた場合に、ローテーションし生成するバックアップファイルの世代数を指定します。	[MaxBackupIndex=<世代数>]	<ul style="list-style-type: none"> ・<世代数>の値によって、バックアップファイルの世代数を指定できます。1~255の範囲で指定してください。 ・<世代数>は半角10進数で指定してください。 ・[MaxBackupIndex=<世代数>]は半角の[]で囲んでください。 ・[MaxBackupIndex=<世代数>]の後ろに改行を入れてください。 ・ログ世代数の指定を省略した場合や、世代数の値が不正(範囲外の値、半角以外)な場合、世代数は5で動作します。

保守用設定ファイルの表記例を図 4.2.1-1 に示します。

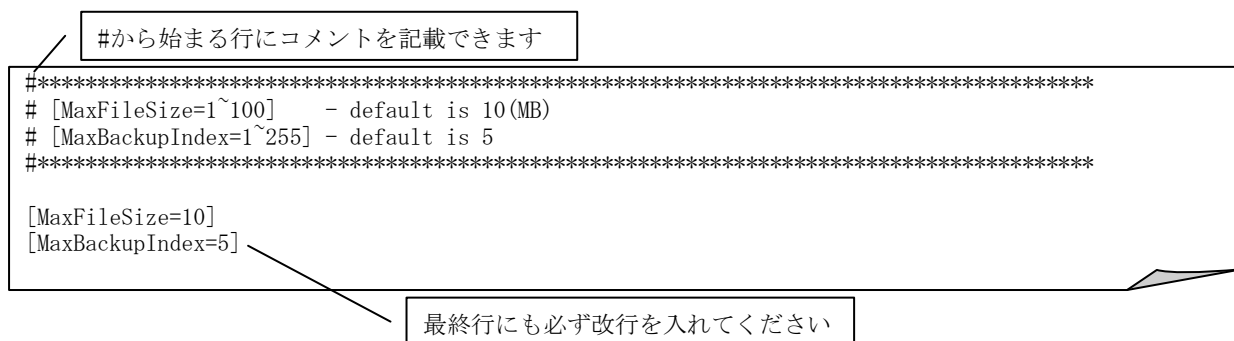


図 4.2.1-1 保守用設定ファイルの表記例

4.3 アンインストール

Hitachi Compute Plug-in のアンインストールには以下の方法があります。

- Hitachi Compute Plug-in インストーラを使用したアンインストール
- コントロールパネルからのアンインストール

以降にそれぞれの手順を示します。

4.3.1 インストーラを使用したアンインストール

Hitachi Compute Plug-in のインストーラを使用したアンインストール手順を表 4.3.1-1 に示します。

表 4.3.1-1 Hitachi Compute Plug-in アンインストール手順


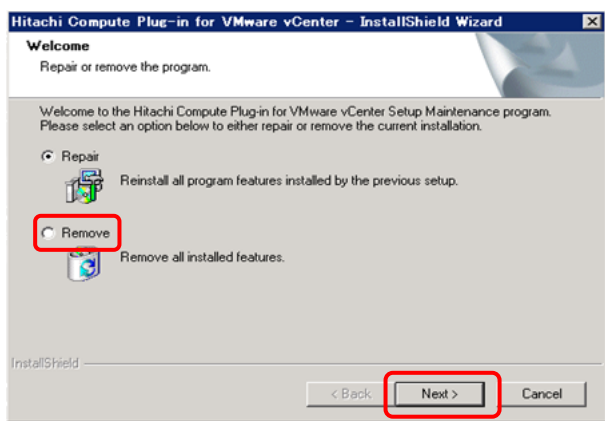
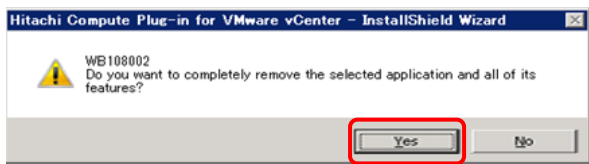
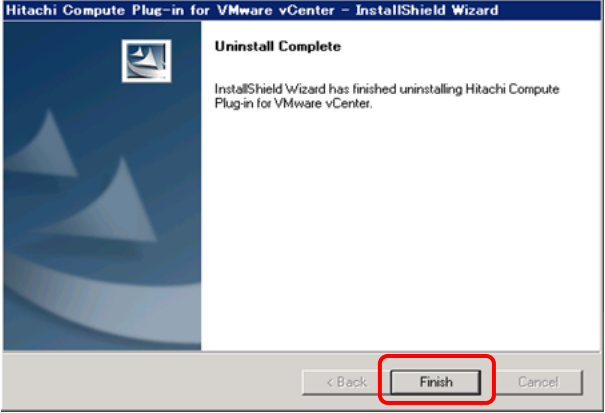
#	説明	画面
1.	VMware vSphere Web Client からログアウトして、VMware vSphere Web Client のサービスを停止します。	
2.	インストーラを実行します。	 Hitachi-ComputePlugin-setup(01.4.0).exe
3.	表示されるセットアップウィザードの「Remove」をチェックし、「Next」ボタンをクリックします。	
4.	アンインストール操作の確認ポップアップウィンドウが表示されるので、「はい(Y)」ボタンをクリックし #5 へ進みます。	

表 4. 3. 1-1 Hitachi Compute Plug-in アンインストール手順

#	説明	画面
5.	<p>Hitachi Compute Plug-in のアンインストールが完了したメッセージが表示されるので「Finish」ボタンをクリックし終了します。</p> <p>コントロールパネルの「プログラムと機能」画面の一覧から「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」が削除されていることを確認します。</p> <p>アンインストールが完了しても、インストール時に自動作成されたファイルの一部やユーザがインストール先フォルダに作成したファイルは削除されないため、必要に応じて削除してください。</p> <p>以上で、アンインストール作業は完了です。</p>	
6.	<p>Hitachi Compute Plug-in のアンインストール作業完了後、VMware vSphere Web Client のサービスを起動します。</p>	

4.3.2 コントロールパネルを使用したアンインストール

コントロールパネルからのアンインストールには以下の方法があります。

- ・「プログラムと機能」 - 「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」の「アンインストール」ボタンをクリックしてアンインストール
- ・「プログラムと機能」 - 「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」の「変更」ボタンをクリックしてアンインストール

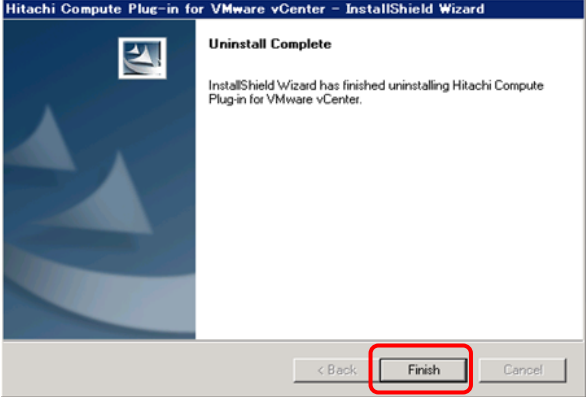
以降にそれぞれの手順を示します。

「アンインストール」ボタンをクリックした場合のアンインストール手順を表 4.3.2-1 に示します。

表 4.3.2-1 Hitachi Compute Plug-in アンインストール手順

#	説明	画面
1.	VMware vSphere Web Client からログアウトして、VMware vSphere Web Client のサービスを停止します。	
2.	コントロールパネルの「プログラムと機能」より「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」を選択し、「アンインストール」をクリックします。アンインストール操作の確認ポップアップウィンドウが表示されるので、「はい(Y)」ボタンをクリックし #3 へ進みます。	

表 4.3.2-1 Hitachi Compute Plug-in アンインストール手順

#	説明	画面
3.	<p>Hitachi Compute Plug-in のアンインストールが完了したメッセージが表示されるので「Finish」ボタンをクリックして終了します。</p> <p>コントロールパネルの「プログラムと機能」画面の一覧から「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」が削除されていることを確認します。</p> <p>アンインストールが完了しても、インストール時に自動作成されたファイルの一部やユーザがインストール先フォルダに作成したファイルは削除されないため、必要に応じて削除してください。</p> <p>以上で、アンインストール作業は完了です。</p>	
4.	<p>Hitachi Compute Plug-in のアンインストール作業完了後、VMware vSphere Web Client のサービスを起動します。</p>	

「変更」 ボタンをクリックした場合のアンインストール手順を表 4.3.2-2 に示します。

表 4.3.2-2 Hitachi Compute Plug-in アンインストール手順

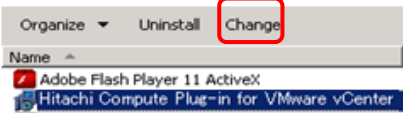
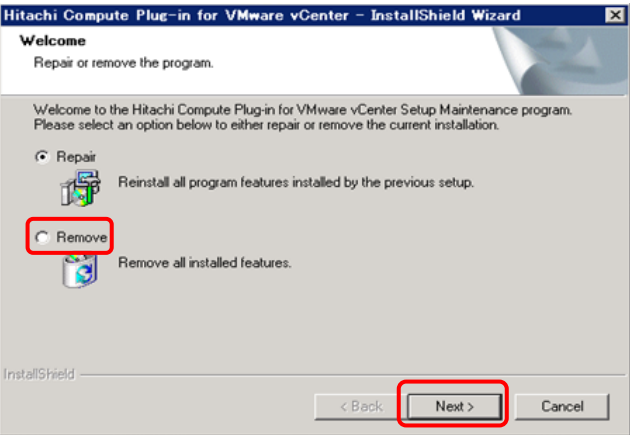
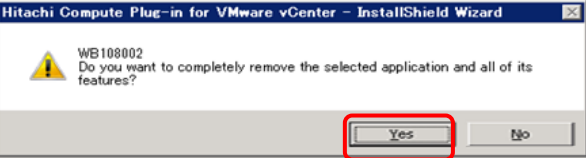
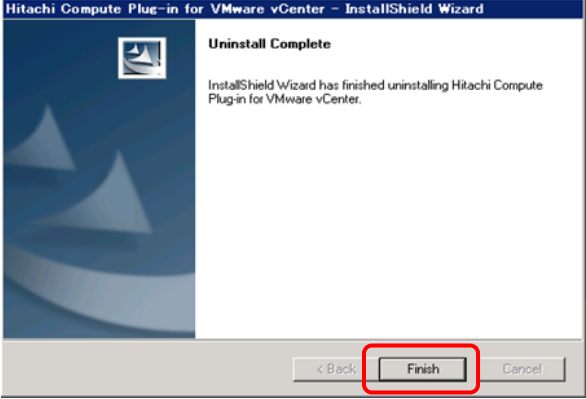
#	説明	画面
1.	VMware vSphere Web Client からログアウトして、VMware vSphere Web Client のサービスを停止します。	
2.	コントロールパネルの「プログラムと機能」より「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」を選択し、「変更」をクリックします。	
3.	表示されるセットアップウィザードの「Remove」をチェックし、「Next」ボタンをクリックします。	
4.	アンインストール操作の確認ポップアップウィンドウが表示されるので、「はい(Y)」ボタンをクリックし #5 へ進みます。	

表 4.3.2-2 Hitachi Compute Plug-in アンインストール手順

#	説明	画面
5.	<p>Hitachi Compute Plug-in のアンインストールが完了したメッセージが表示されるので「Finish」ボタンをクリックし終了します。</p> <p>コントロールパネルの「プログラムと機能」画面の一覧から「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」が削除されていることを確認します。</p> <p>アンインストールが完了しても、インストール時に自動作成されたファイルの一部やユーザがインストール先フォルダに作成したファイルは削除されないため、必要に応じて削除してください。</p> <p>以上で、アンインストール作業は完了です。</p>	
6.	<p>Hitachi Compute Plug-in のアンインストール作業完了後、VMware vSphere Web Client のサービスを起動します。</p>	

4.4 修復インストール

インストール先フォルダのファイルを誤って削除してしまった場合、修復インストールによってファイルの修復を行うことが可能です。

修復インストールには以下の方法があります。

- Hitachi Compute Plug-in インストーラを使用した修復インストール
- コントロールパネルからの修復インストール

以降にそれぞれの手順を示します。

なお、修復インストールを実行した場合、それまでに登録してある日立製サーバの情報が削除されることがあります。この場合は、Add 機能 (6.2 章を参照) を使用し、再度日立製サーバの登録を行ってください。

4.4.1 インストーラを使用した修復インストール

Hitachi Compute Plug-in のインストーラを使用した修復インストール手順を表 4.4.1-1 に示します。

表 4.4.1-1 Hitachi Compute Plug-in 修復インストール手順


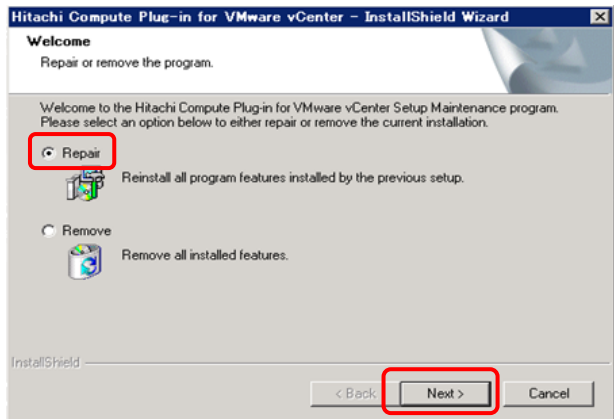
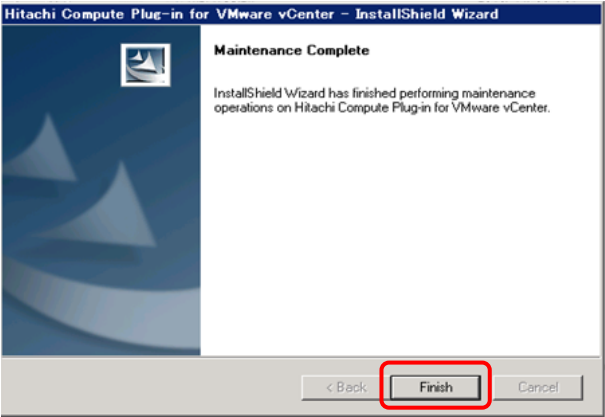
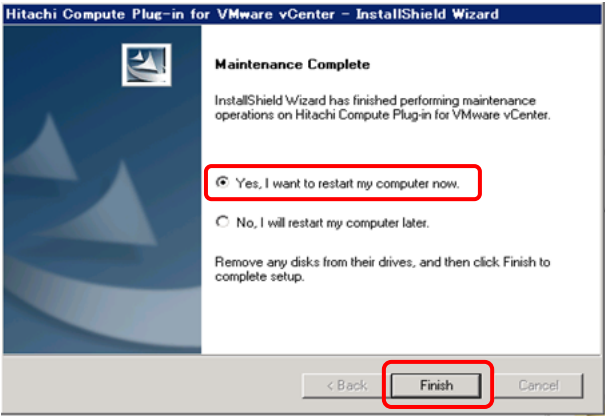
#	説明	画面
1.	VMware vSphere Web Client からログアウトして、VMware vSphere Web Client のサービスを停止します。	
2.	インストーラを実行します。	 Hitachi-ComputePlugin-setup(01.4.0).exe
3.	表示されるセットアップウィザードの「Repair」をチェックし、「Next」ボタンをクリックします。	

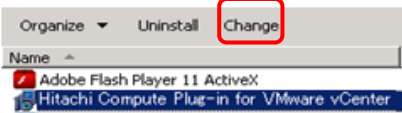
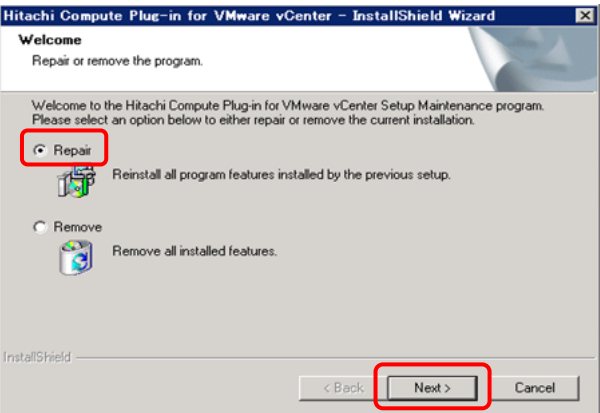
表 4. 4. 1-1 Hitachi Compute Plug-in 修復インストール手順

#	説明	画面
4.	<p>Hitachi Compute Plug-in の修復インストールが 完了したメッセージが表示されるので「Finish」 ボタンをクリックし終了します。</p> <p>以上で、修復インストール作業は完了です。</p>	
5.	<p>#3 にて vSphere Web Client を起動したまま修復インストールを実行した場合、#4 の代わりに再起動要求のメッセージが表示されます。</p> <p>「Yes, I want to restart my computer now.」を選択し、「Finish」 ボタンをクリックして、OS の再起動を行います。</p> <p>以上で、修復インストール作業は完了です。</p>	
6.	<p>Hitachi Compute Plug-in の修復インストール作業完了後、VMware vSphere Web Client のサービスを起動します。</p>	

4.4.2 コントロールパネルを使用した修復インストール

コントロールパネルからの修復インストール手順を表 4.4.2-1 に示します。

表 4.4.2-1 Hitachi Compute Plug-in 修復インストール手順

#	説明	画面
1.	VMware vSphere Web Client からログアウトして、VMware vSphere Web Client のサービスを停止します。	
2.	コントロールパネルの「プログラムと機能」より「Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter」を選択し、「変更」をクリックします。	
3.	表示されるセットアップウィザードの「Repair」をチェックし、「Next」ボタンをクリックします。 以降の手順は、表 4.4.1-1 と同じです。	

4.5 更新インストーラ (バージョンアップ)

本章では、Hitachi Compute Plug-in の更新インストーラ (バージョンアップ) について記載しています。

表 4.5-1 Hitachi Compute Plug-in 更新インストーラ手順


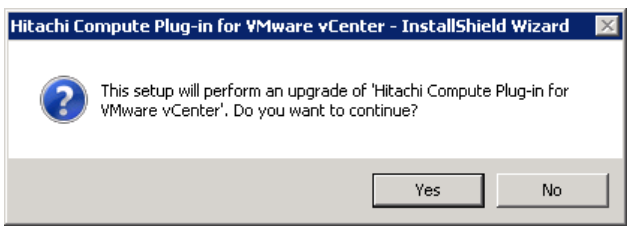
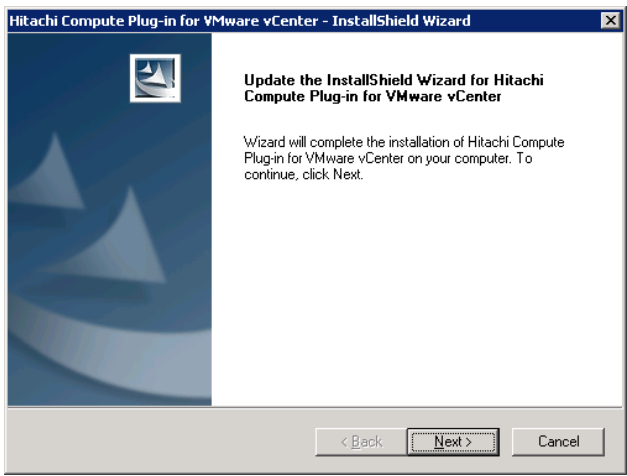
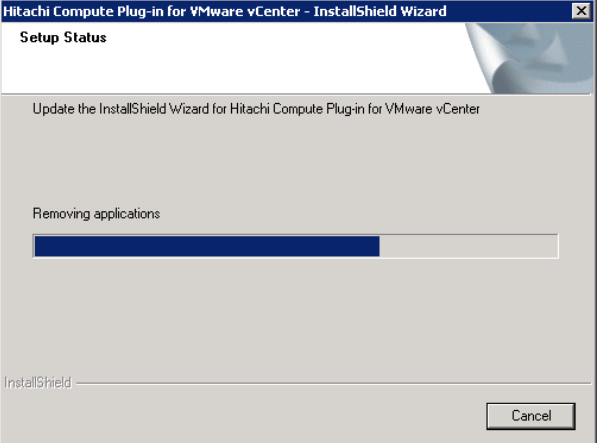
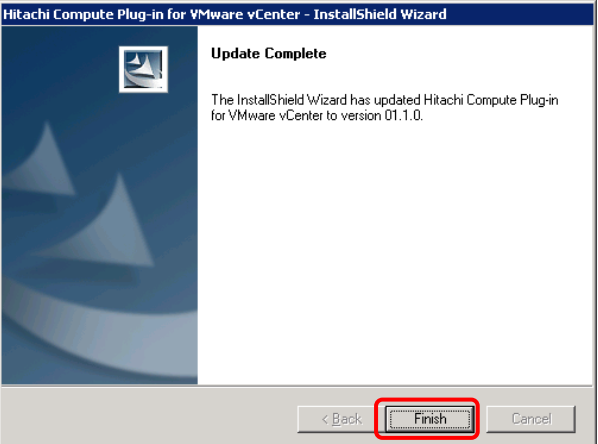
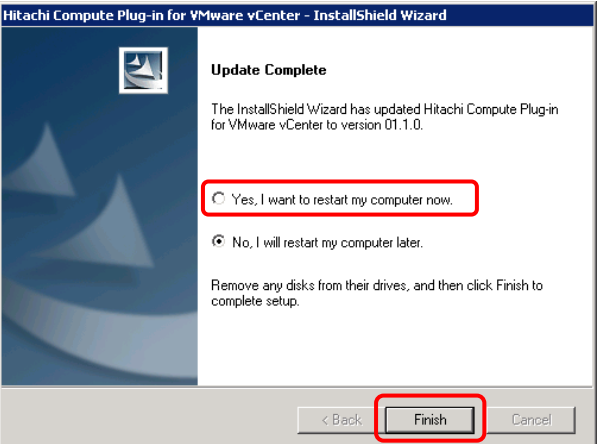
#	説明	画面
1.	VMware vSphere Web Client からログアウトして、VMware vSphere Web Client のサービスを停止します。	
2.	新しいバージョンのインストーラを実行します。	
3.	アップグレード確認のダイアログボックスが表示されるので、「Yes」ボタンをクリックします。 <注意事項> 実行したインストーラよりも新しいバージョンの Hitachi Compute Plug-in がインストールされていた場合、「Yes」ボタンをクリックした後にメッセージが表示され、インストーラが停止します。	
4.	ウィザードの「Next」ボタンをクリックします。	

表 4.5-1 Hitachi Compute Plug-in 更新インストール手順

#	説明	画面
5.	更新インストールが行われます。	
6.	<p>Hitachi Compute Plug-in の更新インストールが完了したメッセージが表示されるので「Finish」ボタンをクリックして終了します。</p> <p>以上で更新インストール作業は完了です。</p>	
7.	<p>#5 にて vSphere Web Client を起動したまま更新インストールを実行した場合、#6 の代わりに再起動要求のメッセージが表示されます。</p> <p>「Yes, I want to restart my computer now.」を選択し、「Finish」ボタンをクリックして、OS の再起動を行います。</p> <p>以上で、更新インストール作業は完了です。</p>	
8.	Hitachi Compute Plug-in の更新インストール作業完了後、VMware vSphere Web Client のサービスを起動します。	

4.6 Hitachi Compute Plug-inの有効化と無効化

Hitachi Compute Plug-inは、デフォルトでは有効の状態になっています。vSphere Web Clientの標準機能により、Hitachi Compute Plug-inを有効化または無効化することができます。Hitachi Compute Plug-inを有効化または無効化する手順を以下に示します。

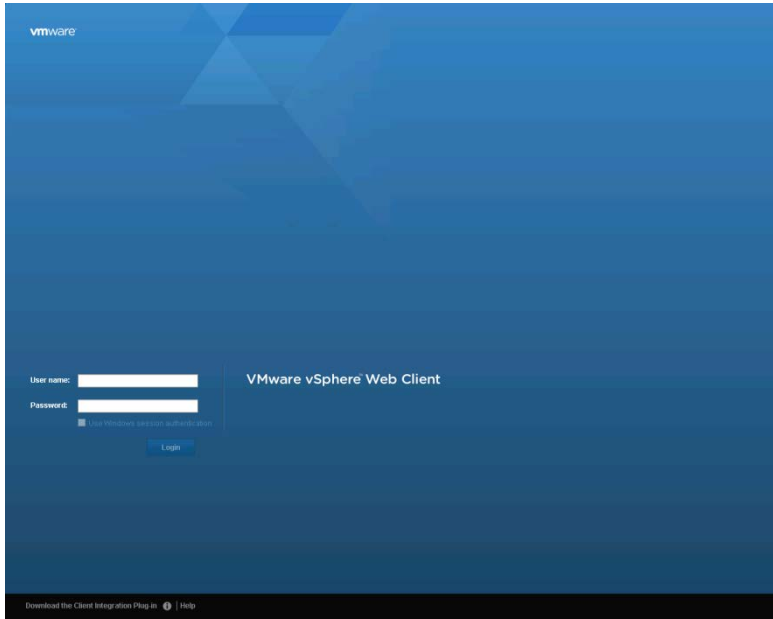
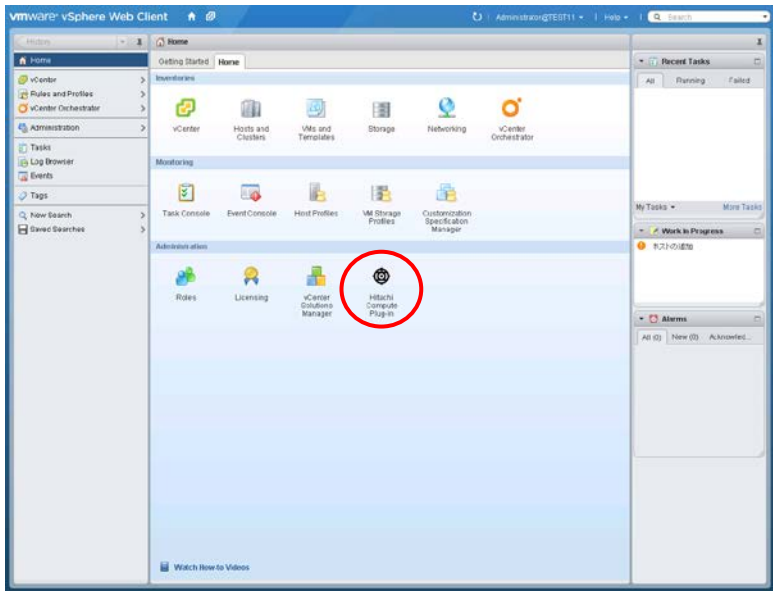
- (1) 管理者ユーザでvSphere Web Clientにログインします。
- (2) ナビゲーションツリーの「管理」をクリックします。
- (3) 「ソリューション」下の「プラグイン管理 (vSphere Web Client 5.5以降では、「クライアントプラグイン」)」をクリックします。
- (4) プラグイン一覧の中から「Hitachi Compute Plug-in」を選択し、右クリックメニューから有効化または無効化を実行します。

5. Hitachi Compute Plug-inの画面表示手順

Hitachi Compute Plug-in をインストールすることによって、「Hitachi Compute Plug-in」アイコンが vSphere Web Client の画面に追加されます。

Hitachi Compute Plug-in が提供する機能を使用するにあたって必要となる Hitachi Compute Plug-in の画面を表示する手順について、以下に示します。

表 5-1 Hitachi Compute Plug-in の画面表示手順

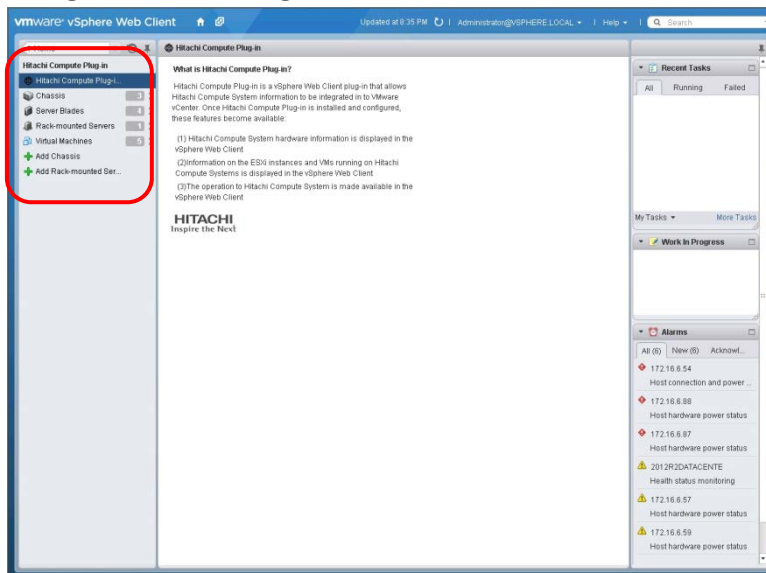
#	説明
1.	<p>ブラウザから vSphere Web Client にログインします。</p> 
2.	<p>vSphere Web Client の画面で、「ホーム」を選択すると、以下が表示されます。Hitachi Compute Plug-in をインストールすることによって、vSphere Web Client に「Hitachi Compute Plug-in」アイコンが追加されます。</p> 

<注意事項>
vSphere Web Client サービス起動直後にログインした場合、「Hitachi Compute Plug-in」アイコンが表示されない場合があります。時間を置いて再度ログインしてください。

表 5-1 Hitachi Compute Plug-in の画面表示手順

#	説明
---	----

3. 「Hitachi Compute Plug-in」アイコンをクリックすると、以下のHitachi Compute Plug-in ナビゲータが表示され、①～⑥の各機能を使用することが可能です。
 ①Chassis List / ②Server Blade List / ③Rack-mounted Server List /
 ④VM List / ⑤Add Chassis / ⑥Add Rack-mounted Server



各機能の詳細については、6章を参照してください。

4. また、vSphere Web Client にログイン後の画面で、ナビゲーターの「vCenter」を選択すると、以下が表示されます。
 Hitachi Compute Plug-in をインストールすることによって、vSphere Web Client に「Hitachi Compute Plug-in」が追加されます。

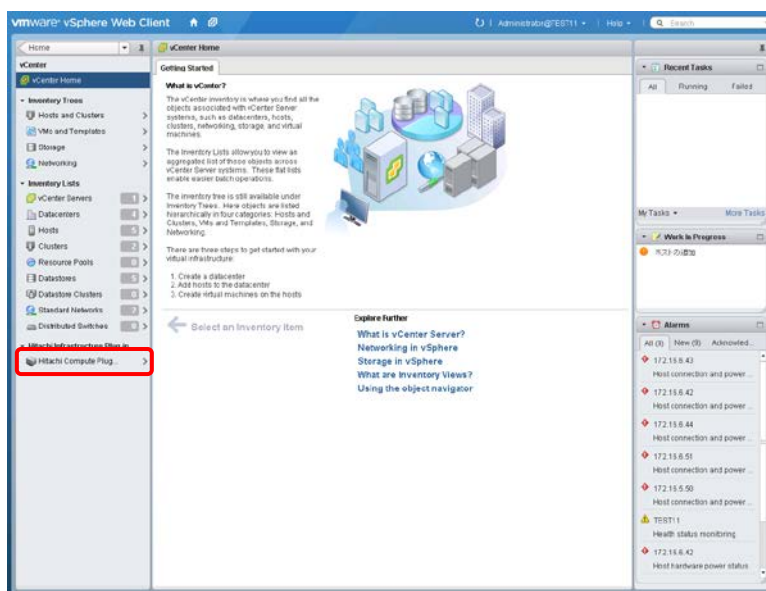
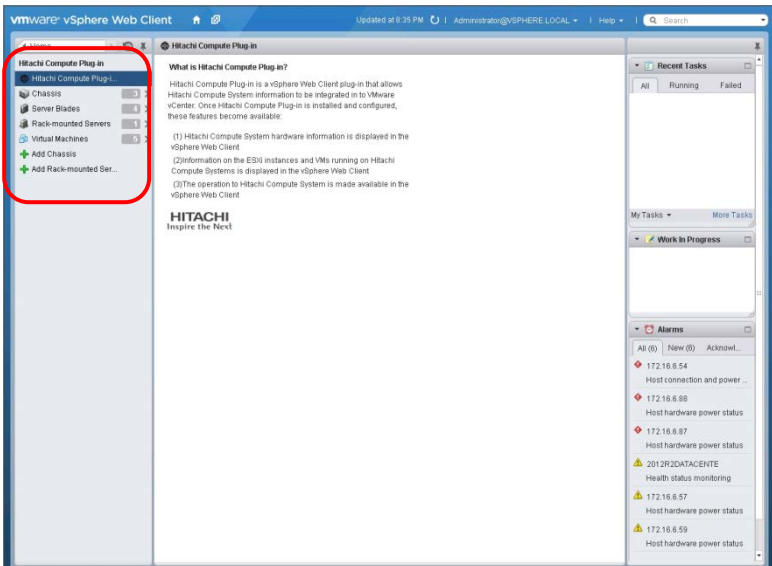


表 5-1 Hitachi Compute Plug-in の画面表示手順

#	説明
5.	<p>「Hitachi Compute Plug-in」をクリックすると、以下のHitachi Compute Plug-inナビゲーターが表示されます。</p>  <p>The screenshot shows the VMware vSphere Web Client interface. On the left, there is a navigation pane with several items: 'Hitachi Compute Plug-in', 'Chassis', 'Server Blades', 'Rack-mounted Servers', 'Virtual Machines', 'Add Chassis', and 'Add Rack-mounted Ser...'. The 'Hitachi Compute Plug-in' item is highlighted with a red circle. The main content area displays information about the Hitachi Compute Plug-in, including a title 'What is Hitachi Compute Plug-in?' and several paragraphs of text. On the right side, there are panels for 'Recent Tasks', 'My Tasks', 'Work in Progress', and 'Alarms'.</p>

6. 機能詳細

vSphere Web Client に Hitachi Compute Plug-in をインストールすることにより、vSphere Web Client から日立製サーバの情報表示や操作が可能になります。

6.1 機能一覧

Hitachi Compute Plug-in が提供する機能を表 6.1-1 に示します。

表 6.1-1 Hitachi Compute Plug-in 機能一覧

#	機能	内容
1.	設定機能	
2.	Add Chassis	Hitachi Compute Plug-in で管理するシャーシの登録を行います。
3.	Remove Chassis	Hitachi Compute Plug-in で管理するシャーシの削除を行います。
4.	Add Rack-mounted Server	Hitachi Compute Plug-in で管理するラックマウントサーバの登録を行います。
5.	Remove Rack-mounted Server	Hitachi Compute Plug-in で管理するラックマウントサーバの削除を行います。
6.	操作機能	
7.	Power On	サーバを起動します。
8.	Force Power Off	サーバを強制的に停止します。
9.	Power Reset	サーバをリセットします。
10.	LID On/Off	サーバの LID を点灯・消灯します。
11.	Refresh Chassis	日立製サーバおよび vCenter Server の情報を最新のものに更新します。
12.	Refresh Servers	日立製サーバおよび vCenter Server の情報を最新のものに更新します。
13.	情報表示	
14.	Chassis List 画面	シャーシの一覧を表示します。
15.	Chassis 詳細画面	Summary で各シャーシの構成情報やステータス情報を表示します。Related Objects で各シャーシに格納されたサーバブレードや仮想マシンの情報を一覧表示します。
16.	Server Blade List 画面	サーバブレードの一覧を表示します。
17.	Server Blade 詳細画面	Summary で各サーバブレードの構成情報やステータス情報を表示します。Related Objects で各サーバブレード上の仮想マシンの情報を一覧表示します。
18.	Rack-mounted Server List 画面	ラックマウントサーバの一覧を表示します。
19.	Rack-mounted Server 詳細画面	Summary で各ラックマウントサーバの構成情報やステータス情報を表示します。Related Objects で各ラックマウントサーバ上の仮想マシンの情報を一覧表示します。
20.	VM List 画面	VM の一覧とその情報を表示します。

6.2 設定機能

6.2.1 Add Chassis

Hitachi Compute Plug-in で日立製サーバを使用可能にするため、Add Chassis でシャーシを登録します。

6.2.1.1 シャーシの登録

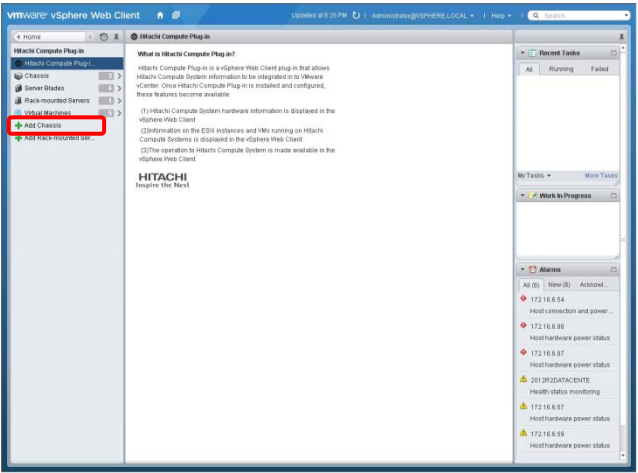
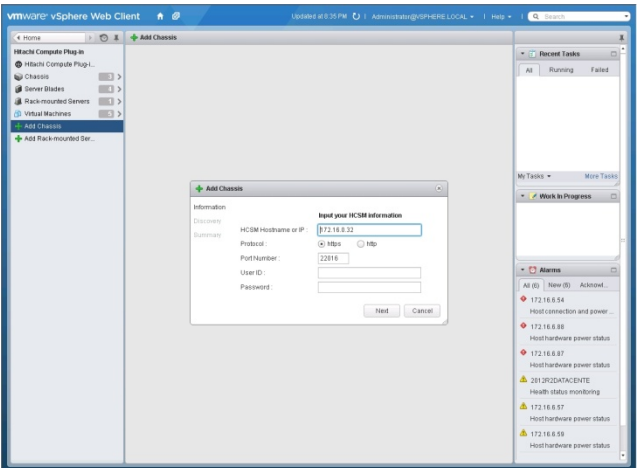
(1) 操作手順

Add Chassis でシャーシを登録する操作手順を以下に示します。

(a) Add Chassis 起動

以下の手順で Add Chassis を起動します。

表 6.2.1-1 Add Chassis - 起動手順

#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Add Chassis」をクリックします。	
2.	Add Chassis が表示されます。	

(b) Information (登録するシャーシ情報の入力)

以下の手順でシャーシ情報の入力を行います。

表 6.2.1-2 Add Chassis - Information 操作手順

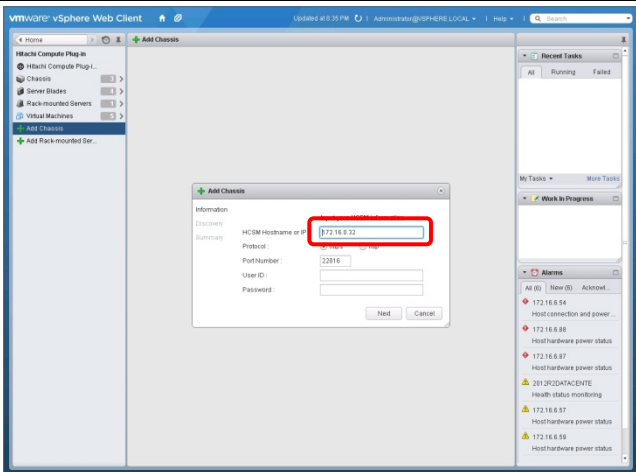
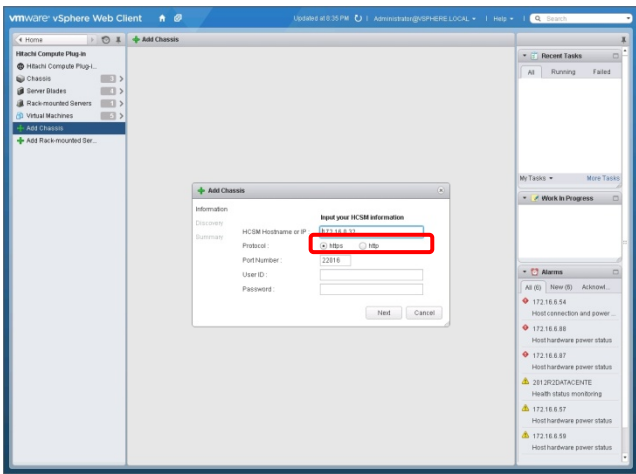
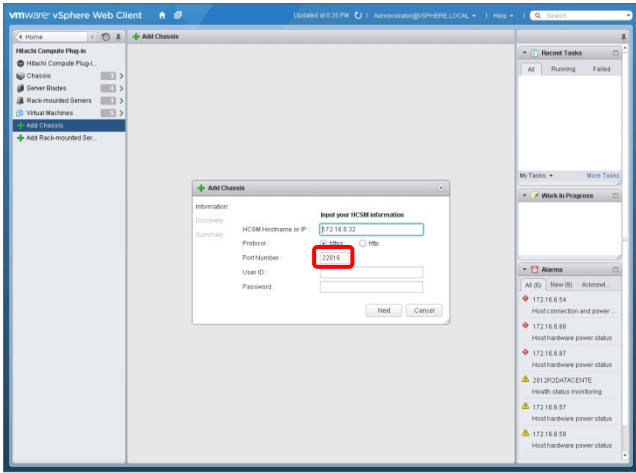
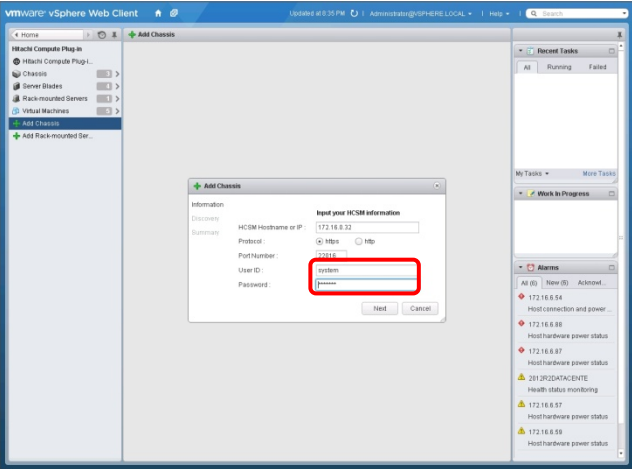
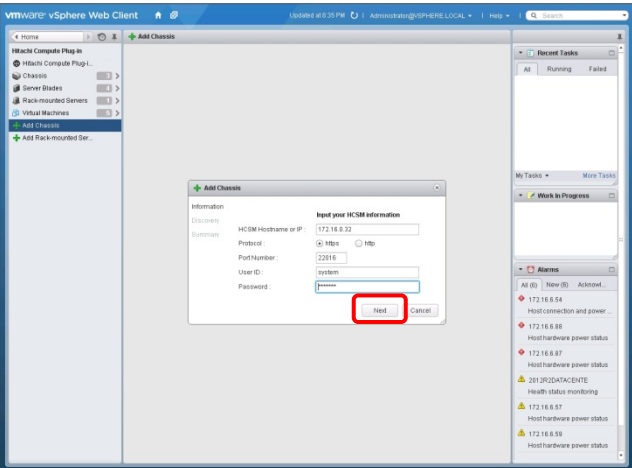
#	説明	画面
1.	<p>対象シャーシが登録された HCSM サーバの IP アドレス (IPv4 形式) またはホスト名を入力します。</p> <p><注意事項> ホスト名を入力する場合、vSphere Web Client サーバで、ホスト情報が登録された DNS または hosts ファイルが利用可能である必要があります。</p>	
2.	<p>HCSM サーバとの通信プロトコルを選択します。</p>	
3.	<p>対象シャーシが登録された HCSM サーバの使用する TCP ポート番号がデフォルトの 22016 または 22015 でない場合は、正しい TCP ポート番号を入力します。0~65535 の範囲で入力してください。</p> <p><注意事項> 通信プロトコル (http/https) に対応したポート番号を入力する必要があります。</p>	

表 6.2.1-2 Add Chassis - Information 操作手順

#	説明	画面
4.	<p>HCSM のユーザ ID とパスワードを入力します。</p> <p>HCSM のユーザ ID およびパスワードは、HCSM 環境の管理者にお問い合わせください。</p>	
5.	<p>各項目の入力完了後、「Next」ボタンをクリックして次に進みます。</p>	

(c) Discovery (シャーシの検出)
 シャーシの設定を行います。

表 6.2.1-3 Add Chassis - Discovery 操作手順

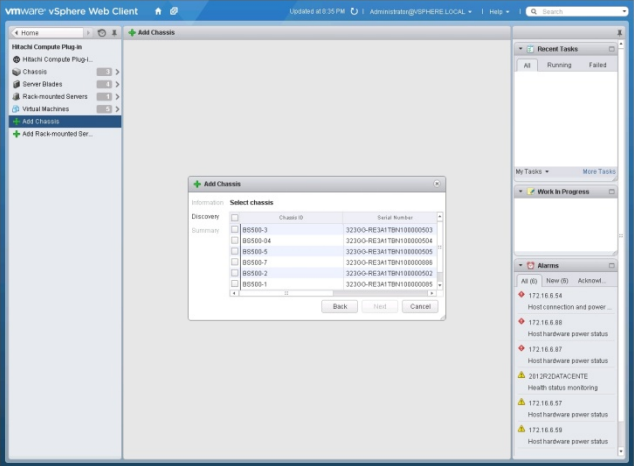
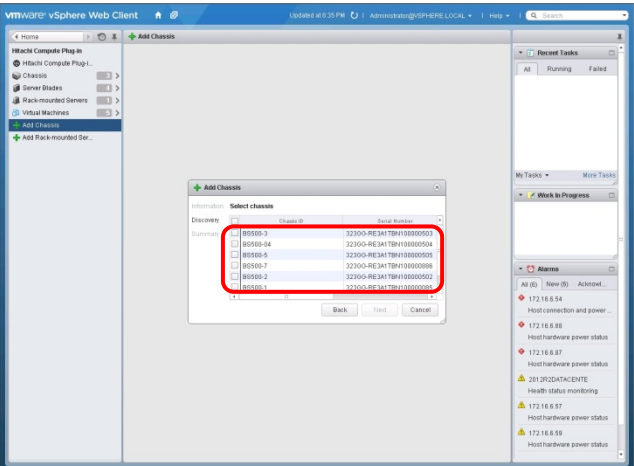
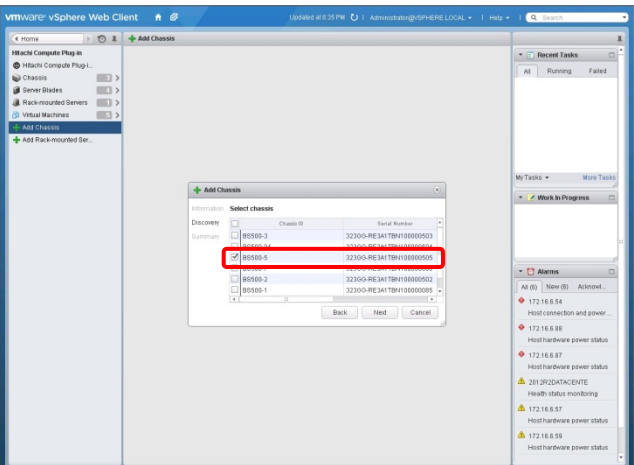
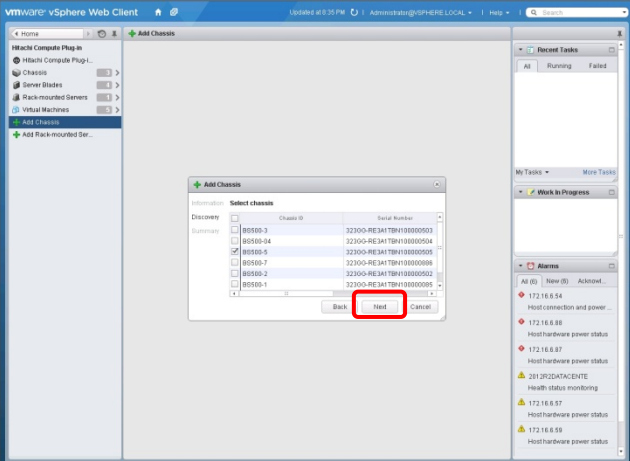
#	説明	画面
1.	<p>「Information」で入力した IP アドレスをネットワーク内から検出し、指定されたユーザ ID とパスワードを使用して HCSM にログインします。</p>	
2.	<p>HCSM へのログインが成功した場合、一覧に HCSM に登録されたシャーシが表示されます。</p> <p>HCSM へのログインに失敗した (例: 通信に失敗、指定したユーザ ID やパスワードに誤り) 場合は、トラブルシューティングの内容にしたがってください。</p>	
3.	<p>登録対象のシャーシを一覧から選択します。</p> <p>一番上のチェックボックスをチェックするとチェックボックスがすべて選択された状態になり、チェックを解除するとチェックボックスがすべて選択されていない状態になります。</p>	

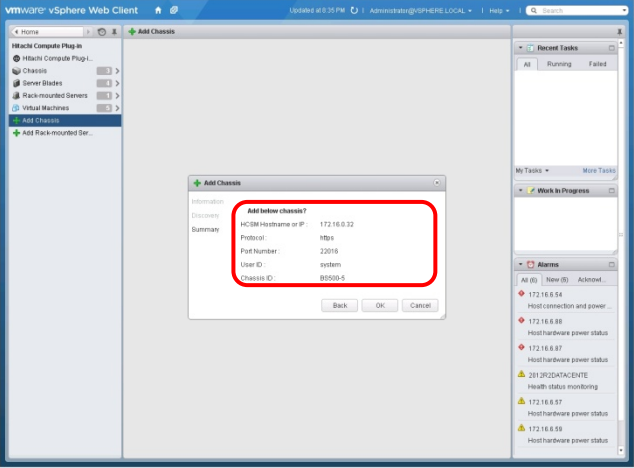
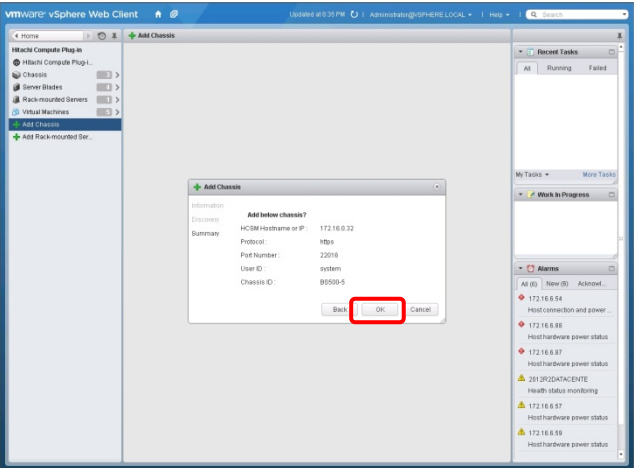
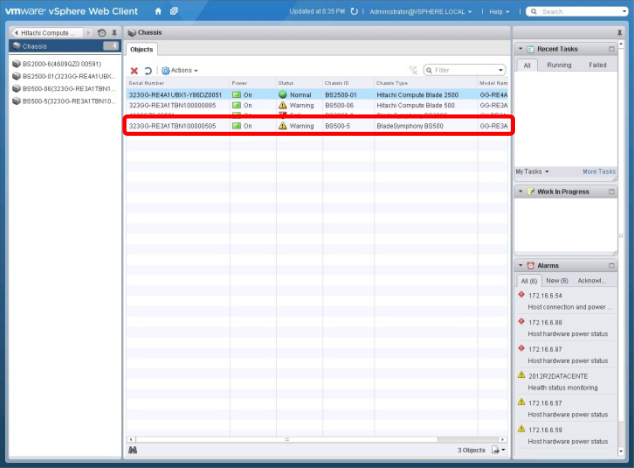
表 6.2.1-3 Add Chassis - Discovery 操作手順

#	説明	画面
4.	「Next」ボタンをクリックして次に進みます。	 <p>The screenshot shows the 'Add Chassis' dialog box in the VMware vSphere Web Client. The dialog has a title bar 'Add Chassis' and a close button. It contains a table with columns 'Discover', 'Chassis ID', and 'Serial Number'. The table lists several chassis IDs, with 'B0500-4' selected. At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'Back', 'Next', and 'Cancel'. The 'Next' button is highlighted with a red rectangle.</p>

(d) Summary (シャーシの確認)

以下の手順で登録するシャーシの確認を行います。

表 6.2.1-4 Add Chassis - Summary 操作手順

#	説明	画面
1.	<p>「Information」、「Discovery」で設定した内容を確認します。</p> <p><注意事項> 設定内容を変更する場合は、「Back」ボタンをクリックして該当する項目を変更してください。</p>	
2.	<p>「OK」ボタンをクリックしてシャーシを登録します。</p>	
3.	<p>Chassis List 画面に登録したシャーシの各種情報が表示されます。</p> <p>表示項目の詳細は、表 6.4.1-1 を参照してください。</p> <p><注意事項> 誤って別のシャーシを登録してしまった場合は、Remove Chassis を使用してシャーシを Hitachi Compute Plug-in から削除してください。</p>	

6.2.2 Remove Chassis

「Add Chassis」で登録したシャーシを Hitachi Compute Plug-in から削除します。

Remove Chassis の操作手順を、表 6.2.2-1 に示します。

表 6.2.2-1 Remove Chassis 操作手順

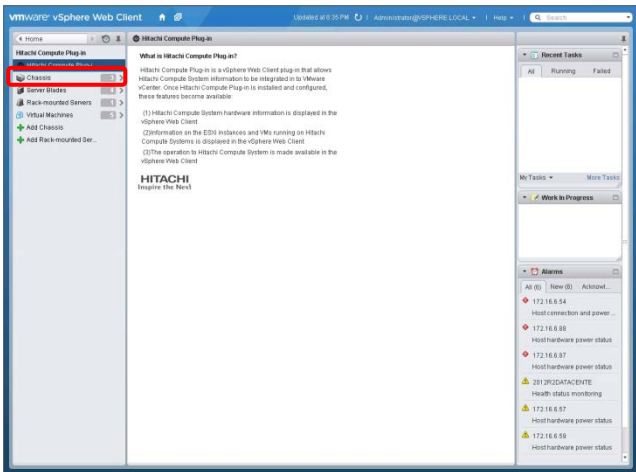
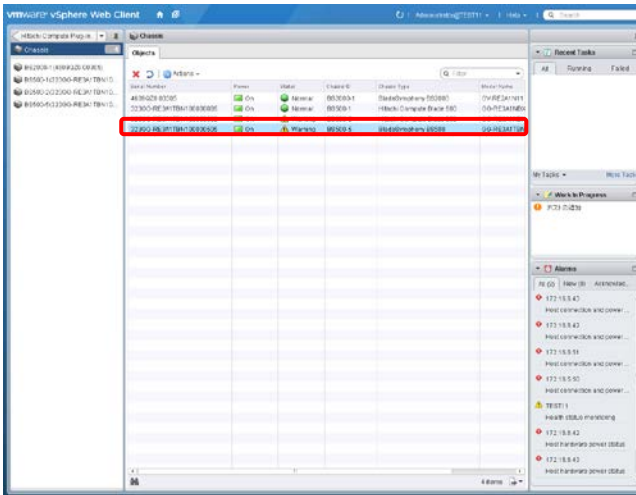
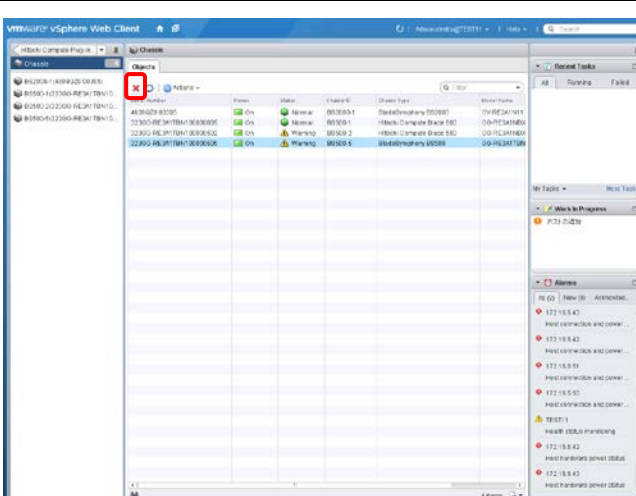
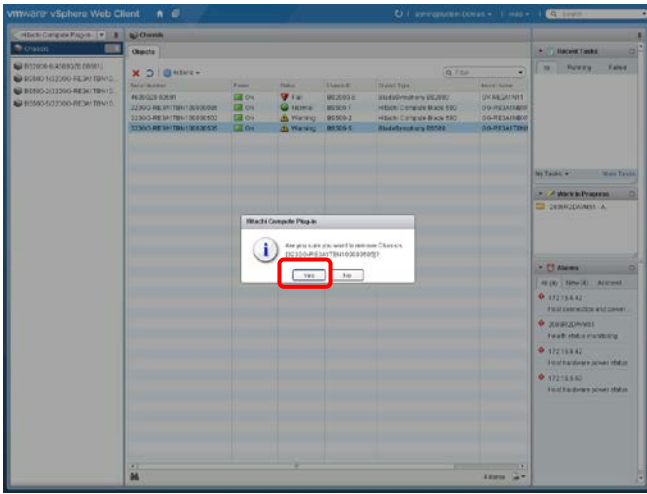
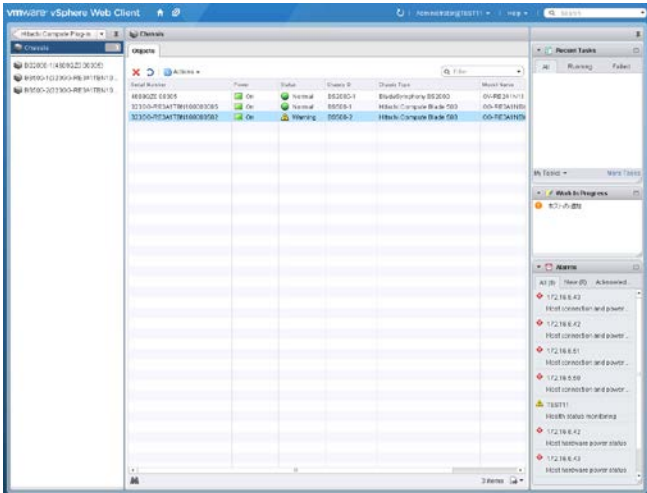
#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Chassis」をクリックします。	
2.	Chassis List 画面で削除したいシャーシを選択します。	
3.	「Remove Chassis」アイコンをクリックします。 <注意事項> シャーシを複数選択した場合、「Actions」から「Remove Chassis」を選択します。	

表 6.2.2-1 Remove Chassis 操作手順

#	説明	画面
4.	<p>削除確認のダイアログボックスが表示されます。「Yes」ボタンをクリックして削除を実行します。</p>	
5.	<p>シャーシの削除が終了すると、Chassis List 画面が再表示され、選択したシャーシが Chassis List 画面から削除されます。</p> <p><注意事項> 誤って別のシャーシを削除してしまった場合や、削除したシャーシが必要となった場合は、Add Chassis で再度 Hitachi Compute Plug-in に登録してください。</p>	

6.2.3 Add Rack-mounted Server

Hitachi Compute Plug-in で日立製サーバを使用可能にするため、Add Rack-mounted Server でラックマウントサーバを登録します。

6.2.3.1 ラックマウントサーバの登録

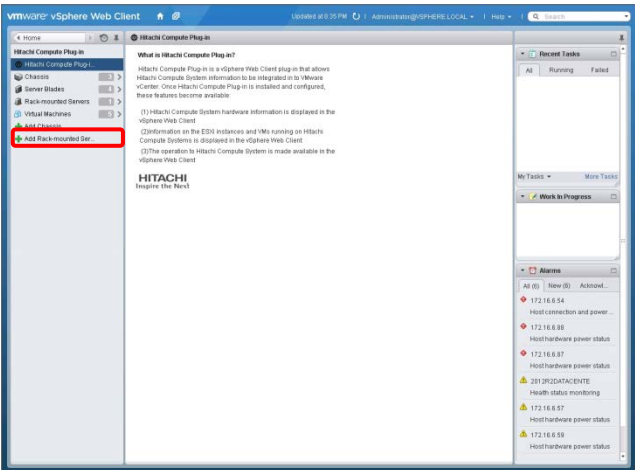
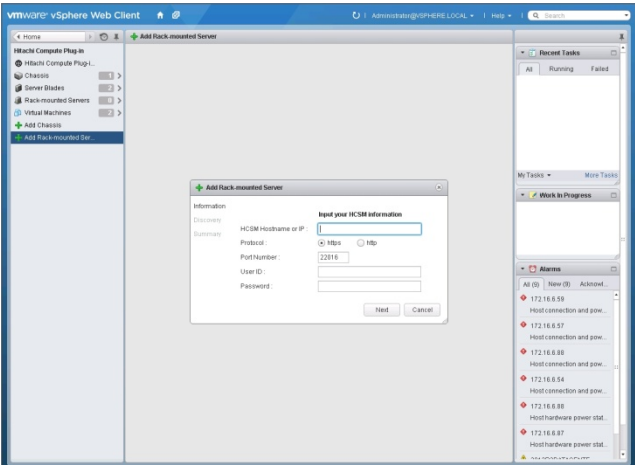
(1) 操作手順

Add Rack-mounted Server でラックマウントサーバを登録する操作手順を以下に示します。

(a) Add Rack-mounted Server 起動

以下の手順で Add Rack-mounted Server を起動します。

表 6.2.3-1 Add Rack-mounted Server - 起動手順

#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Add Rack-mounted Server」をクリックします。	
2.	Add Rack-mounted Server が表示されます。	

(b) Information (登録するラックマウントサーバ情報の入力)

以下の手順でラックマウントサーバ情報の入力を行います。

表 6.2.3-2 Add Rack-mounted Server - Information 操作手順

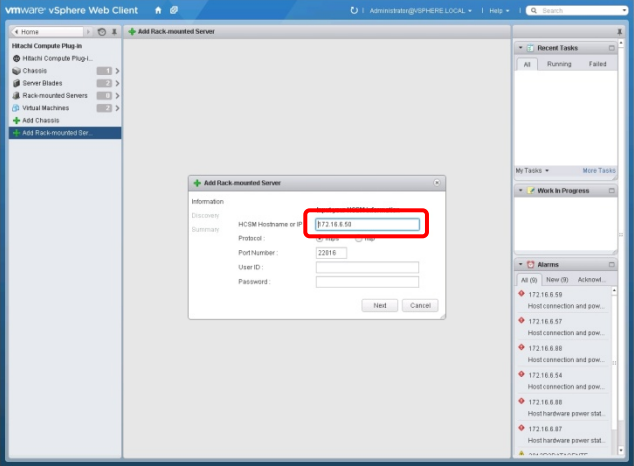
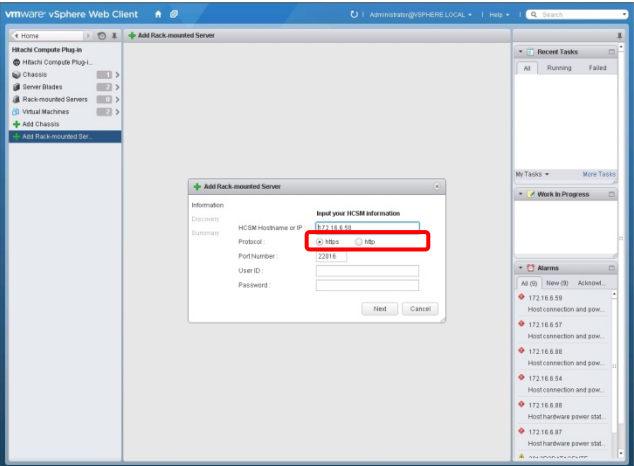
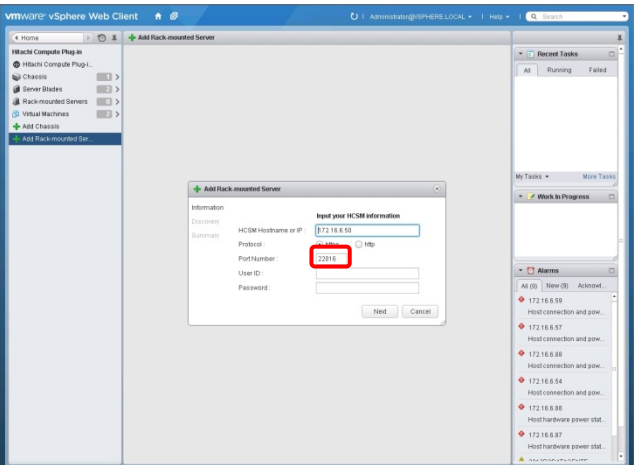
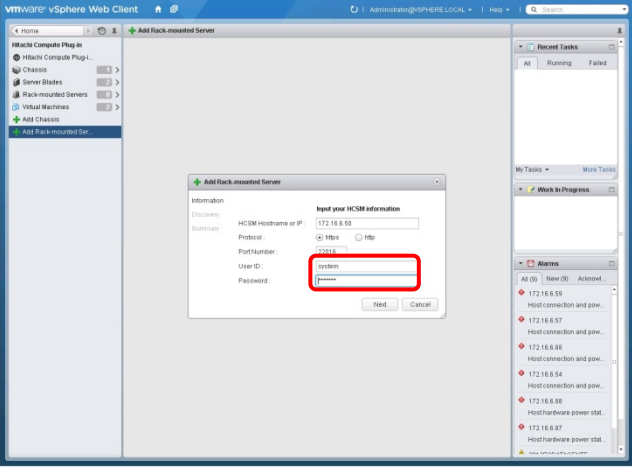
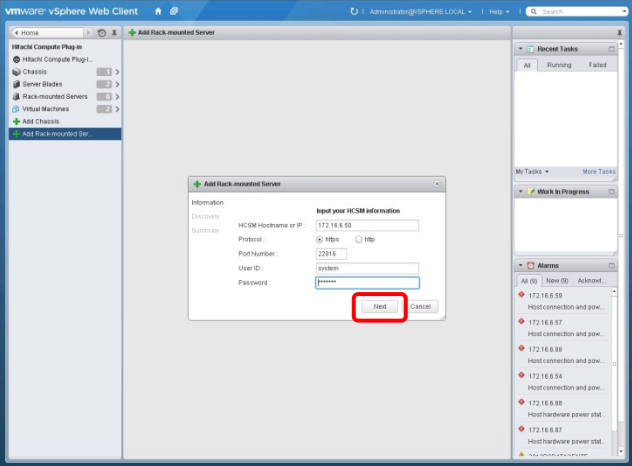
#	説明	画面
1.	<p>対象ラックマウントサーバが登録されたHCSMサーバのIPアドレス(IPv4形式)またはホスト名を入力します。</p> <p><注意事項> ホスト名を入力する場合、vSphere Web Clientサーバで、ホスト情報が登録されたDNSまたはhostsファイルが利用可能である必要があります。</p>	
2.	<p>HCSMサーバとの通信プロトコルを選択します。</p>	
3.	<p>対象ラックマウントサーバが登録されたHCSMサーバの使用するTCPポート番号がデフォルトの22016または22015でない場合は、正しいTCPポート番号を入力します。0~65535の範囲で入力してください。</p> <p><注意事項> 通信プロトコル(http/https)に対応したポート番号を入力する必要があります。</p>	

表 6.2.3-2 Add Rack-mounted Server - Information 操作手順

#	説明	画面
4.	<p>HCSM のユーザ ID とパスワードを入力します。</p> <p>HCSM のユーザ ID およびパスワードは、HCSM 環境の管理者にお問い合わせください。</p>	
5.	<p>各項目の入力完了後、「Next」ボタンをクリックして次に進みます。</p>	

(c) Discovery (ラックマウントサーバの検出)

ラックマウントサーバの設定を行います。

表 6.2.3-3 Add Rack-mounted Server - Discovery 操作手順

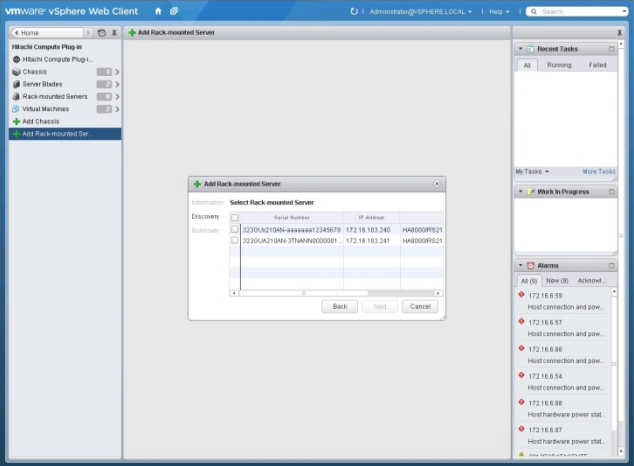
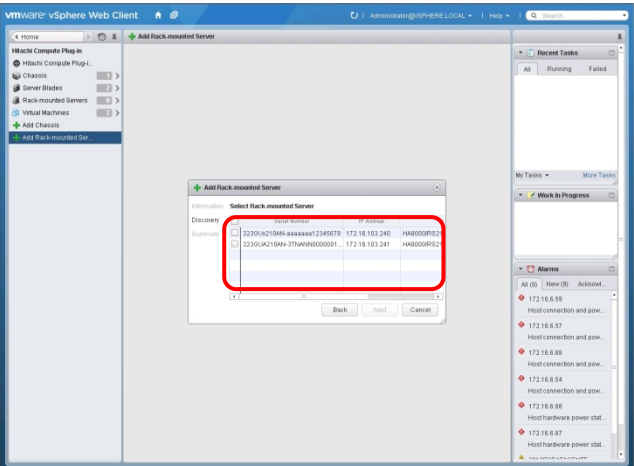
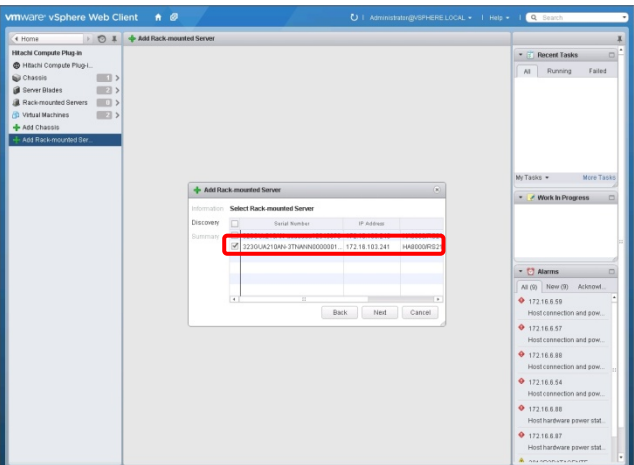
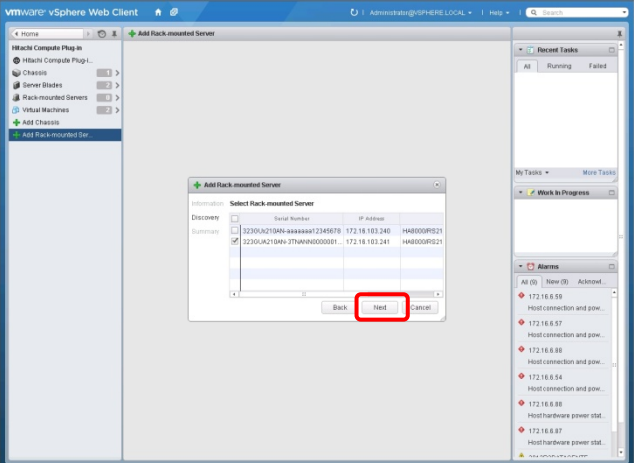
#	説明	画面
1.	<p>「Information」で入力した IP アドレスをネットワーク内から検出し、指定されたユーザ ID とパスワードを使用して HCSM にログインします。</p>	
2.	<p>HCSM へのログインが成功した場合、一覧に HCSM に登録されたラックマウントサーバが表示されます。</p> <p>HCSM へのログインに失敗した (例: 通信に失敗、指定したユーザ ID やパスワードに誤り) 場合は、トラブルシューティングの内容にしたがってください。</p>	
3.	<p>登録対象のラックマウントサーバを一覧から選択します。</p> <p>一番上のチェックボックスをチェックするとチェックボックスがすべて選択された状態になり、チェックを解除するとチェックボックスがすべて選択されていない状態になります。</p>	

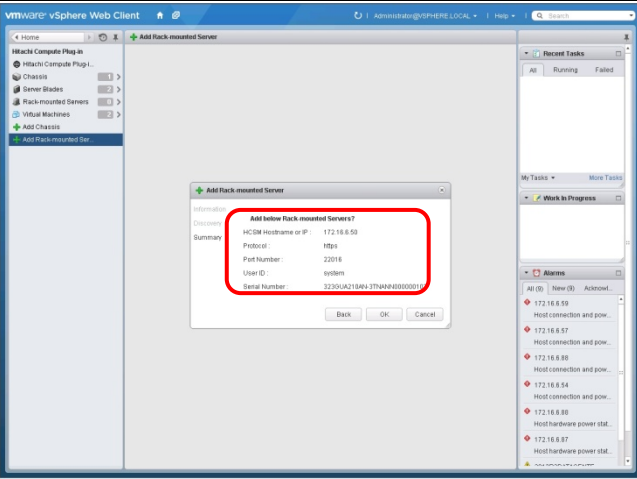
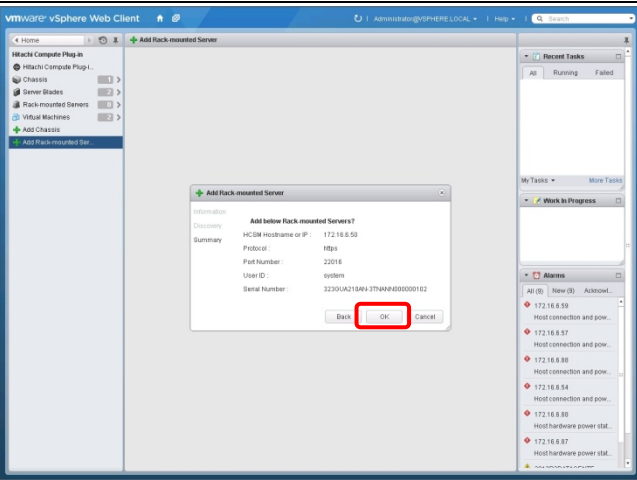
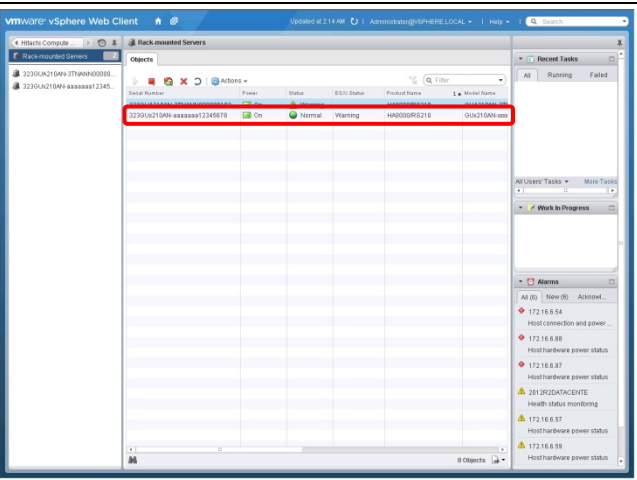
表 6.2.3-3 Add Rack-mounted Server – Discovery 操作手順

#	説明	画面
4.	「Next」ボタンをクリックして次に進みます。	 <p>The screenshot shows the vSphere Web Client interface. A dialog box titled 'Add Rack-mounted Server' is open, displaying a table with columns for 'Discover', 'Serial Number', and 'IP Address'. The 'Next' button at the bottom of the dialog is highlighted with a red rectangle. The background shows the 'Add Rack-mounted Server' page with a sidebar on the left and a 'Recent Tasks' panel on the right.</p>

(d) Summary (ラックマウントサーバの確認)

以下の手順で登録するラックマウントサーバの確認を行います。

表 6.2.3-4 Add Rack-mounted Server - Summary 操作手順

#	説明	画面
1.	<p>「Information」、「Discovery」で設定した内容を確認します。</p> <p><注意事項> 設定内容を変更する場合は、「Back」ボタンをクリックして該当する項目を変更してください。</p>	
2.	<p>「OK」ボタンをクリックしてラックマウントサーバを登録します。</p>	
3.	<p>Rack-mounted Server List 画面に登録したラックマウントサーバの各種情報が表示されます。</p> <p>表示項目の詳細は、表 6.4.3-1 を参照してください。</p> <p><注意事項> 誤って別のラックマウントサーバを登録してしまった場合は、Remove Rack-mounted Server を使用してラックマウントサーバを Hitachi Compute Plug-in から削除してください。</p>	

6.2.4 Remove Rack-mounted Server

「Add Rack-mounted Server」で登録したラックマウントサーバを Hitachi Compute Plug-in から削除します。

Remove Rack-mounted Server の操作手順を、表 6.2.4-1 に示します。

表 6.2.4-1 Remove Rack-mounted Server 操作手順

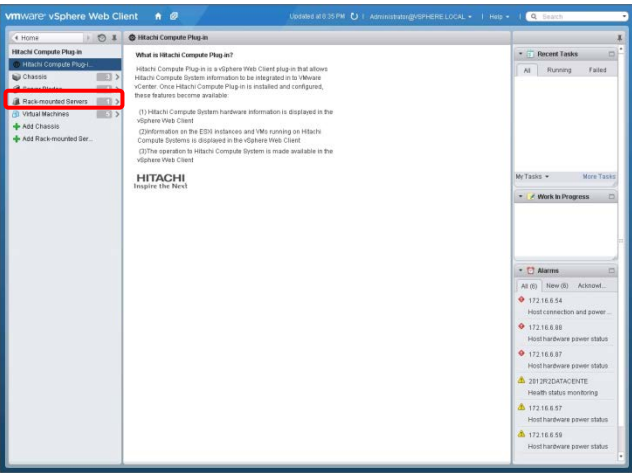
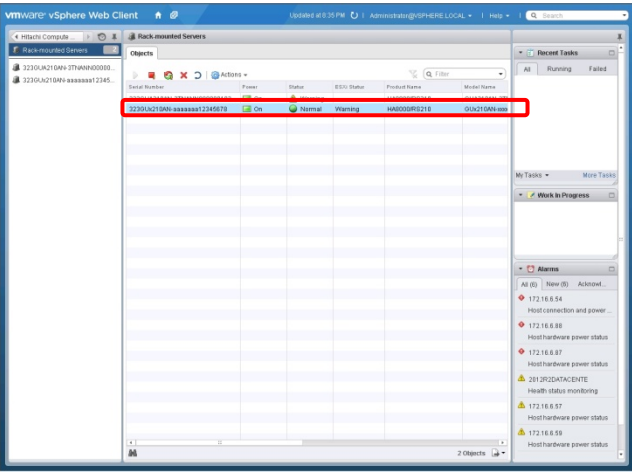
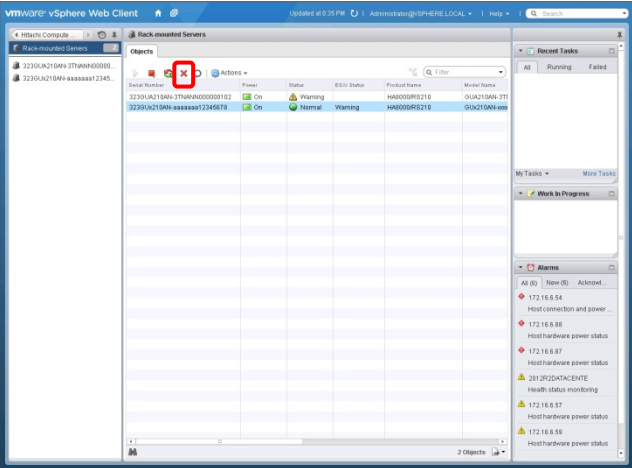
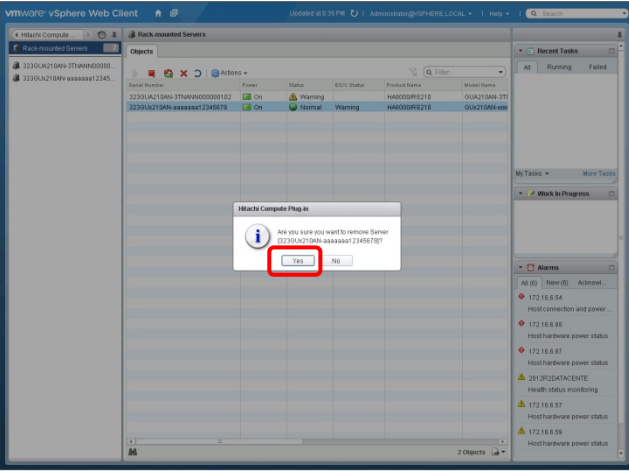
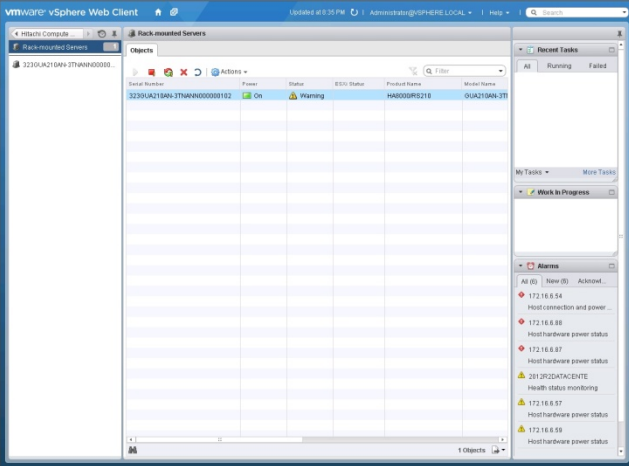
#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Rack-mounted Servers」をクリックします。	
2.	Rack-mounted Server List 画面で削除したいラックマウントサーバを選択します。	
3.	<p>「Remove Rack-mounted Server」アイコンをクリックします。</p> <p><注意事項> ラックマウントサーバを複数選択した場合、「Actions」から「Remove Rack-mounted Server」を選択します。</p>	

表 6.2.4-1 Remove Rack-mounted Server 操作手順

#	説明	画面
4.	<p>削除確認のダイアログボックスが表示されます。「Yes」ボタンをクリックして削除を実行します。</p>	
5.	<p>ラックマウントサーバの削除が終了すると、Rack-mounted Server List 画面が再表示され、選択したラックマウントサーバが Rack-mounted Server List 画面から削除されます。</p> <p><注意事項> 誤って別のラックマウントサーバを削除してしまった場合や、削除したラックマウントサーバが必要となった場合は、Add Rack-mounted Server で再度 Hitachi Compute Plug-in に登録してください。</p>	

6.3 操作機能

<注意事項>

操作機能の操作を行うと、vCenter Server にタスクが生成されます。

生成されたタスクはキャンセルすることができますが、キャンセルしても Hitachi Compute Plug-in の処理は続行します。

vCenter Server や vSphere Web Client の障害、ネットワーク障害などによりタスクが進まない状態になった場合、タスクをキャンセルすることで、タスクを終了させることができます。

6.3.1 電源操作

サーバの電源を操作します。以下の3つの操作を行うことができます。

電源操作は、「Server Blade List 画面」および「Rack-mounted Server List 画面」で実行できます。

(1) Power On

サーバを起動します。

(2) Force Power Off

サーバを強制的に停止します。

サーバに対応するホストのシャットダウン (vSphere Web Client 標準機能) に失敗する場合に使用します。

(3) Power Reset

サーバをリセットします。

サーバに対応するホストのリブート (vSphere Web Client 標準機能) に失敗する場合に使用します。

「Server Blade List 画面」からの電源操作を例として、操作手順を表 6.3.1-1 に示します。
「Rack-mounted Server List 画面」からの電源操作も同様の操作手順となります。

表 6.3.1-1 電源操作手順

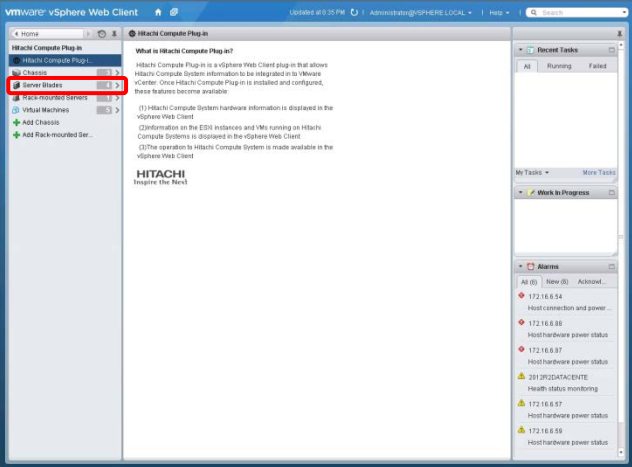
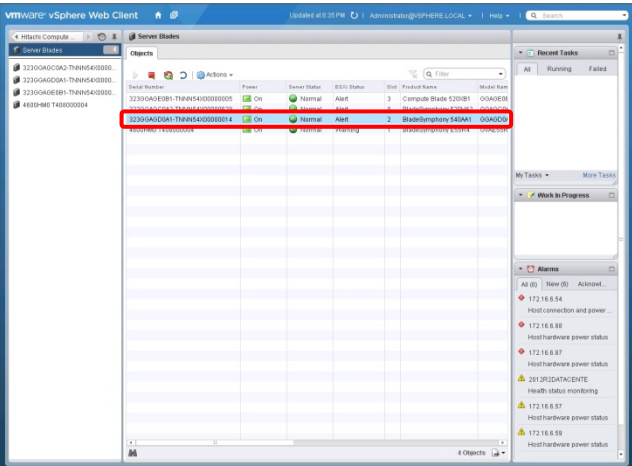
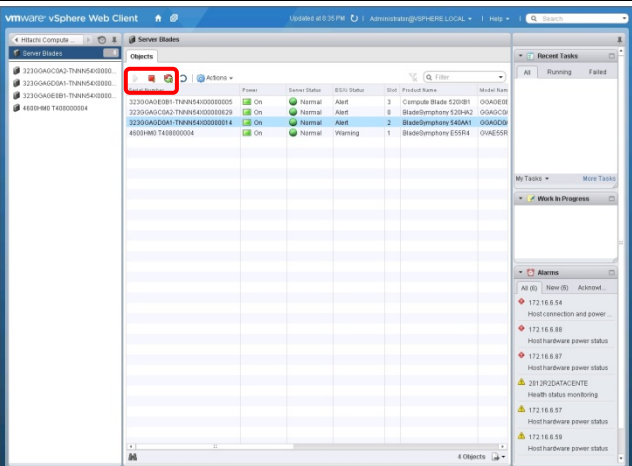
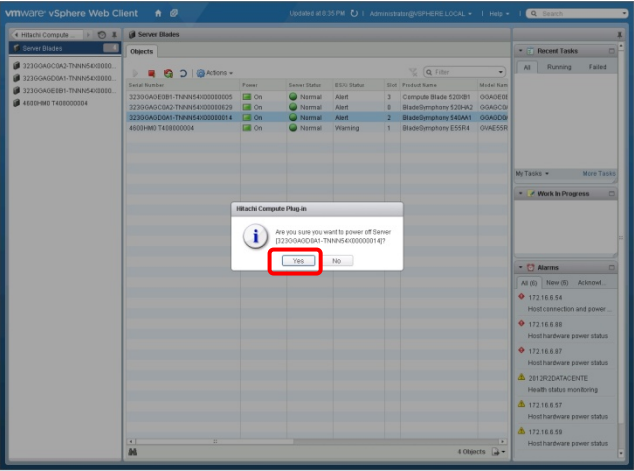
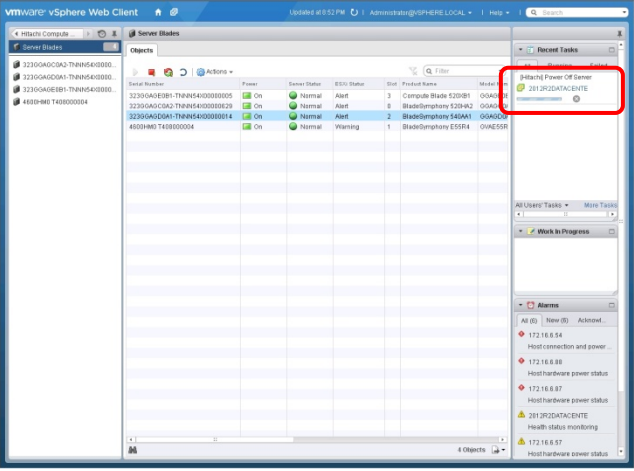
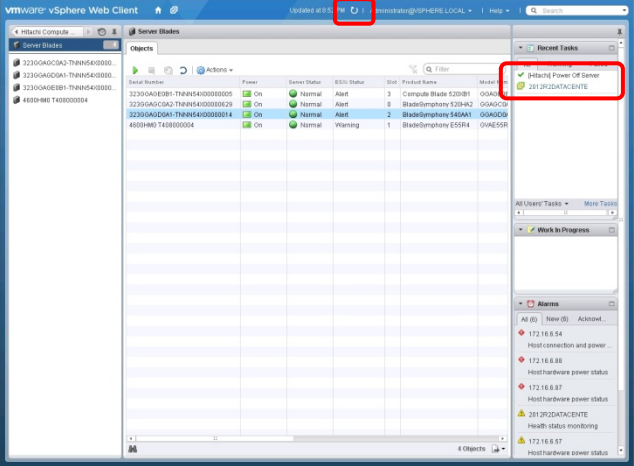
#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Server Blades」をクリックします。	
2.	<p>Server Blade List 画面で電源操作したいサーバブレードを選択します。</p> <p><注意事項> 一度に選択できるサーバブレードはひとつだけです。同時に複数のサーバブレードの電源操作はできません。また、サーバブレードの電源状態によって、選択できる電源操作が異なります。</p>	
3.	「Power On」アイコン、「Force Power Off」アイコン、または「Power Reset」アイコンをクリックします。	

表 6.3.1-1 電源操作手順

#	説明	画面
4.	<p>「Force Power Off」または「Power Reset」の場合、確認のダイアログボックスが表示されます。「Yes」ボタンをクリックして実行します。</p>	
5.	<p>実行中は図のと通りの表示となります。</p>	
6.	<p>電源操作が終了すると、タスクの状態が「Completed」になります。タスク完了後、サーバブレードの最新の状態を表示するには、画面のリフレッシュ(vSphere Web Client 標準機能)を実行してください。</p>	

6.3.2 LID操作

サーバのLIDを操作します。以下の2つの操作を行うことができます。

LID操作は、「Server Blade 詳細画面」および「Rack-mounted Server 詳細画面」で実行できます。

(1) LID On

サーバのLIDを点灯します。

(2) LID Off

サーバのLIDを消灯します。

「Server Blade 詳細画面」からのLID操作を例として、操作手順を表6.3.2-1に示します。

「Rack-mounted Server 詳細画面」からのLID操作も同様の操作手順となります。

表 6.3.2-1 LID 操作手順

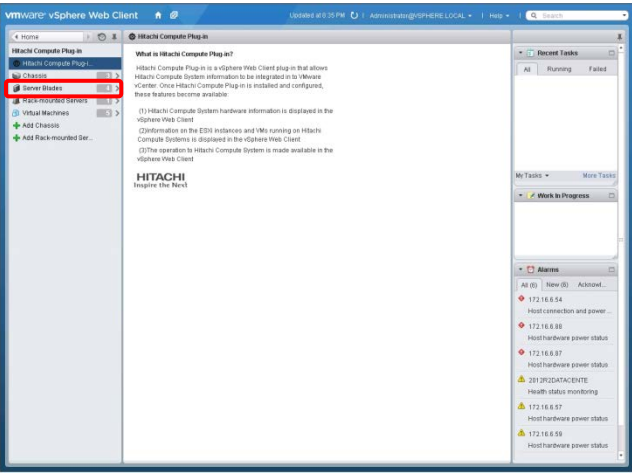
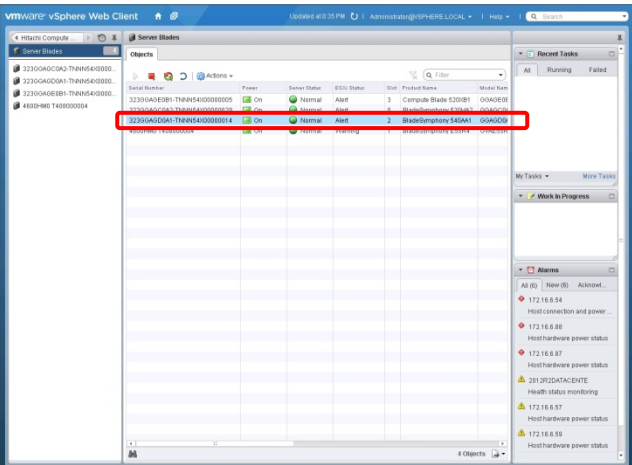
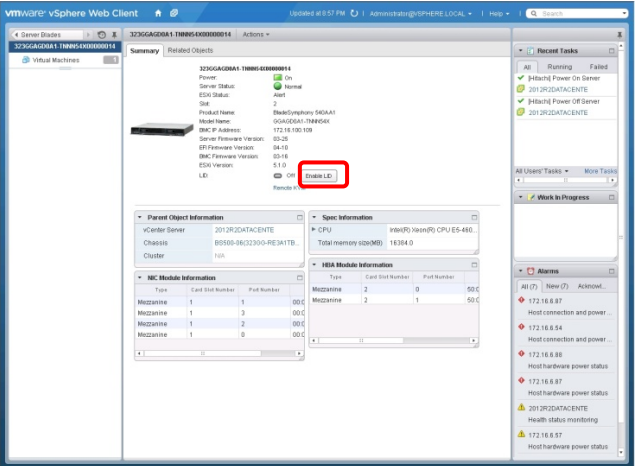
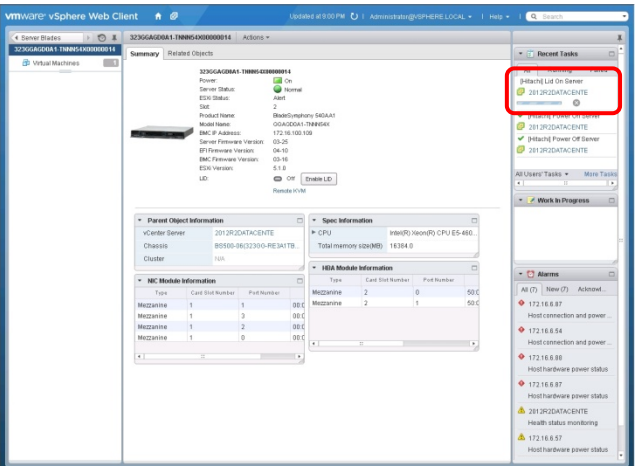
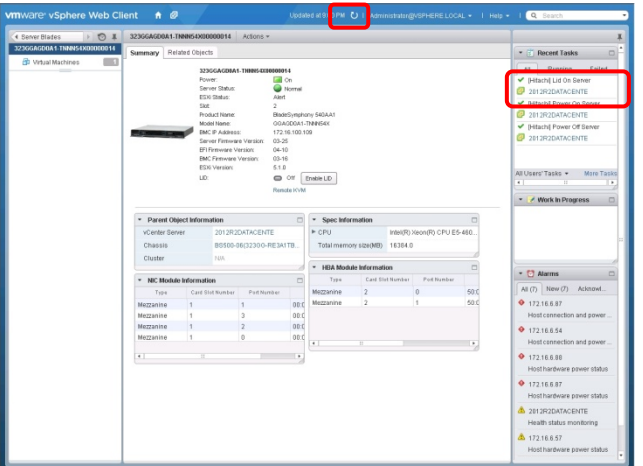
#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Server Blades」をクリックします。	
2.	Server Blade List 画面でLID操作したいサーバブレードをダブルクリックして、Summary 画面を表示します。 <注意事項> 一度にLID操作できるサーバブレードはひとつだけです。同時に複数のサーバブレードのLID操作はできません。また、サーバブレードのLID状態によって、選択できるLID操作が異なります。	

表 6.3.2-1 LID 操作手順

#	説明	画面
3.	<p>「Enable LID」ボタンまたは「Disable LID」ボタンをクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the vSphere Web Client interface for a server blade. The 'LID' status is currently 'Off'. The 'Enable LID' button is highlighted with a red rectangular box.</p>
4.	<p>実行中は図のと通りの表示となります。</p>	 <p>The screenshot shows the vSphere Web Client interface. The 'Recent Tasks' pane on the right shows a task 'iBMC LID On Server' with a progress indicator, highlighted by a red rectangular box.</p>
5.	<p>LID 操作が終了すると、タスクの状態が「Completed」になります。タスク完了後、サーバブレードの最新の状態を表示するには、画面のリフレッシュ(vSphere Web Client 標準機能)を実行してください。</p>	 <p>The screenshot shows the vSphere Web Client interface. The 'Recent Tasks' pane on the right shows the task 'iBMC LID On Server' with a green checkmark, indicating it is completed. The task is highlighted with a red rectangular box.</p>

6.3.3 リフレッシュ

シャーシ、サーバおよび仮想マシンの情報を最新の状態に更新します。

シャーシまたはサーバブレードを選択した場合、Refresh Chassis および Refresh Servers のいずれも、シャーシ単位に情報が更新されます。

ラックマウントサーバを選択した場合、Refresh Servers はサーバ単位に情報が更新されます。

Refresh は、「Chassis List 画面」、「Server Blade List 画面」および「Rack-mounted Server List 画面」で実行できます。

「Chassis List 画面」からの Refresh を例として、操作手順を以下に示します。

「Server Blade List 画面」および「Rack-mounted Server List 画面」からの Refresh も同様の操作手順となります。

表 6.3.3-1 Refresh 操作手順

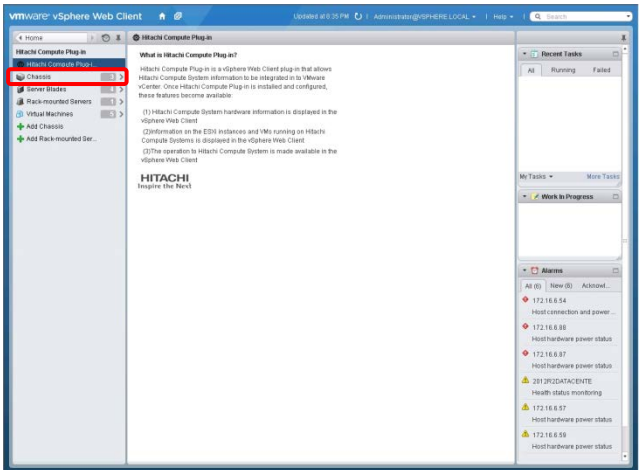
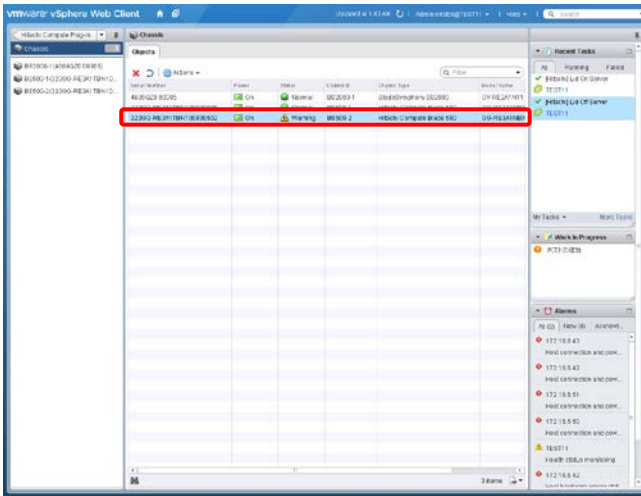
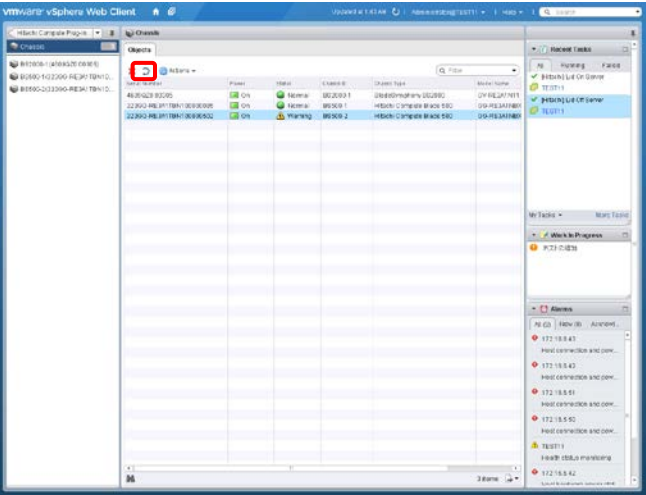
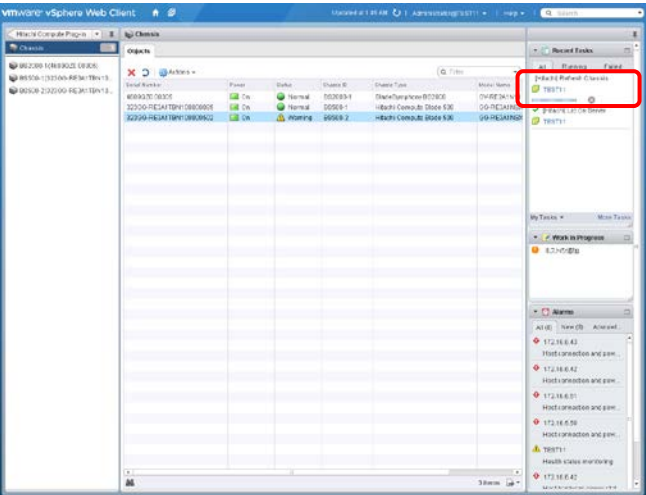
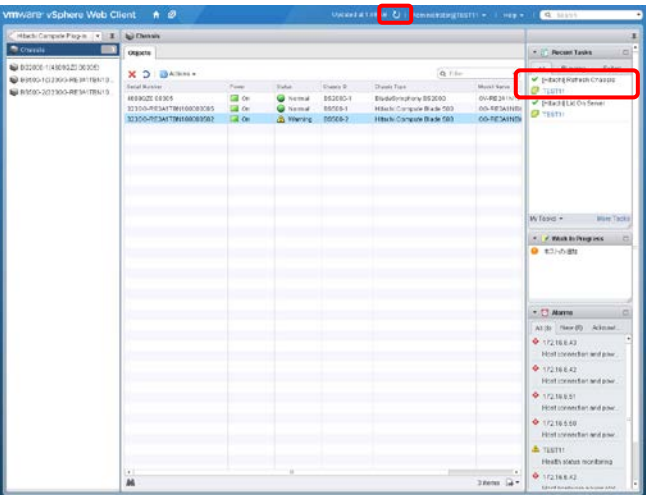
#	説明	画面
1.	Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Chassis」をクリックします。	
2.	Chassis List 画面でリフレッシュしたいシャーシを選択します。	

表 6.3.3-1 Refresh 操作手順

#	説明	画面
3.	<p>「Refresh Chassis」アイコンをクリックします。</p> <p><注意事項> シャーンを複数選択した場合、「Actions」から「Refresh Chassis」を選択します。</p>	
4.	<p>リフレッシュ実行中は図のとおり表示となります。</p>	
5.	<p>Refresh が終了すると、タスクの状態が「Completed」になります。タスク完了後、シャーンの最新の状態を表示するには、画面のリフレッシュ (vSphere Web Client 標準機能) を実行してください。</p>	

6.4 情報表示

<注意事項>

各表示項目について、値が無い場合は「N/A」になります。

また、障害やエラーにより情報取得に失敗した場合、表示情報がすべて「N/A」となったり、リソースや製品画像が表示されなくなります。画面またはログファイルにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。

6.4.1 Chassis List画面

Chassis List 画面では、Hitachi Compute Plug-in に登録したシャーシの一覧を表示します。

Chassis List 画面を表示するには、Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Chassis」をクリックします。

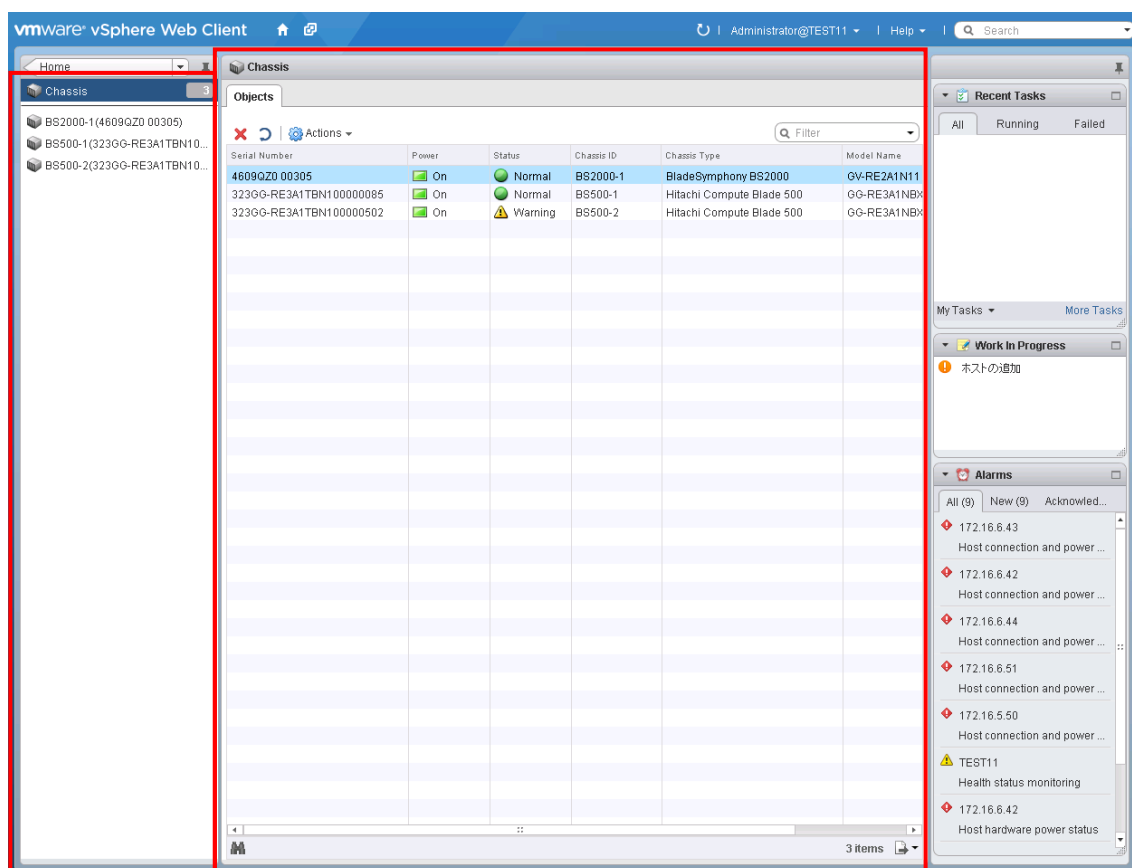


図 6.4.1-1 Chassis List 画面

6.4.1.1 Chassis List

Hitachi Compute Plug-in に登録されているシャーシが「シャーシ ID(シリアル番号)」の形式で一覧表示されます。

6.4.1.2 Chassis Information List

Hitachi Compute Plug-inに登録されているシャーシが表形式で一覧表示されます。

表 6.4.1-1 Chassis Information List のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Serial Number	シャーシのシリアル番号を表示します。
2.	Power	シャーシの電源状態を表示します。 On : オン Unknown : 未接続
3.	Status	シャーシのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明
4.	Chassis ID	シャーシ ID を表示します。
5.	Chassis Type	シャーシ種別を表示します。
6.	Model Name	シャーシの型名を表示します。

6.4.2 Chassis詳細画面

Chassis 詳細画面では、Hitachi Compute Plug-in に登録したシャーシの詳細情報を表示します。また、「Related Objects」タブをクリックすると、シャーシに関連するオブジェクトとして、サーバブレード一覧、および仮想マシン一覧を参照することが可能です。

Chassis 詳細画面を表示するには、Chassis List 画面の Chassis List でシャーシをクリックするか、Chassis Information List でシャーシをダブルクリックします（図 6.4.1-1 を参照）。

6.4.2.1 サマリ

シャーシの詳細情報を表示します。

サマリを表示するには、Chassis 詳細画面で「Summary」タブをクリックします。

The screenshot shows the VMware vSphere Web Client interface. The main content area displays the 'Summary' tab for a chassis with ID 'BS500-06(323GG-RE3A1TBN10000885)'. The status is 'Warning'. Below this, there are four tables providing detailed information about the chassis modules:

Switch Module Information			
Slot	Power	Status	IP Address
0	On	Normal	172.16.100.115
1	On	Normal	172.16.100.116
2	On	Normal	172.16.100.117
3	On	Normal	172.16.100.118

Management Module Information			
Slot	Power	Status	Model Name
0	On	Normal	GG-BE3SVP1N1
1	On	Normal	GG-BE3SVP1N1

Power Module Information			
Slot	Power	Status	Product Name
0	On	Normal	SWR210002-U
1	Off	Fail	SWR210002-U
2	On	Normal	SWR210002-U
3	Off	Fail	SWR210002-U

Fan Module Information		
Slot	Power	Status
0	On	Normal
1	On	Normal
2	On	Normal
3	On	Normal
4	On	Normal
5	On	Normal

図 6.4.2-1 Chassis 詳細画面 (サマリ)

表 6.4.2-1 Summary のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Serial Number	Chassis Information List と同様の内容を表示します (表 6.4.1-1 を参照)。
2.	Power	
3.	Status	
4.	Chassis ID	
5.	Chassis Type	
6.	Model Name	
7.	Launch Chassis Web Console	リンクをクリックすると、別ウィンドウでシャーシの Web コンソールのログイン画面を表示します。 シャーシの Web コンソールについては、日立製サーバのマニュアルを参照してください。
8.	Launch HCSM Web Console	リンクをクリックすると、別ウィンドウで HCSM の Web コンソールのログイン画面を表示します。 HCSM の Web コンソールについては、HCSM のマニュアルを参照してください。

表 6.4.2-2 Switch Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Slot	スロット番号を表示します。
2.	Power	スイッチモジュールの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 不明
3.	Status	スイッチモジュールのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明
4.	IP Address	スイッチモジュールの IP アドレスを表示します。
5.	Type	スイッチモジュール種別を表示します。
6.	Model Name	スイッチモジュールの型名を表示します。
7.	Serial Number	スイッチモジュールのシリアル番号を表示します。
8.	Firmware Version	スイッチモジュールのファームウェアバージョンを表示します。

表 6.4.2-3 Management Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明	
1.	Slot	スロット番号を表示します。	
2.	Power	マネジメントモジュールの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 不明	
3.	Status	マネジメントモジュールのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明	
4.	Model Name	マネジメントモジュールの型名を表示します。	
5.	Serial Number	マネジメントモジュールのシリアル番号を表示します。 HCSM のバージョンが 8.1.0 以降の場合に表示されます。	
6.	Firmware Version	マネジメントモジュールのファームウェアバージョンを表示します。	
7.	Hot Standby Status	主系 (Active)、待機系 (Not Active)、または不明 (Unknown) を表示します。	
8.	IP Address	Management	管理 LAN ポートの IP アドレスを表示します。
9.		Maintenance	保守 LAN ポートの IP アドレスを表示します。

表 6.4.2-4 Power Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Slot	スロット番号を表示します。
2.	Power	電源モジュールの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 不明
3.	Status	電源モジュールのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明
4.	Product Name	電源のプロダクト名称を表示します。
5.	Model Name	電源モジュールの型名を表示します。
6.	Serial Number	電源モジュールのシリアル番号を表示します。

表 6.4.2-5 Fan Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Slot	スロット番号を表示します。
2.	Power	ファンモジュールの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 不明
3.	Status	ファンモジュールのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明

6.4.2.2 シャーシに関する関連オブジェクト

(1) シャーシに関連するサーバブレード一覧

シャーシに関連するサーバブレード一覧を表示します。

Chassis 詳細画面で「Related Objects」タブをクリック後、「Server Blades」をクリックします。

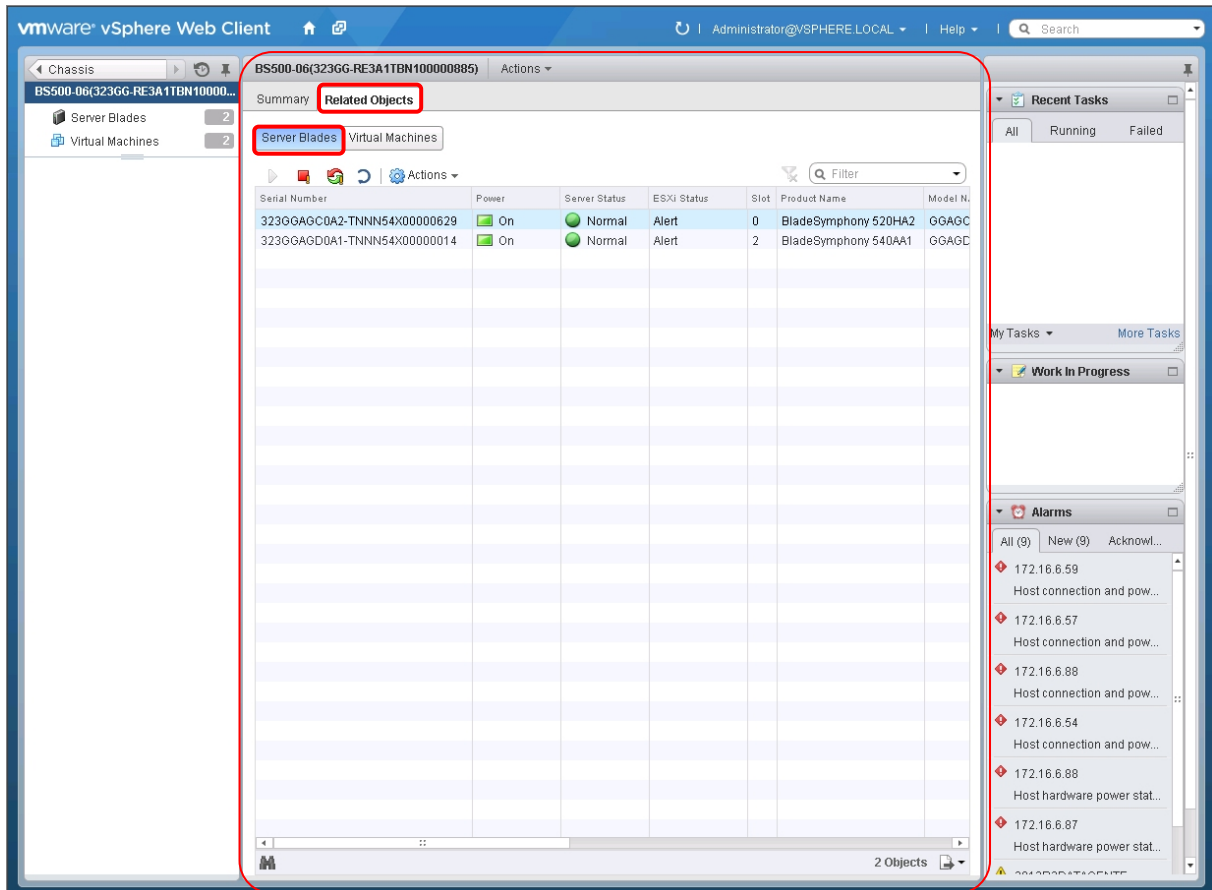


図 6.4.2-2 Chassis 詳細画面 (サーバブレード)

サーバブレード一覧に表示されるプロパティについては、表 6.4.3-1 を参照してください。

(2) シャーシに関連する仮想マシン一覧

シャーシに関連する仮想マシン一覧を表示します。

Chassis 詳細画面で「Related Objects」タブをクリック後、「Virtual Machines」をクリックします。

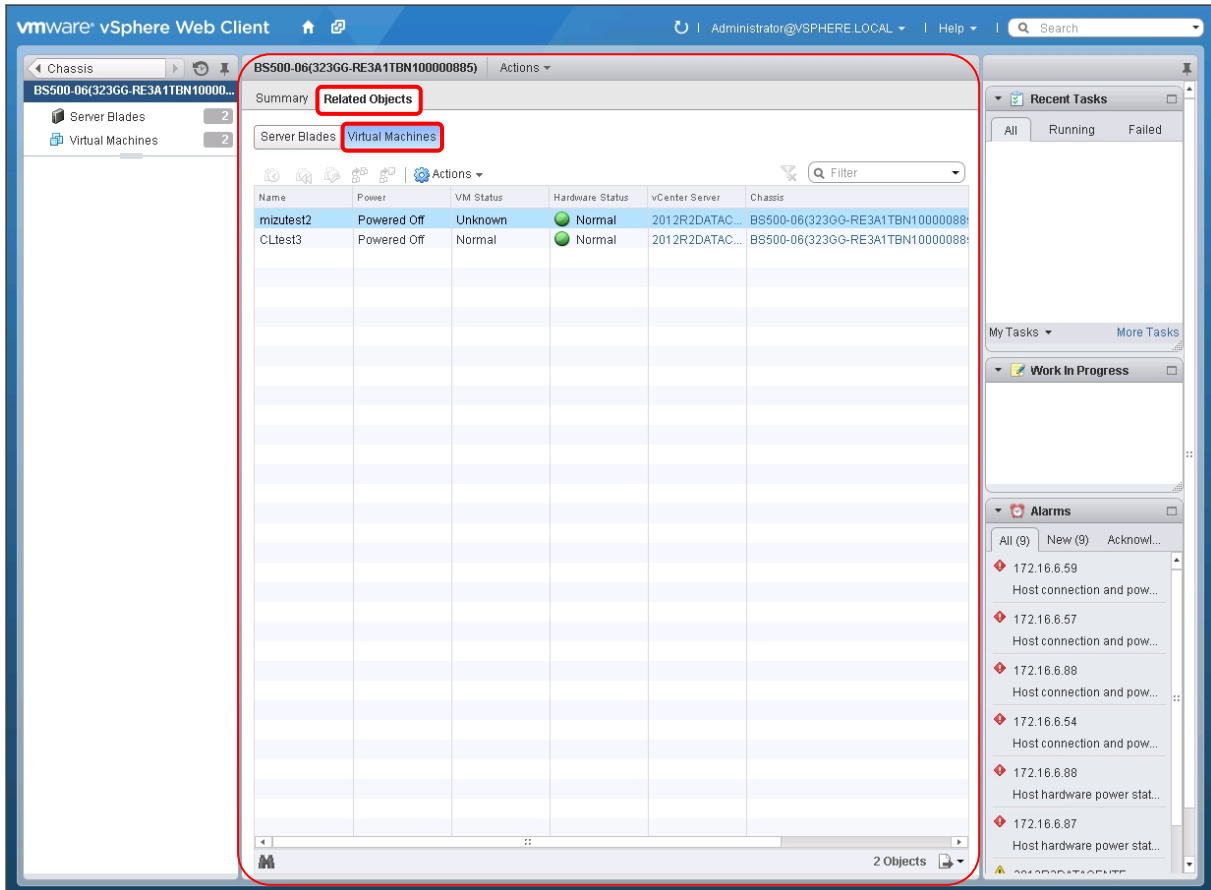


図 6.4.2-3 Chassis 詳細画面 (仮想マシン)

仮想マシン一覧に表示されるプロパティについては、表 6.4.7-1 を参照してください。

6.4.3 Server Blade List画面

Server Blade List 画面では、Hitachi Compute Plug-inに登録したシャーシに格納されたサーバブレードの一覧を表示します。シャーシに格納されたサーバブレードのうち、ホストとしてvCenter Serverに登録されているサーバブレードが表示対象になります。

Server Blade List 画面を表示するには、Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Server Blades」をクリックします。

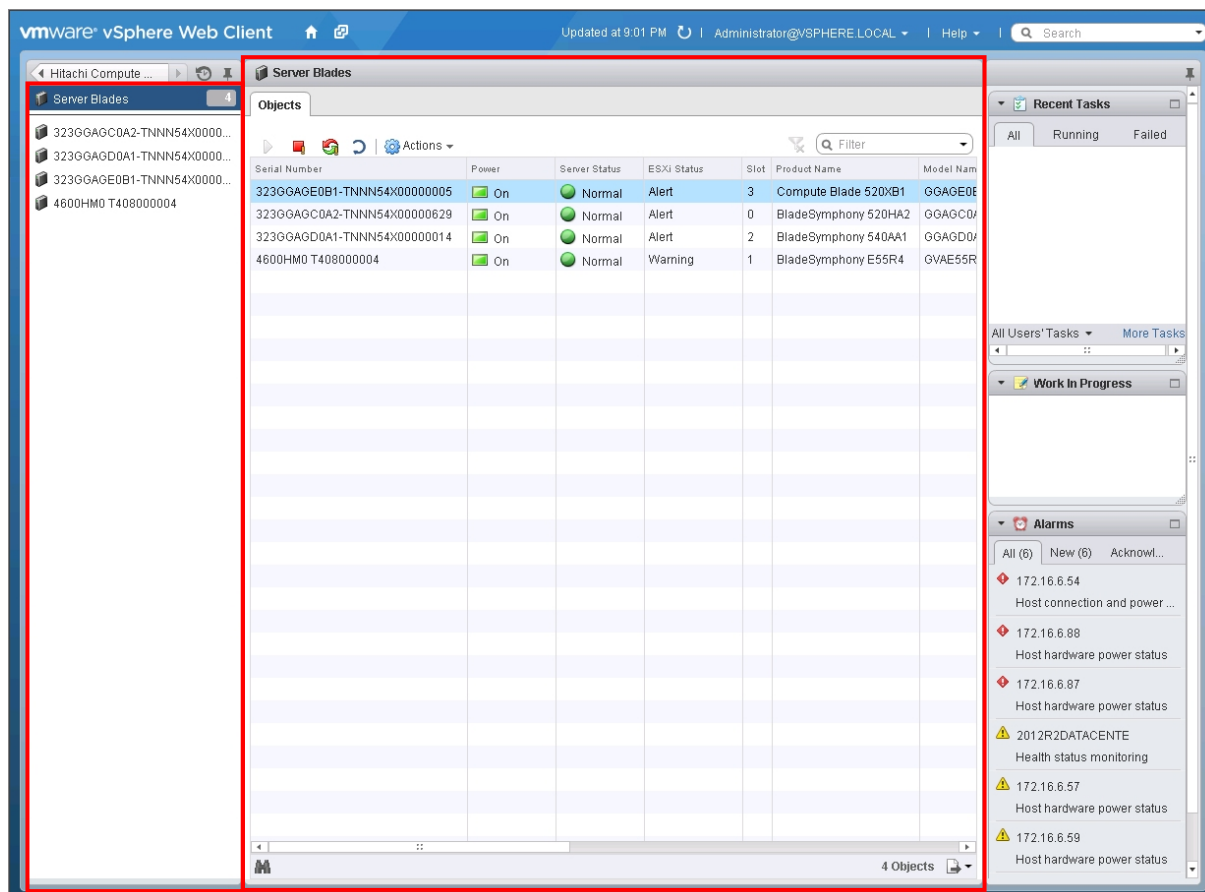


図 6.4.3-1 Server Blade List 画面

6.4.3.1 Server Blade List

シャーシに格納されたサーバブレードのシリアル番号が一覧表示されます。

6.4.3.2 Server Blade Information List

シャーシに格納されたサーバブレードが表形式で一覧表示されます。

表 6.4.3-1 Server Blade Information List のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Serial Number	サーバブレードのシリアル番号を表示します。
2.	Power	サーバブレードの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 未接続
3.	Server Status	サーバブレードのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明
4.	ESXi Status	ESXi のステータスを表示します。
5.	Slot	サーバブレードのスロット番号を表示します。
6.	Product Name	サーバブレードの製品名を表示します。
7.	Model Name	サーバブレードの型名を表示します。
8.	BMC IP Address	BMC の IP アドレスを表示します。
9.	Server Firmware Version	サーバブレードのファームウェアバージョンを表示します。
10.	EFI Firmware Version	EFI のファームウェアバージョンを表示します。
11.	BMC Firmware Version	BMC のファームウェアバージョンを表示します。
12.	ESXi Version	ESXi のバージョンを表示します。
13.	LID	LID の点灯状態を表示します。 On : 点灯状態 Off : 消灯状態 Unknown : 不明
14.	vCenter Server	vCenter Server 名を表示します。 クリックすると、vCenter Server Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) に遷移します。
15.	Chassis	シャーシを「シャーシ ID (シャーシシリアル番号)」の形式で表示します。 クリックすると、Chassis 詳細画面に遷移します。
16.	Cluster	ESXi ホストが構成している vCenter 上のクラスタ名を表示します。 クリックすると、Cluster Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) に遷移します。

6.4.4 Server Blade詳細画面

Server Blade 詳細画面では、サーバブレードの詳細情報を表示します。また、「Related Objects」タブをクリックすると、サーバブレードに関連するオブジェクトとして、仮想マシン一覧を参照することが可能です。

Server Blade 詳細画面を表示するには、Server Blade List 画面の Server Blade List でサーバブレードをクリックするか、Server Blade Information List でサーバブレードをダブルクリックします（図 6.4.3-1 を参照）。

6.4.4.1 サマリ

サーバブレードの詳細情報を表示します。

サマリを表示するには、Server Blade 詳細画面で「Summary」タブをクリックします。

<注意事項>

未サポート機種の場合、製品画像が表示されません。

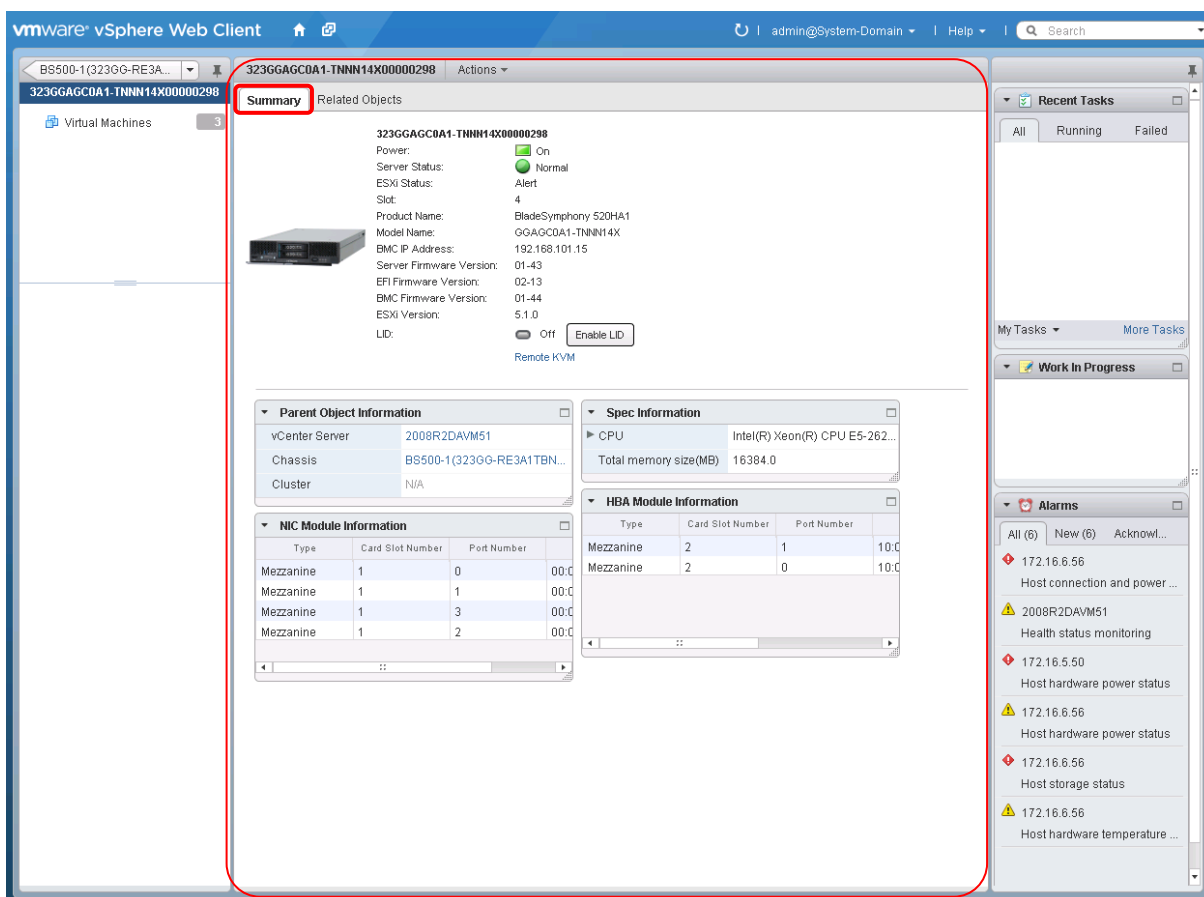


図 6.4.4-1 Server Blade 詳細画面(サマリ)

表 6. 4. 4-1 Summary のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Serial Number	Server Blade Information List と同様の内容を表示します(表 6. 4. 3-1 を参照)。
2.	Power	
3.	Server Status	
4.	ESXi Status	
5.	Slot	
6.	Product Name	
7.	Model Name	
8.	BMC IP Address	
9.	Server Firmware Version	
10.	EFI Firmware Version	
11.	BMC Firmware Version	
12.	ESXi Version	
13.	LID	
14.	Remote KVM	リンクをクリックすると、別ウィンドウでリモート KVM のログイン画面を表示します。 リモート KVM については、日立製サーバのマニュアルを参照してください。

表 6. 4. 4-2 Parent Object Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	vCenter Server	Server Blade Information List と同様の内容を表示します (表 6. 4. 3-1 を参照)。
2.	Chassis	
3.	Cluster	

表 6. 4. 4-3 Spec Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	CPU	Name CPU 名称を表示します。
2.		Number CPU 数を表示します。
3.		Cores Core 数を表示します。
4.	Total memory size(MB)	メモリ容量(MB)を表示します。

表 6. 4. 4-4 NIC Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Type	MAC カード種別を表示します。
2.	Card Slot Number	カードスロット番号を表示します。
3.	Port Number	ポート番号を表示します。
4.	MAC Address	MAC アドレスを表示します。

表 6. 4. 4-5 HBA Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Type	HBA の種別を表示します。
2.	Card Slot Number	カードスロット番号を表示します。
3.	Port Number	ポート番号を表示します。
4.	WWPN	WWPN を表示します。
5.	WWNN	WWNN を表示します。

6. 4. 4. 2 サーバブレードに関する関連オブジェクト

サーバブレードに関連する仮想マシン一覧を表示します。

Server Blade 詳細画面で「Related Objects」タブをクリックします。

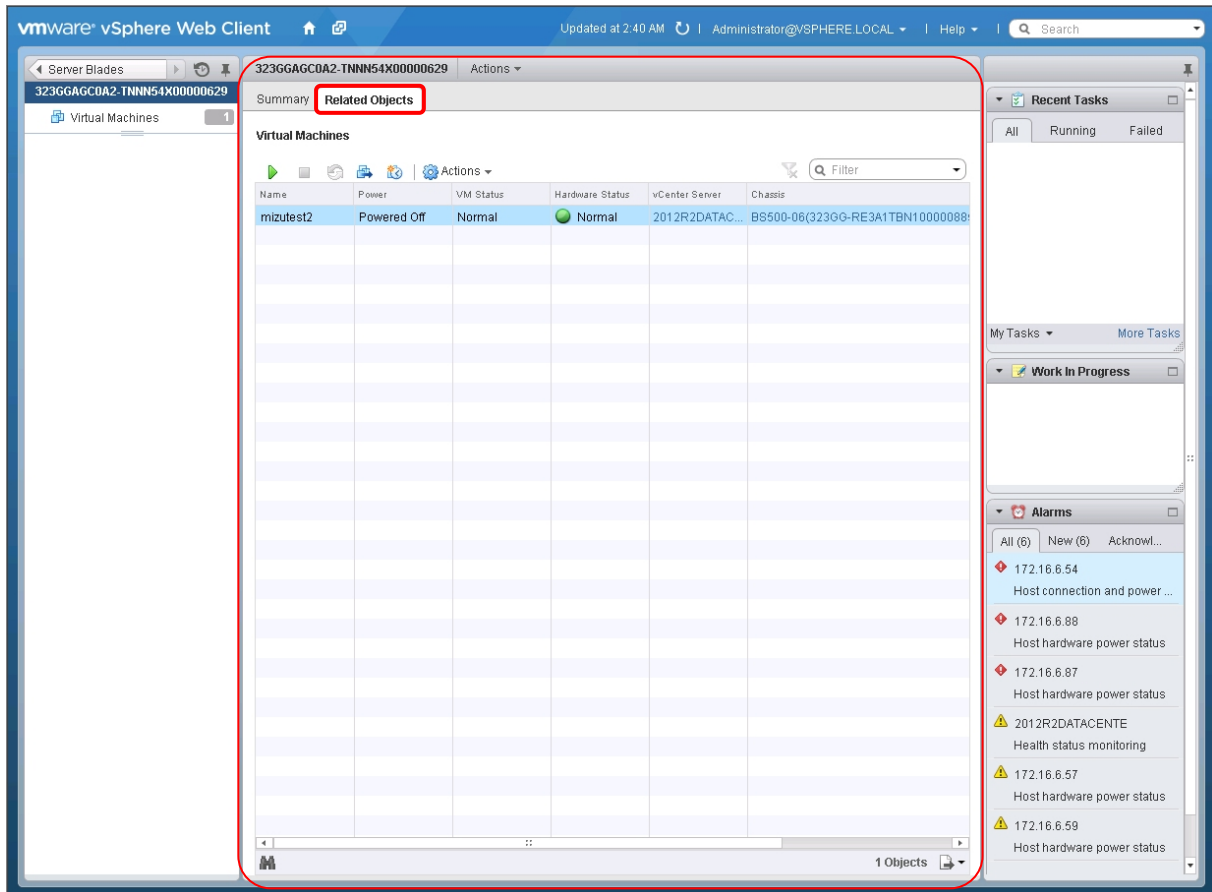


図 6. 4. 4-2 Server Blade 詳細画面(仮想マシン)

仮想マシン一覧に表示されるプロパティについては、表 6. 4. 7-1 を参照してください。

6.4.5 Rack-mounted Server List画面

Rack-mounted Server List 画面では、Hitachi Compute Plug-in に登録したラックマウントサーバの一覧を表示します。

Rack-mounted Server List 画面を表示するには、Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Rack-mounted Servers」をクリックします。

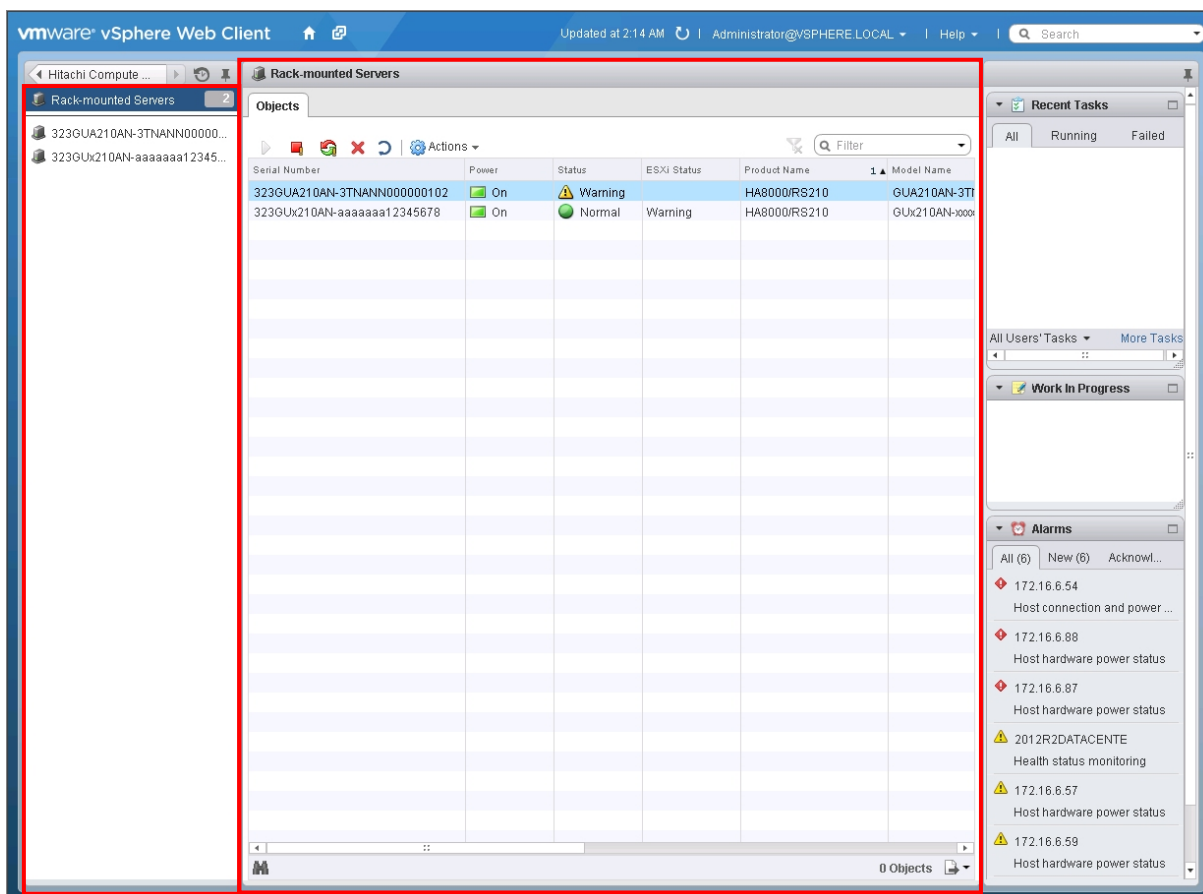


図 6.4.5-1 Rack-mounted Server List 画面

6.4.5.1 Rack-mounted Server List

Hitachi Compute Plug-in に登録されているラックマウントサーバのシリアル番号が一覧表示されます。

6.4.5.2 Rack-mounted Server Information List

Hitachi Compute Plug-in に登録されているラックマウントサーバが表形式で一覧表示されます。

表 6.4.5-1 Rack-mounted Server Information List のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Serial Number	ラックマウントサーバのシリアル番号を表示します。
2.	Power	ラックマウントサーバの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 未接続
3.	Server Status	ラックマウントサーバのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明
4.	ESXi Status	ESXi のステータスを表示します。
5.	Product Name	ラックマウントサーバの製品名を表示します。
6.	Model Name	ラックマウントサーバの型名を表示します。
7.	BMC IP Address	BMC の IP アドレスを表示します。
8.	EFI Firmware version	EFI のファームウェアバージョンを表示します。
9.	BMC Firmware Version	BMC のファームウェアバージョンを表示します。
10.	ESXi Version	ESXi のバージョンを表示します。
11.	LID	LID の点灯状態を表示します。 On : 点灯状態 Off : 消灯状態 Unknown : 不明
12.	vCenter Server	vCenter Server 名を表示します。 クリックすると、vCenter Server Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) に遷移します。
13.	Cluster	ESXi ホストが構成している vCenter 上のクラスタ名を表示します。 クリックすると、Cluster Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) に遷移します。

6.4.6 Rack-mounted Server詳細画面

Rack-mounted Server 詳細画面では、Hitachi Compute Plug-in に登録したラックマウントサーバの詳細情報を表示します。また、「Related Objects」タブをクリックすると、ラックマウントサーバに関連するオブジェクトとして、仮想マシン一覧を参照することが可能です。

Rack-mounted Server 詳細画面を表示するには、Rack-mounted Server List 画面の Rack-mounted Server List でラックマウントサーバをクリックするか、Rack-mounted Server Information List でラックマウントサーバをダブルクリックします（図 6.4.6-1 を参照）。

6.4.6.1 サマリ

ラックマウントサーバの詳細情報を表示します。

サマリを表示するには、Rack-mounted Server 詳細画面で「Summary」タブをクリックします。

<注意事項>

未サポート機種の場合、製品画像が表示されません。

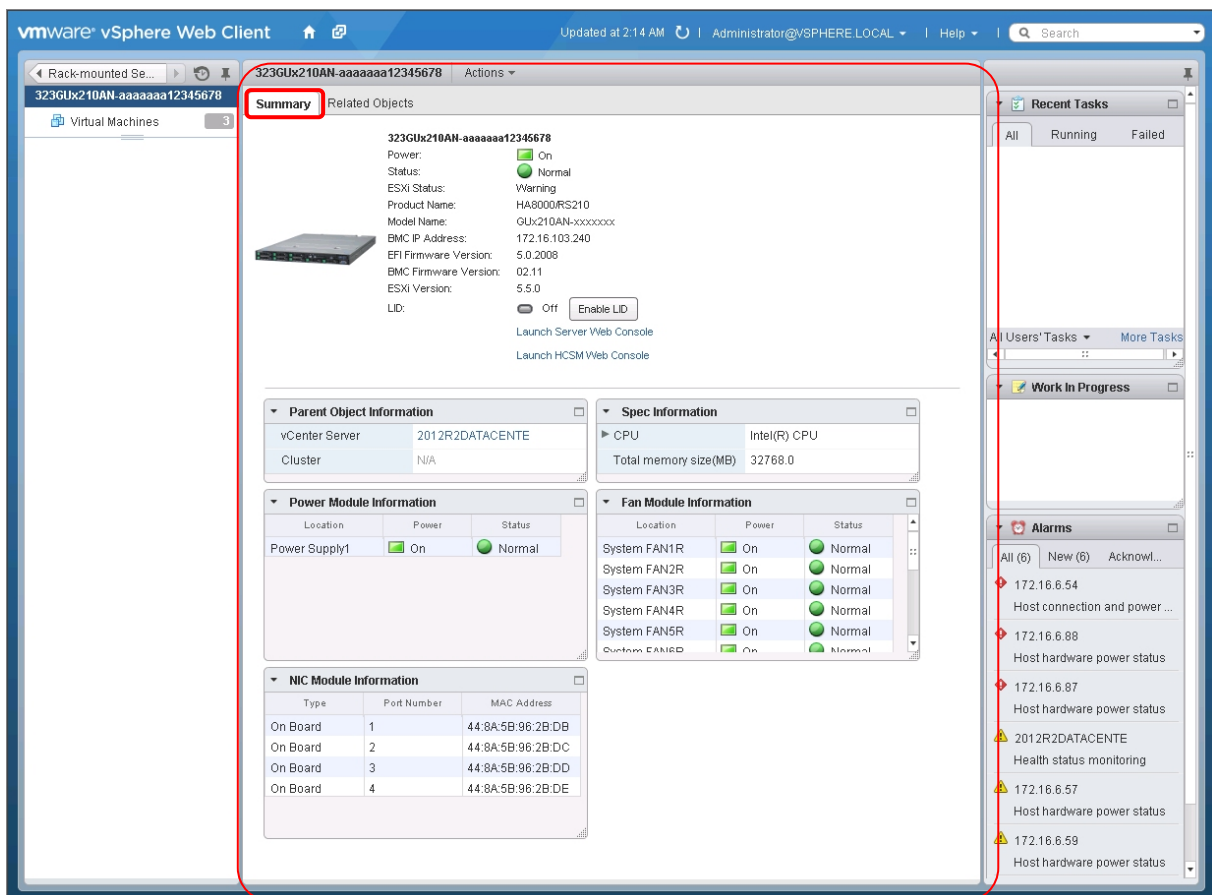


図 6.4.6-1 Rack-mounted Server 詳細画面(サマリ)

表 6. 4. 6-1 Summary のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Serial Number	Rack-mounted Server Information List と同様の内容を表示します (表 6. 4. 5-1 を参照)。
2.	Power	
3.	Server Status	
4.	ESXi Status	
5.	Product Name	
6.	Model Name	
7.	BMC IP Address	
8.	EFI Firmware Version	
9.	BMC Firmware Version	
10.	ESXi Version	
11.	LID	
12.	Launch Server Web Console	リンクをクリックすると、別ウィンドウでラックマウントサーバの Web コンソールのログイン画面を表示します。 ラックマウントサーバの Web コンソールについては、日立製サーバのマニュアルを参照してください。
13.	Launch HCSM Web Console	リンクをクリックすると、別ウィンドウで HCSM の Web コンソールのログイン画面を表示します。 HCSM の Web コンソールについては、HCSM のマニュアルを参照してください。

表 6. 4. 6-2 Parent Object Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	vCenter Server	Information List と同様の内容を表示します (表 6. 4. 5-1 を参照)。
2.	Cluster	

表 6. 4. 6-3 Spec Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	CPU	Name CPU 名称を表示します。
2.		Frequency (MHz) CPU 周波数 (MHz) を表示します。
3.		Number CPU 数を表示します。
4.		Cores Core 数を表示します。
5.	Total memory size (MB)	メモリ容量 (MB) を表示します。

表 6. 4. 6-4 Power Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Location	電源モジュールの位置を表示します。
2.	Power	電源モジュールの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 不明 No Information : 情報なし
3.	Status	電源モジュールのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明 No Information : 情報なし

表 6. 4. 6-5 Fan Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Location	ファンモジュールの位置を表示します。
2.	Power	ファンモジュールの電源状態を表示します。 On : オン Off : オフ Unknown : 不明 No Information : 情報なし
3.	Status	ファンモジュールのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明 No Information : 情報なし

表 6. 4. 6-6 NIC Module Information のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Type	MAC カード種別を表示します。
2.	Port Number	ポート番号を表示します。
3.	MAC Address	MAC アドレスを表示します。

6. 4. 6. 2 ラックマウントサーバに関する関連オブジェクト

ラックマウントサーバに関連する仮想マシン一覧を表示します。

Rack-mounted Server 詳細画面で「Related Objects」タブをクリックします。

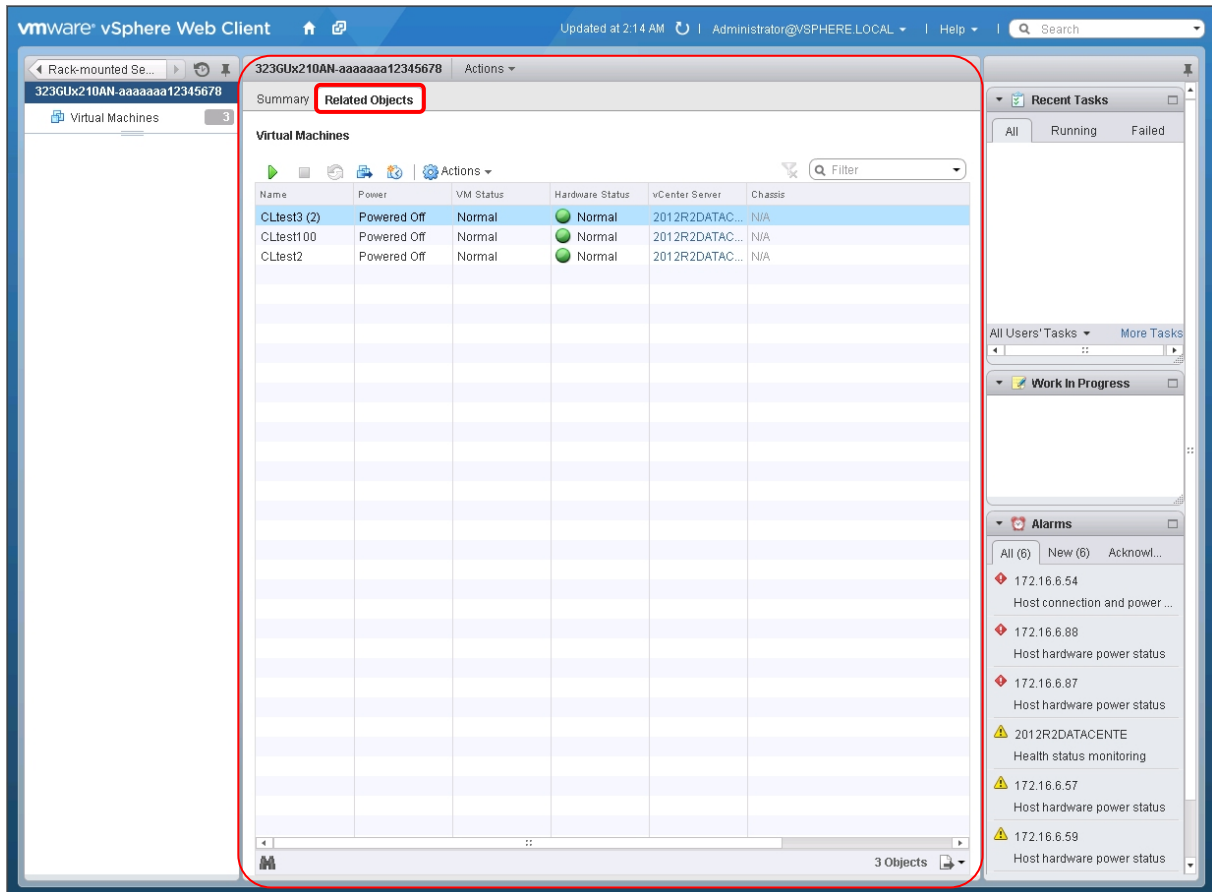


図 6. 4. 6-2 Rack-mounted Server 詳細画面 (仮想マシン)

仮想マシン一覧に表示されるプロパティについては、表 6. 4. 7-1 を参照してください。

6.4.7 VM List画面

VM List 画面では、Hitachi Compute Plug-in に登録した日立製サーバ上の仮想マシンの一覧を表示します。ホストとして vCenter Server に登録されているサーバ上の仮想マシンが表示対象になります。

VM List 画面を表示するには、Hitachi Compute Plug-in ナビゲーターで、「Virtual Machines」をクリックします。

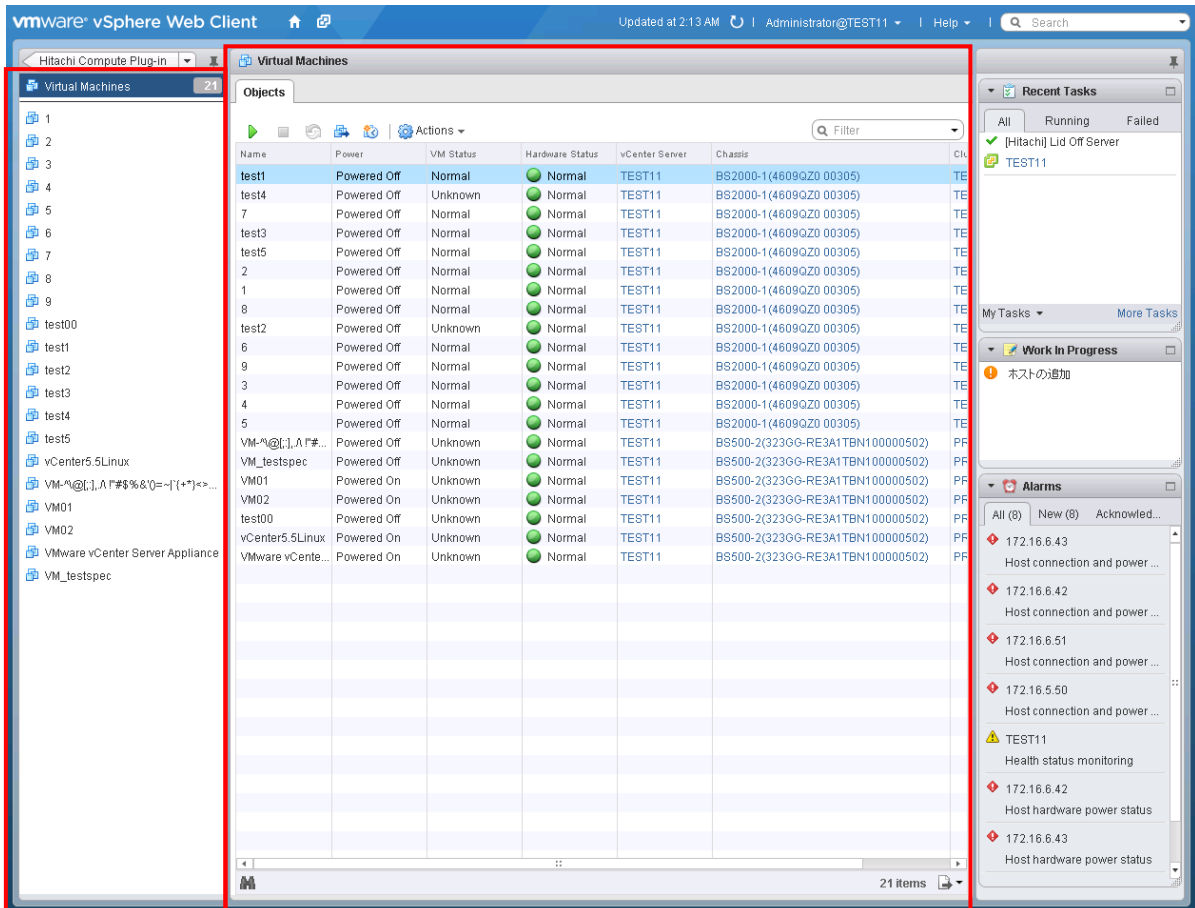


図 6.4.7-1 VM List 画面

6.4.7.1 VM List

日立製サーバ上の仮想マシン名が一覧表示されます。

仮想マシンをクリックすると、仮想マシンの Summary 画面(vSphere Web Client 標準機能)に遷移します。

6.4.7.2 VM Information List

日立製サーバ上の仮想マシンが表形式で一覧表示されます。

仮想マシンをダブルクリックすると、仮想マシンの Summary 画面(vSphere Web Client 標準機能)に遷移します。

表 6.4.7-1 VM Information List のプロパティ一覧

#	プロパティ名	説明
1.	Name	仮想マシン名を表示します。
2.	Power	仮想マシンの電源状態を表示します。 値は、仮想マシンの Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) と同様です。
3.	VM Status	仮想マシンのステータスを表示します。 値は、仮想マシンの Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) と同様です。
4.	Hardware Status	ハードウェアのステータスを表示します。 Normal : 正常な状態 Warning : 警告状態 Fail : 障害状態 Unknown : 不明
5.	vCenter Server	vCenter Server 名を表示します。 クリックすると、vCenter Server Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) に遷移します。
6.	Chassis	シャーシを「シャーシ ID(シャーシシリアル番号)」の形式で表示します。 クリックすると、Chassis 詳細画面に遷移します。
7.	Cluster	ESXi ホストが構成している vCenter 上のクラスタ名を表示します。 クリックすると、Cluster Summary 画面 (vSphere Web Client 標準機能) に遷移します。
8.	Server	サーバのシリアル番号を表示します。 クリックすると、Server Blade 詳細画面または Rack-mounted Server 詳細画面に遷移します。

7. トラブルシューティング

7.1 インストール時のトラブルシューティング

Hitachi Compute Plug-in のインストーラで問題が発生した場合は、エラー情報を画面上のメッセージに表示します。以下のフローにしたがって対処してください。

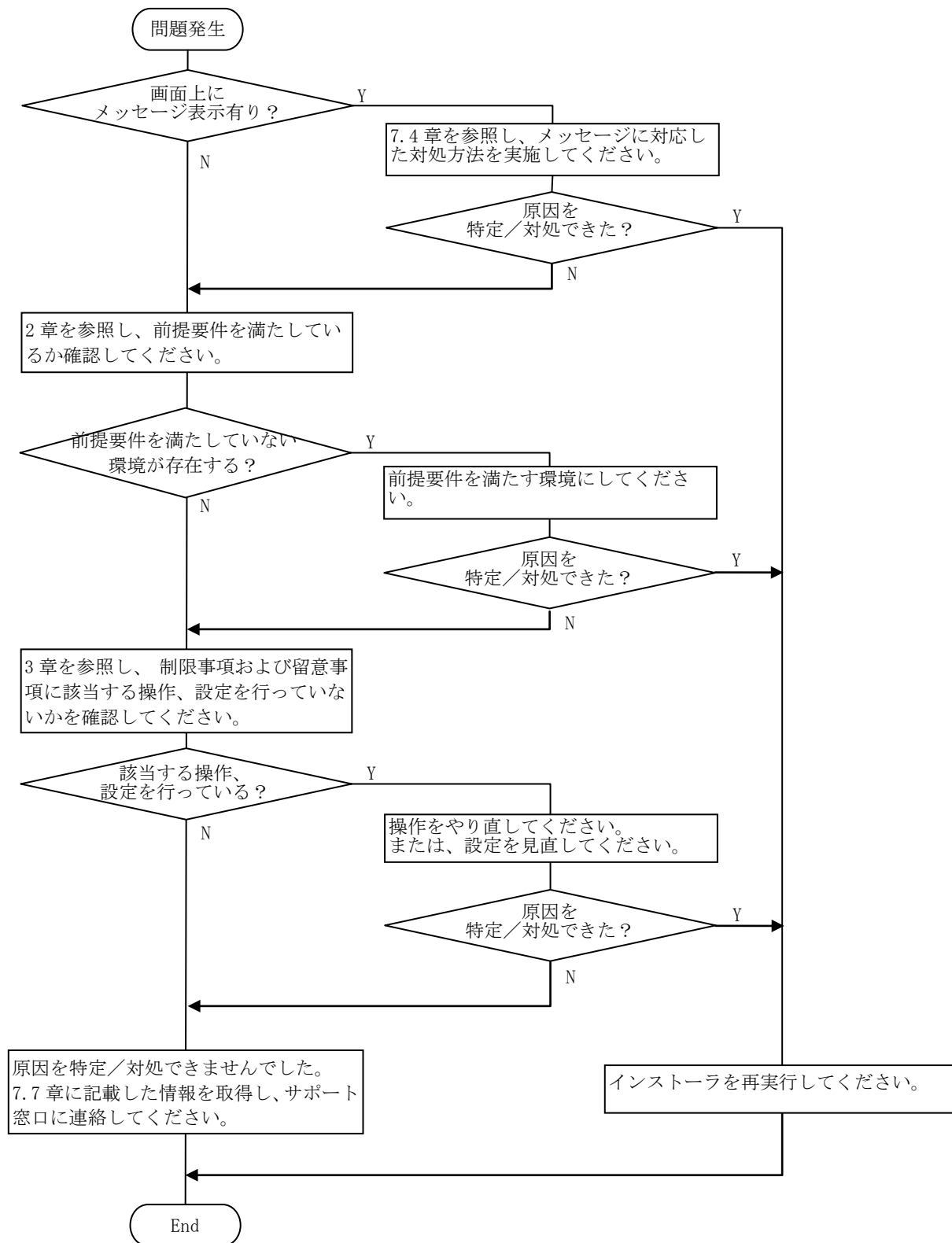


図 7.1-1 インストーラで問題が発生した場合の処理フロー

7.2 運用中のトラブルシューティング

Hitachi Compute Plug-in の運用中に問題が発生した場合は、エラー情報を画面上のメッセージおよびログファイルに出力します。以下のフローにしたがって対処してください。

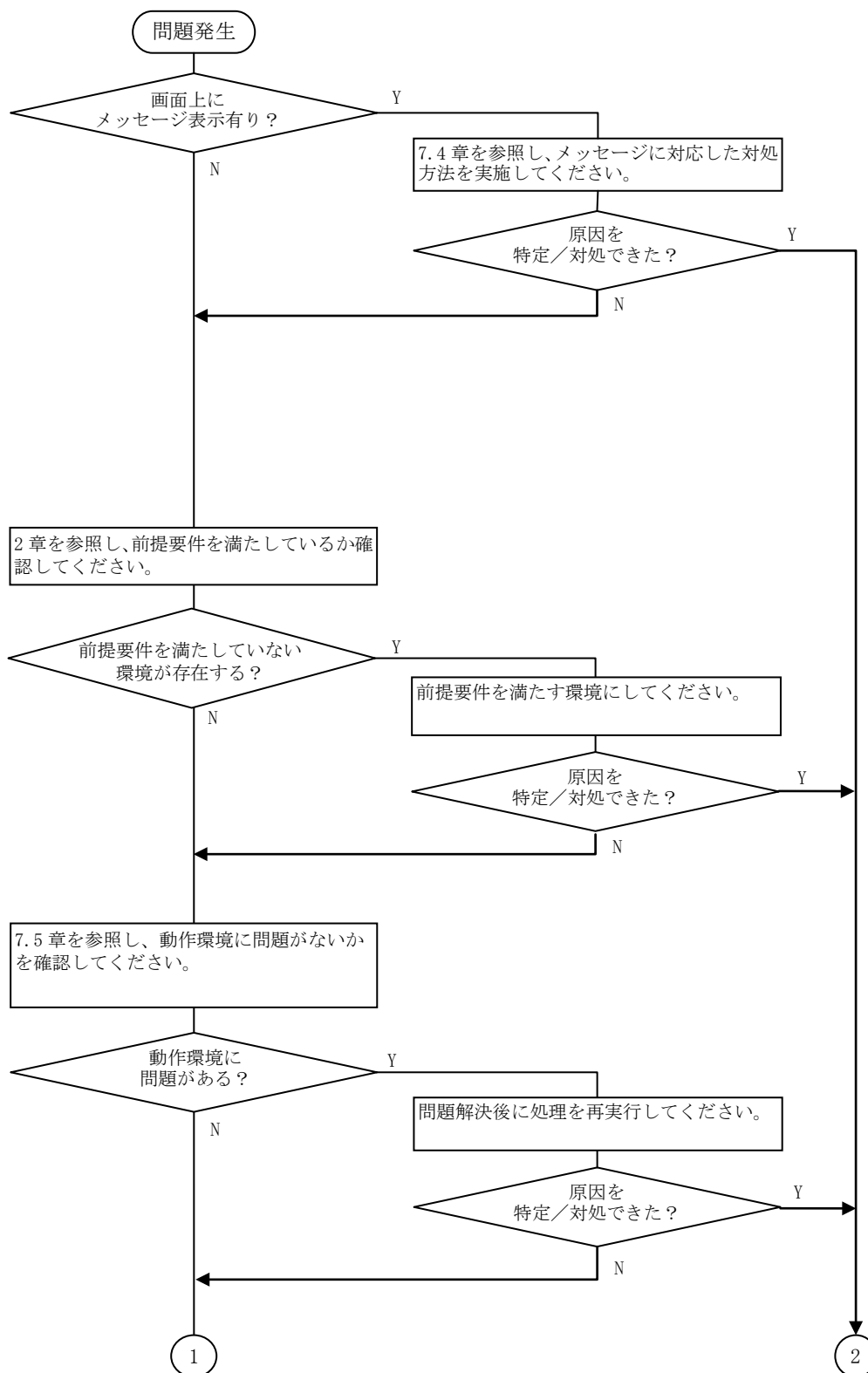


図 7.2-1 運用中に問題が発生した場合の処理フロー

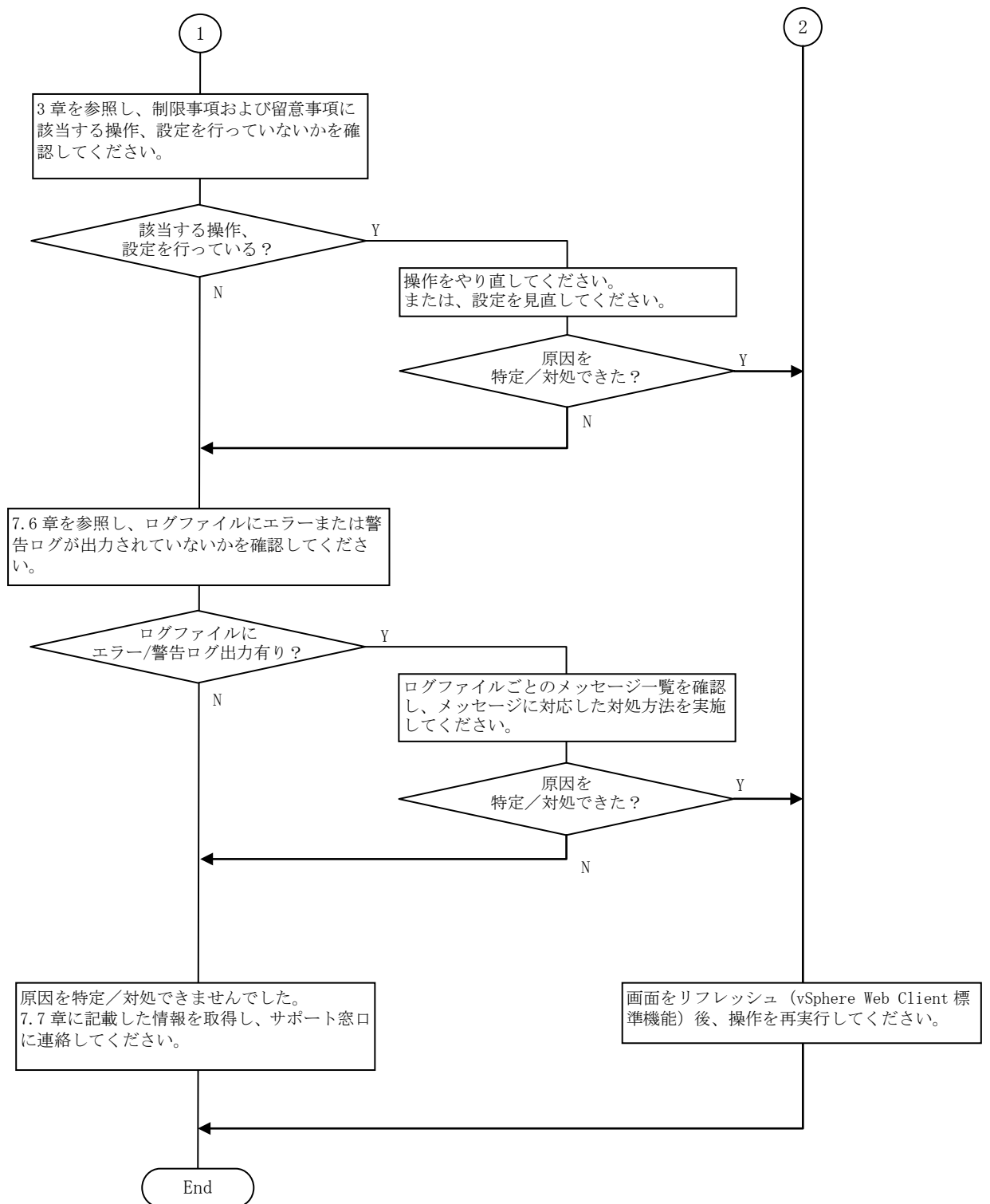


図 7.2-1 運用中に問題が発生した場合の処理フロー

7.3 メッセージID

7.3.1 メッセージの種類

エラーメッセージは、8桁のメッセージIDに付随して出力されます。メッセージIDの先頭1桁目はメッセージの種類を表します。表7.3.1-1に内容を示します。

表 7.3.1-1 メッセージIDの先頭1桁目

#	メッセージID 先頭1桁目	種別	説明
1.	E	Error	すでに発生した問題を示すメッセージです。
2.	W	Warning	問題を引き起こす可能性のあることを示すメッセージです。
3.	I	Info	操作を続行するかどうかをたずねるメッセージです。

7.3.2 メッセージの見方

メッセージの見方を以下に示します。

(1) ダイアログボックスに表示されるメッセージ

ダイアログメッセージに表示されるメッセージの出力例を図7.3.2-1に示します。表示されたメッセージIDを元にメッセージ一覧を確認してください。

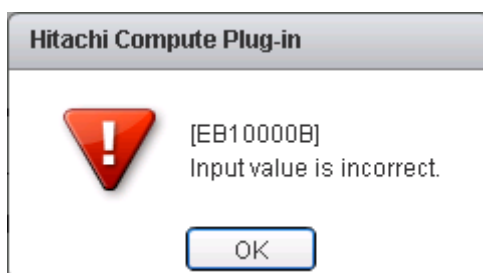


図 7.3.2-1 ダイアログボックスに表示されるメッセージの例

(2) 入力規則エラー時出力されるメッセージ

入力規則エラー時出力されるメッセージの出力例を図 7.3.2-2 に示します。表示されたメッセージ ID を元にメッセージ一覧を確認してください。

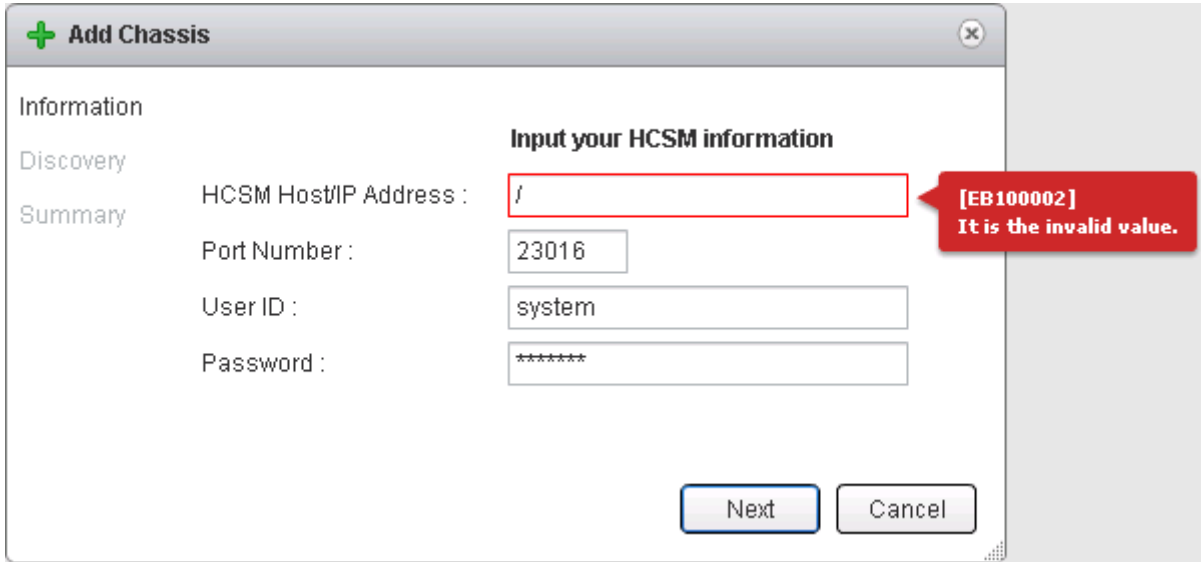


図 7.3.2-2 入力規則エラー時出力されるメッセージの例

(3) ログファイルに出力されるメッセージ

ログファイルのメッセージの出力例を図 7.3.2-3 に示します。出力されたメッセージ ID を元にメッセージ一覧を確認してください。

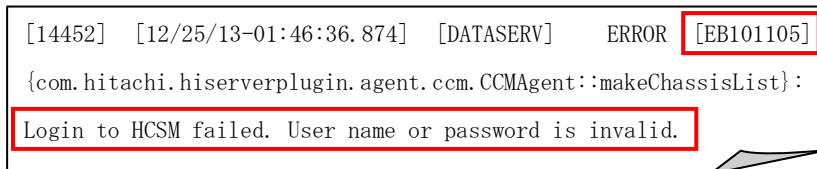


図 7.3.2-3 ログファイルに出力されるメッセージの例

(4) Task 画面に表示されるメッセージ

Task 画面の Recent Tasks または、Task Console に出力されるメッセージの出力例を図 7.3.2-4 及び図 7.3.2-5 に示します。表示されたメッセージ ID を元にメッセージ一覧を確認してください。メッセージ ID が「EB1」または「WB1」で始まらない場合は、HCSM のメッセージが出力されています。HCSM のマニュアルで該当メッセージを確認し、対処してください。

vSphere Web Client 6.0 では、デフォルトのレイアウトからタスク詳細を表示することができません。メッセージを確認するためには、「More Tasks」をクリックし、Task Console に遷移するか、レイアウトの変更が必要です。

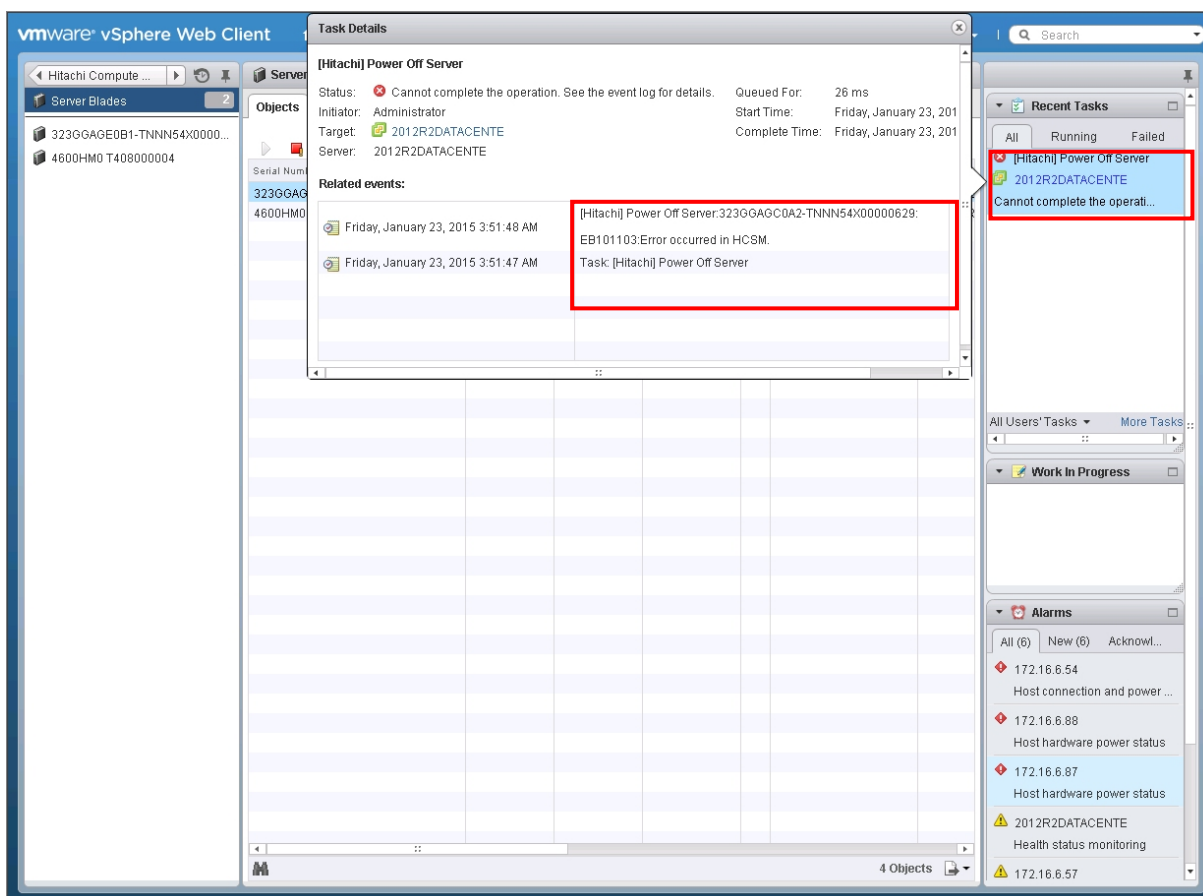


図 7.3.2-4 Task 画面の Recent Tasks に表示されるメッセージの例

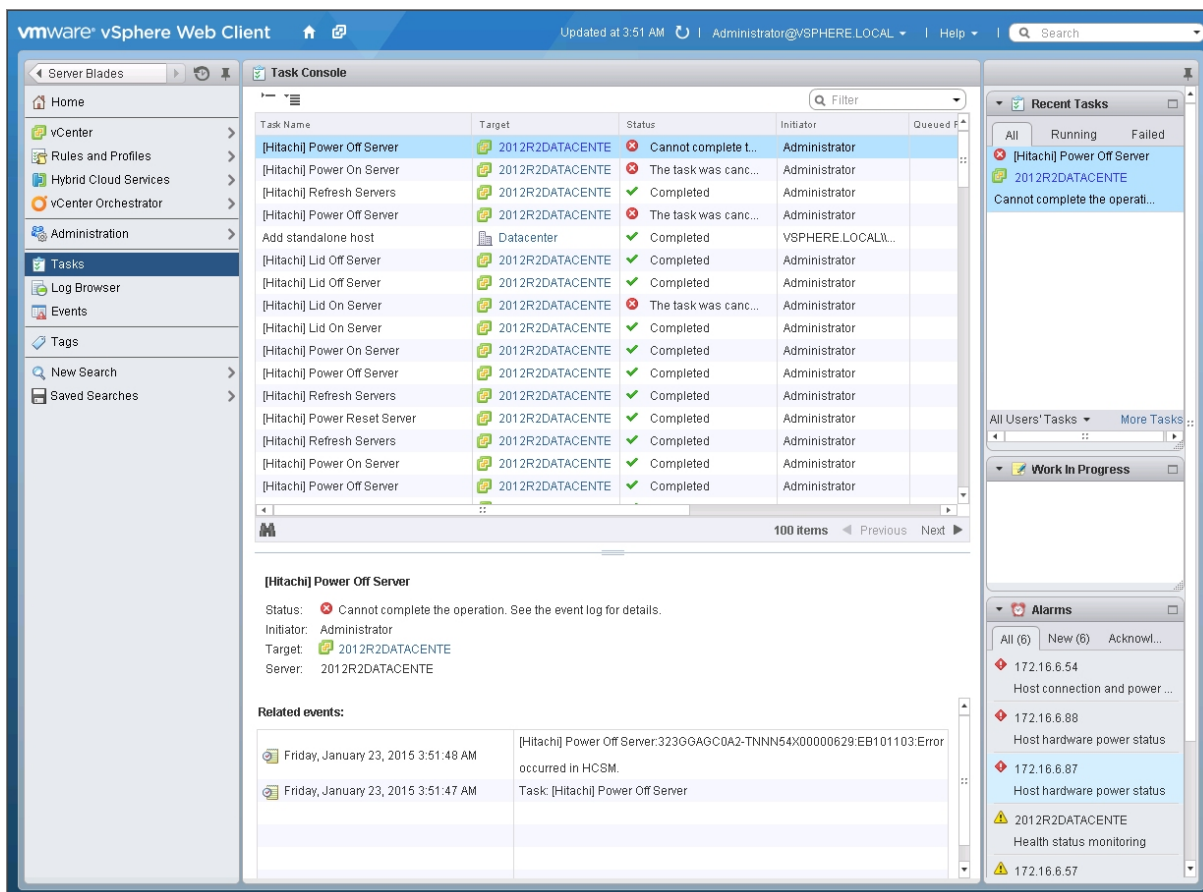


図 7.3.2-5 Task 画面に表示されるメッセージの例

7.4 メッセージ一覧

7.4.1 インストーラで表示されるエラーメッセージ

Hitachi Compute Plug-in のインストール時にエラーが発生した場合は、ダイアログボックスにエラーメッセージを表示します。

インストーラで表示されるエラーメッセージを表 7.4.1-1 に示します。

表 7.4.1-1 インストールで表示されるエラーメッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
1.	EB108001	This Windows account lacks sufficient privileges to install Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter. Please log in using an account that's a member of the Administrators group and try again.	管理者権限を持たないユーザでインストーラを使用した。	Administrator 権限を持つ Windows ログオンアカウントを使用してください。
2.	EB108003	VMware vSphere Web Client is either not installed, or the version that's installed isn't supported by this release of Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter. Please install a supported version and try again.	vSphere Web Client がインストールされていない。または、サポートバージョンでない vSphere Web Client がインストールされている。	サポート対象の vSphere Web Client をインストールしてください。 (2.3.2 章を参照)
3.	EB108004	The installation folder is not found. If you upgraded VMware vSphere Web Client, remove Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter from your computer, then re-install.	アップグレードインストール、修復インストールの際に、インストールフォルダが存在しない。	アンインストールした後で、新たに再インストールしてください。
4.	なし	1152 Error extracting to the temporary location	インストーラの起動に十分な容量がなかった。	インストールドライブには、前提要件を満たす空き容量を用意してください。 (2.2 章を参照)
5.	なし	Error writing to the temporary location	インストーラの起動に十分な容量がなかった。	インストールドライブには、前提要件を満たす空き容量を用意してください。 (2.2 章を参照)
6.	なし	There is not enough space on the disk.	インストールに十分な容量がなかった。	インストールドライブには、前提要件を満たす空き容量を用意してください。 (2.2 章を参照)

また、インストール処理中に異常が発生した場合には、InstallShield 標準のエラーメッセージが表示されます。表 7.4.1-2 に代表的なメッセージを示します。

表 7.4.1-2 インストール処理中に表示されるエラーメッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
1.	なし	Error 1321. The Installer has insufficient privileges to modify the file <ファイルパス>.	ファイルの書き込み権限がない。	①Windows ログオンアカウントにインストールフォルダへのフルコントロール権限を与えてください。 ②ファイルが別プロセスで使用されている場合は、別プロセスを終了してファイルが書き込めるようにしてください。
2.	なし	Error 1406. Could not write value <レジストリ項目名> to key <レジストリキー>. Verify that you have sufficient access to that key, or contact your support personnel.	レジストリの書き込み権限がない。	Windows ログオンアカウントに表示されているレジストリキーへのフルコントロール権限を与えてください。
3.	なし	Error 1310. Error writing to file: <ファイルパス>. Verify that you have access to that directory.	フォルダの書き込み権限がない。	Windows ログオンアカウントに Hitachi Compute Plug-in インストールフォルダへのフルコントロール権限を与えてください。
4.	なし	Out of disk space -- Volume: ' <インストールドライブ> '; required space: <インストールに必要な容量>; available space: <空き容量>. Free some disk space and retry.	インストール処理中にディスク容量不足となった。 (メッセージ表示される容量はエラー発生時のもの)	インストールドライブには、前提要件を満たす空き容量を用意してください。 (2.2 章を参照)
5.	なし	There is not enough space on the disk.	インストール処理開始時に十分な容量がなかった。	インストールドライブには、前提要件を満たす空き容量を用意してください。 (2.2 章を参照)
6.	なし	There is not enough disk space to install the file <ファイルパス>, Free some disk space and click Retry. or click Cancel to exit.	アップグレード処理開始時に十分な容量がなかった。	インストールドライブには、前提要件を満たす空き容量を用意してください。 (2.2 章を参照)

7.4.2 インストーラで表示される警告メッセージ

Hitachi Compute Plug-in で表示される警告メッセージを表 7.4.2-1 に示します。

表 7.4.2-1 インストール処理中に表示される警告メッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
1.	WB108002	Do you want to completely remove the selected application and all of its features?	アンインストール時の確認メッセージ。	Hitachi Compute Plug-in をアンインストールする場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。 (4.3 章を参照)
2.	なし	A later version of ' Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter ' is already installed on this machine. The setup cannot continue.	実行したインストーラよりも新しいバージョンの Hitachi Compute Plug-in がインストール済み。	Hitachi Compute Plug-in は、インストーラによるダウングレードインストールをサポートしません。 ダウングレードインストールを行う場合は、以下の手順を実施してください。 (1) Hitachi Compute Plug-in をアンインストールします。 (2) Hitachi Compute Plug-in のインストールフォルダに残ったファイルをすべて削除します。 (3) Hitachi Compute Plug-in をインストールします。 (4) Add 機能で、管理する日立製サーバを再登録します。

7.4.3 エラーメッセージ一覧

Hitachi Compute Plug-in で表示されるエラーメッセージを表 7.4.3-1 に示します。

表 7.4.3-1 Hitachi Compute Plug-in で表示されるエラーメッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
1.	EB100001	It is the mandatory field.	値が未入力。	値を入力してください。
2.	EB100002	It is the invalid value.	値が不正。	正しいHCSMサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力してください。
3.	EB100003	Input value is too small.	Port 番号の入力値が 0 未満。	規定の範囲の数値を入力してください。
4.	EB100004	Input value is too large.	Port 番号の入力値が 65536 以上。	規定の範囲の数値を入力してください。
5.	EB100006	Web Client server error occurred. Message=<message>	vSphere Web Client が無応答またはエラーを返却。	<ul style="list-style-type: none"> 表示対象または操作対象のオブジェクトが Hitachi Compute Plug-in の管理対象になっているか確認してください。 日立製サーバの構成が変更されていないか、または障害が発生していないか、日立製サーバの管理者に確認してください。 時間を置いて再度実行してください。 上記を実施しても解決しない場合、「Message=」以降のメッセージに従い対処してください。
6.	EB100007	Cannot connect to remote KVM.	リモート KVM 用 URL の取得失敗。	<ul style="list-style-type: none"> 日立製サーバの管理者に、リモート KVM が使用できる環境か確認してください。 情報取得エラーが発生している場合、Refresh Chassis または Refresh Servers を実行して情報を再度取得してください。
7.	EB100008	HCSM Web console cannot open.	HCSM Web コンソール用 URL の取得失敗。	日立製サーバ情報の取得に失敗している場合、Refresh Chassis または Refresh Servers を実行して情報を再度取得してください。
8.	EB100009	Hitachi server Web console cannot open.	日立製サーバ Web コンソール用 URL の取得失敗。	<ul style="list-style-type: none"> 日立製サーバ情報の取得に失敗している場合、Refresh Chassis または Refresh Servers を実行して情報を再度取得してください。 HCSM のバージョンが前提要件を満たしているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
9.	EB10000A	There is no Hitachi server information to be registered.	HCSM に、システムに登録可能な日立製サーバが一台もない。	<ul style="list-style-type: none"> HCSM に日立製サーバを登録してください。 ラックマウントサーバを登録する場合、HCSM アカウントとしてビルトインリソースグループ (All Resources) に属するユーザのアカウント、または System アカウントを指定しているか確認してください。
10.	EB10000B	Input value is incorrect. <Maintenance information>	入力内容チェックエラー。	赤い枠で囲まれた入力項目にマウスカーソルを合わせてエラーメッセージを参照し、対処してください。
11.	EB101101	Specified information is not found. Serial No=<Serial No>	対象のリソースが HCSM 上で存在しない。	対象のリソースが HCSM に登録されているか確認し、必要に応じて再度実行してください。

表 7.4.3-1 Hitachi Compute Plug-in で表示されるエラーメッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
12.	EB101104	Failed to connect to HCSM. Please verify the HCSM Hostname or IP, Protocol, and Port Number values, confirm that HCSM has been configured to accept connections using SSL if communication protocol is HTTPS, and try again.	HCSM に接続失敗。	<ul style="list-style-type: none"> 時間を置いて再度実行してください。 正しい HCSM サーバの IP アドレスまたはホスト名、プロトコル、ポート番号を指定し、再度実行してください。HCSM サーバのホスト名を指定した場合、正しい情報が登録された DNS サーバまたは hosts ファイルが利用可能な環境であるか確認してください。 https 接続の場合は、HCSM の SSL 通信設定が有効になっているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。 HCSM のサービスが正常に稼動しているか、また、HCSM との通信路に問題がないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
13.	EB101105	Login to HCSM failed. User name or password is invalid.	ユーザ ID またはパスワードが不正。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいユーザ ID とパスワードを入力し、再度実行してください。 対象の HCSM アカウントのユーザ ID またはパスワードが変更されていないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
14.	EB101106	HCSM license is invalid.	HCSM のライセンスが無効。	HCSM のライセンスが無効になっていないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
15.	EB101107	HCSM account authorization is insufficient.	HCSM アカウントの権限不足。	対象の HCSM アカウントに Admin 権限または Modify 権限を割り当てるよう、HCSM 環境の管理者に依頼してください。
16.	EB101108	HCSM is busy state.	HCSM サーバがビジー状態。	HCSM サーバがビジー状態です。時間を置いて再度実行してください。繰り返し同じエラーが発生する場合、HCSM のサービスが正常に稼動しているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
17.	EB10110F	vCenter is not registered.	vCenter Server が未登録。	vCenter Server を登録してください。
18.	EB101110	Failed in task making of vCenter.	vCenter のタスク作成に失敗。	<ul style="list-style-type: none"> 実行ユーザがタスク作成の権限を持っているか確認してください。 登録された vCenter Server の接続状態を確認してください。
19.	EB101112	The vCenter task processing failed. <message>	vCenter のタスクでエラーが発生。	末尾に付加されたメッセージに従って対処してください。メッセージの ID が「EB1」または「WB1」で始まらない場合は、HCSM のメッセージが出力されています。HCSM のマニュアルで該当メッセージを確認し、対処してください。
20.	EB101200	Hitachi server is not registered yet. Serial No=<Serial No>	対象の日立製サーバが存在しない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示対象または操作対象のオブジェクトが Hitachi Compute Plug-in の管理対象になっているか確認してください。 日立製サーバの構成が変更されていないか、または障害が発生していないか、日立製サーバの管理者に確認してください。
21.	EB101201	Hitachi server of the target serial No does not exist. Serial No=<Serial No>	対象の日立製サーバが HCSM 上で存在しない。	対象の日立製サーバが HCSM に登録されているか確認し、必要に応じて再度実行してください。
22.	EB101202	Hitachi server has already been registered. Serial No=<Serial No>	対象の日立製サーバが登録済み。	画面を更新して状態を確認後、必要に応じて再度実行してください。

表 7.4.3-1 Hitachi Compute Plug-in で表示されるエラーメッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
23.	EB101203	Server of the target serial No does not exist. Server serial No=<Server serial No>	対象のサーバが存在しない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示対象または操作対象のオブジェクトが Hitachi Compute Plug-in の管理対象になっているか確認してください。 日立製サーバの構成が変更されていないか、または障害が発生していないか、日立製サーバの管理者に確認してください。
24.	EB101204	Not able to acquire session information. Maintenance information=<Maintenance information>	vSphere Web Client からセッション情報の取得に失敗。	セッションが切断されています。ログインし直して再度実行してください。
25.	EB101205	Not able to acquire Hitachi server information. Ask the HCSM administrator whether the HCSM version fulfills the prerequisites.	日立製サーバ情報の取得に失敗。	HCSM のバージョンが前提要件を満たしているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
26.	EB102008	Communication with vCenter failed. vCenterURL name:<vCenterURL name>	vCenter Server との通信に失敗。	vCenter Server が正常に稼動しているか、また、vCenter Server との通信路に問題がないか、vSphere 管理者に確認してください。
27.	EB10201C	Request to vCenter failed. vCenterURL name:<vCenterURL name>	vCenter Server へのリクエストが失敗。	<ul style="list-style-type: none"> 実行ユーザがタスク操作の権限を持っているか確認してください。 セッションが切断されています。ログインし直して再度実行してください。
28.	EB103003	SOAP connection for the specified HCSM server failed. (message=<message> cause=<cause>)	HCSM への接続でエラーが発生。	<ul style="list-style-type: none"> 時間を置いて再度実行してください。 正しい HCSM サーバの IP アドレスまたはホスト名、プロトコル、ポート番号を指定し、再度実行してください。HCSM サーバのホスト名を指定した場合、正しい情報が登録された DNS サーバまたは hosts ファイルが利用可能な環境であるか確認してください。 https 接続の場合は、HCSM の SSL 通信設定が有効になっているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。 HCSM のサービスが正常に稼動しているか、また、HCSM との通信路に問題がないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
29.	EB103004	HCSM API terminated in error. (resultCode=<resultCode> message=<message>)	HCSM の API がエラーリターン。	<p>resultCode に従って対処を行ってください。</p> <p>1000 : HCSM のユーザ ID とパスワードが正しいか確認してください。解決しない場合、HCSM のユーザ ID またはパスワードが変更されていないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。</p> <p>2012 : 対象のシャーンまたはサーバが HCSM に登録されているか確認し、必要に応じて再度実行してください。</p> <p>2020 : HCSM サーバがビジー状態です。時間を置いて再度実行してください。繰り返し同じエラーが発生する場合、HCSM のサービスが正常に稼動しているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。</p>
30.	EB103006	HTTP connection to HCSM failed. (responseCode=<responseCode> message=<message>)	通信障害。	HCSM のサービスが正常に稼動しているか、また、HCSM との通信路に問題がないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。
31.	EB103007	I/O error occurred during HTTP request. (message=<message>)	通信障害。	HCSM のサービスが正常に稼動しているか、また、HCSM との通信路に問題がないか、HCSM 環境の管理者に確認してください。

表 7.4.3-1 Hitachi Compute Plug-in で表示されるエラーメッセージ一覧

#	メッセージ コード	メッセージ	説明	解決方法
32.	EB10300D	Processing suspended as the number of retries reached the upper limit.	HCSM サーバがビジー状態。	HCSM サーバがビジー状態です。時間を置いて再度実行してください。 繰り返し同じエラーが発生する場合、HCSM のサービスが正常に稼働しているか、HCSM 環境の管理者に確認してください。

7.4.4 警告メッセージ一覧

Hitachi Compute Plug-in で表示される警告メッセージを表 7.4.4-1 に示します。

表 7.4.4-1 Hitachi Compute Plug-in で表示される警告メッセージ一覧

#	メッセージコード	メッセージ	説明	解決方法
1.	WB101086	Specified server is not found.	対象のサーバが存在しない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示対象または操作対象のオブジェクトが Hitachi Compute Plug-in の管理対象になっているか確認してください。 日立製サーバの構成が変更されていないか、または障害が発生していないか、日立製サーバの管理者に確認してください。
2.	WB101087	Specified VM is not found.	対象の VM が存在しない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示対象または操作対象のオブジェクトが Hitachi Compute Plug-in の管理対象になっているか確認してください。 vSphere 環境の構成が変更されていないか、または障害が発生していないか、vSphere 環境の管理者に確認してください。
3.	WB102007	Specified ESXi or VirtualMachine is not found. Type=<Type>, Value=<Value>	対象の ESXi または VirtualMachine が存在しない。	対象の ESXi または VirtualMachine が vCenter Server に登録されているか確認し、必要に応じて Refresh Chassis または Refresh Servers を実行してください。
4.	WB10300B	Property file (<File Path>) open failed.	環境不正(プロパティファイルオープン失敗)。	プロパティファイルが存在するか確認してください。存在しない場合、修復インストールを行ってください。

7.4.5 イベントログ出力警告メッセージ

イベントログに出力するメッセージを表 7.4.5-1 に示します。

表 7.4.5-1 イベントログに出力するメッセージ一覧

#	イベント ID	種別	メッセージ	説明	解決方法
1.	5032	警告	Writing to Adapter log stopped. Hitachi Logger Version : [バージョン]	ログファイルおよびテンポラリログファイルに書き込みができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ① ログファイルおよびテンポラリログファイルがロック状態、あるいは読み取り専用になっていないか確認してください。 ② ディスク容量を確認してください。ディスク容量が不足している場合は、不要なファイルを削除するなどして容量を空けてください。 ③ ディスクに障害が起きていないか確認してください。
2.	5033	警告	Some backup log files are not writable. Writing to overflow log [ファイルパス] Please check Adapter log folder and clean up unused overflow log files. Hitachi Logger Version : [バージョン]	ログファイルをバックアップできなかったため、オーバーフローログファイルを作成しました。	<ul style="list-style-type: none"> ① バックアップログファイルがロック状態あるいは読み取り専用になっていないか確認してください。 ② ディスク容量を確認してください。ディスク容量が不足している場合は、不要なファイルを削除するなどして容量を空けてください。

7.5 動作環境の確認ポイント

7.5.1 日立製サーバ環境の確認ポイント

Hitachi Compute Plug-in の動作中に問題が発生した場合、日立製サーバ環境に問題がある可能性があります。以下の確認ポイントを確認し、問題があれば解決してください。日立製サーバの環境を再確認しても Hitachi Compute Plug-in の障害を解決できない場合は、トラブルシューティングのフローに準じてください。

表 7.5.1-1 日立製サーバ環境の確認ポイント

#	項目	確認内容
1.	日立製サーバの環境確認	日立製サーバが正常に起動しているかを確認してください。 また、日立製サーバの設定が変更されて前提要件(2.5章を参照)を満たさない状態になっていないか、および制限事項、留意事項(3章を参照)に該当していないかを確認してください。
2.	ネットワーク環境確認	①日立製サーバに LAN ケーブルが接続され、リンクアップしていることを確認してください。 ②日立製サーバの Web コンソールから日立製サーバの情報取得および設定が可能なことを確認してください。
3.	IP アドレスの確認	HCSM より日立製サーバの IP アドレスが正しいことを確認して、Hitachi Compute Plug-in の画面に表示されている IP アドレスと一致していることを確認してください。
4.	HTTPS ポートの確認	日立製サーバが HTTPS のポートを使用する設定になっているか、また、ポート番号が変更されていないかを確認してください。
5.	Firewall の設定の確認	Firewall で日立製サーバとの通信がブロックされていないかを確認してください。通信がブロックされていた場合は、日立製サーバとの通信ができるように Firewall を設定してください。

7.5.2 HCSMサーバ環境の確認ポイント

Hitachi Compute Plug-in の動作中に問題が発生した場合、HCSM サーバ環境に問題がある可能性があります。以下の確認ポイントを確認し、問題があれば解決してください。HCSM サーバの環境を再確認しても Hitachi Compute Plug-in の障害を解決できない場合は、トラブルシューティングのフローに準じてください。

表 7.5.2-1 HCSM サーバ環境の確認ポイント

#	項目	確認内容
1.	HCSM サーバの環境確認	HCSM サーバが正常に起動しているかを確認してください。 また、HCSM のサービスが正常に稼動しているかを確認してください。
2.	ネットワーク環境確認	HCSM サーバの NIC に LAN ケーブルが接続され、リンクアップしていることを確認してください。
3.	IP アドレスの確認	HCSM サーバの IP アドレスが変更されていないことを確認してください。
4.	ポート番号の確認	HCSM サーバで使用する TCP ポート番号が変更されていないかを確認してください。また、通信プロトコル (http/https) が変更されていないかを確認してください。 変更されていた場合には、変更後の HCSM サーバのプロトコルとポート番号を指定して日立製サーバを再登録してください。(6.2 章を参照)
5.	Firewall の設定の確認	Firewall で HCSM サーバとの通信がブロックされていないかを確認してください。通信がブロックされていた場合は、HCSM サーバとの通信ができるように Firewall を設定してください。
6.	HCSM 管理リソース	①HCSM の管理リソースに使用したい日立製サーバが登録されていない場合は、登録を行ってください。 ②HCSM から日立製サーバの情報取得および設定が可能なことを確認してください。
7.	HCSM ユーザアカウントの確認	①使用しているユーザのアカウントが既に存在しない場合は、使用可能なアカウントを HCSM 環境の管理者に確認し、再実行してください。 ②使用しているユーザのアカウントが無効になっている場合は、使用しているアカウントの有効化を HCSM 環境の管理者に依頼し、再実行してください。 ③使用しているユーザのパスワードが変更されている場合は、正しいパスワードを入力し、再実行してください。 ④使用しているユーザのアカウントに Admin 権限または Modify 権限が割り当てられていない場合は、新たに権限を割り当てるか、Admin 権限または Modify 権限が割り当てられている別のユーザアカウントを使用して、再実行してください。

7.5.3 vSphere環境の確認ポイント

Hitachi Compute Plug-in の動作中に問題が発生した場合、vSphere 環境に問題がある可能性があります。以下の確認ポイントを確認し、問題があれば解決してください。vSphere 環境を再確認しても Hitachi Compute Plug-in の障害を解決できない場合は、トラブルシューティングのフローに準じてください。

表 7.5.3-1 vSphere 環境の確認ポイント

#	項目	確認内容
1.	イベントの確認	vSphere Web Client の「イベント」で、エラーが発生していないか確認してください。 エラーが発生していた場合は、エラーの内容にしたがって対処するか、vSphere 環境の管理者に対処を依頼してください。
2.	ESXi の確認	vSphere Web Client から、使用している ESXi が起動し、vCenter Server と接続できているかを確認してください。
3.	各マシンの動作状況	vSphere Web Client、vCenter Server、ESXi それぞれのマシンで、以下の内容について vSphere 環境の管理者に確認し、問題があれば復旧を依頼してください。 ①マシンが稼働しているか ②メモリ不足や CPU 高負荷、アクセス集中などの問題が発生していないか ③マシン間の TCP/IP 通信が可能か また、以下の状況に該当する場合は、vSphere Web Client を再起動してください。 ・vSphere Web Client を長時間連続起動していた場合 ・Hitachi Compute Plug-in の運用中、vSphere Web Client と vCenter Server との間でネットワーク障害が発生した場合
4.	設定ファイル (constitution.dat) の確認	Hitachi Compute Plug-in のインストール先フォルダ配下にある設定ファイル (constitution.dat) が破損していないか確認してください。 予期せぬ電源断やファイルシステム異常により設定ファイル (constitution.dat) が破損した場合、以下のいずれかの現象が発生します。 - 登録していた日立製サーバが vSphere Web Client 再起動後に表示されなくなる - 日立製サーバの登録に失敗する この場合、設定ファイル (constitution.dat) を一度削除した後、修復インストールを実施してください。その後、Add 機能で必要な日立製サーバを再登録してください (6.2 章を参照)。

7.6 ログファイル

7.6.1 ログファイル一覧

Hitachi Compute Plug-in は、ログファイルにエラーメッセージを出力します。問題が発生した場合、ログファイルの内容を確認してください。

Hitachi Compute Plug-in のログファイルの一覧を表 7.6.1-1 に示します。

表 7.6.1-1 ログファイル一覧

#	ファイル	説明
1	ログファイル HiAppServerModule.log	Hitachi Compute Plug-in のログが出力されます。
2	バックアップログファイル HiAppServerModule.log.<num> num=1~255	ログファイルのサイズが保守用設定ファイルで指定したログファイルサイズに達する場合、ログファイルはリネームしてバックアップされます。 リネーム後のファイル名は、ログファイル名の後ろに ".<num>" (num=1~255) を付加した名前となります。 リネーム時、すでにバックアップしたファイルがある場合、番号をカウントアップしてリネームされます。番号が大きいほど古いバックアップファイルです。 例) 以下のログファイル、バックアップログファイルがある場合、 - HiAppServerModule.log - HiAppServerModule.log.1 - HiAppServerModule.log.2 次のようにリネームされます。 - HiAppServerModule.log (新規に作成) - HiAppServerModule.log → HiAppServerModule.log.1 ヘリネーム - HiAppServerModule.log.1 → HiAppServerModule.log.2 ヘリネーム - HiAppServerModule.log.2 → HiAppServerModule.log.3 ヘリネーム
3	テンポラリログファイル HiAppServerModule.log.tmp	ログを出力するときにログファイルへ書き込みができなかった場合、テンポラリファイルに書き込まれます。

表 7.6.1-1 ログファイル一覧

#	ファイル	説明
4	バックアップテンポラリログファイル HiAppServerModule.log.tmp.<num> num=1~255	<p>テンポラリログファイルのサイズが保守用設定ファイルで指定したログファイルサイズに達する場合、ログファイルはリネームしてバックアップされます。</p> <p>リネーム後のファイル名は、テンポラリログファイル名の後ろに".<num>"(num=1~255)を付加した名前となります。</p> <p>リネーム時、すでにバックアップしたバックアップテンポラリファイルがある場合、番号をカウントアップしてリネームされます。番号が大きいほど古いバックアップファイルです。</p> <p>例) 以下のテンポラリログファイル、バックアップテンポラリログファイルがある場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> - HiAppServerModule.log.tmp - HiAppServerModule.log.tmp.1 - HiAppServerModule.log.tmp.2 <p>次のようにリネームされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - HiAppServerModule.log.tmp (新規に作成) - HiAppServerModule.log.tmp → HiAppServerModule.log.tmp.1 ヘリネーム - HiAppServerModule.log.tmp.1 → HiAppServerModule.log.tmp.2 ヘリネーム - HiAppServerModule.log.tmp.2 → HiAppServerModule.log.tmp.3 ヘリネーム
5	オーバーフローログファイル* HiAppServerModule.log.<num>._YYYYMMDD_hhmmss.bak num=1~255 YYYYMMDD_hhmmss:タイムスタンプ	<p>バックアップログファイルへのリネームができなかった場合、ログはオーバーフローログファイルに書き込まれます。</p>
6	オーバーフローテンポラリログファイル* HiAppServerModule.log.tmp.<num>._YYYYMMDD_hhmmss.bak num=1~255 (バックアップテンポラリログファイルの num と同じになります) YYYYMMDD_hhmmss:タイムスタンプ	<p>バックアップテンポラリログファイルへのリネームができなかった場合、ログはオーバーフローテンポラリログファイルに書き込まれます。</p>

* オーバーフローログファイル、オーバーフローテンポラリログファイルは、自動的に削除されません。オーバーフローログファイルが、最終世代のバックアップログより古くなった場合、オーバーフローログファイル、オーバーフローテンポラリログファイルを削除しても問題ありません。

7.6.2 ログファイルの出力レイアウト

ログファイルの出力レイアウトを図 7.6.2-1 と表 7.6.2-1 に示します。

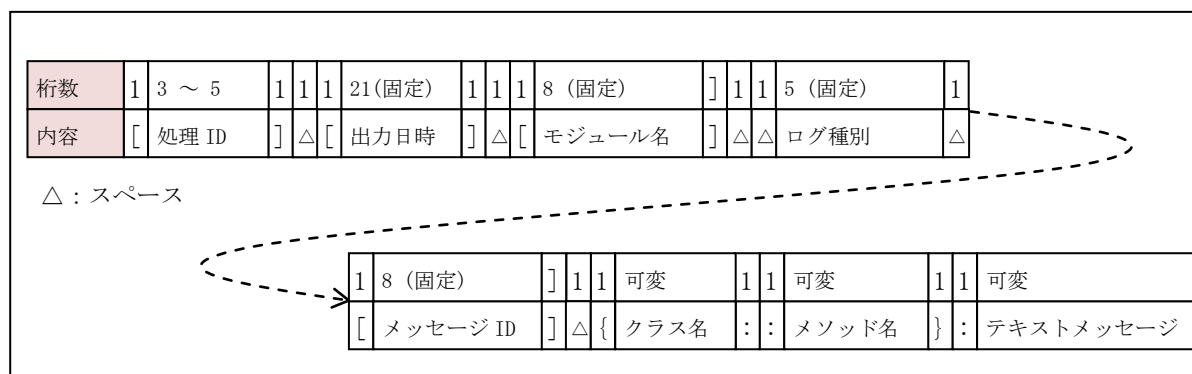


図 7.6.2-1 ログファイルの出力レイアウト

表 7.6.2-1 ログファイルのフォーマット

#	出力項目	表示形式種類	サイズ	説明
1.	処理 ID	10 進数	可変 (3~5 桁)	[]で囲まれます。
2.	出力日時	日時	21 桁固定	以下の書式で出力されます。 MM/dd/yy-HH:mm:ss.xxx - MM = 月 - dd = 日 - yy = 年(西暦)の下2桁 - HH = 時(24 時制) - mm = 分 - ss = 秒 - xxx = ミリ秒
3.	モジュール名	文字列	8 桁固定	[]で囲まれます。 モジュール名が左詰めで配置され、モジュール名が 8 文字未満の場合は 8 文字になるように空白が充填されます。 次の出力項目とは 2 つの空白で区切られます。
4.	ログ種別	文字列	5 桁固定	ログごとに定められた種別です。
5.	メッセージ ID	文字列	8 桁固定	メッセージごとの ID です。 メッセージ ID がない場合は[-----]を出力します。
6.	クラス名とメソッド名	文字列	可変	ログを出力したクラス名とメソッド名です。 "{クラス名::メソッド名}"の形式で出力されます。
7.	テキストメッセージ	文字列	可変	個別のメッセージです。

7.6.3 ログファイルの世代管理

保守用設定ファイルでログ世代数、ログファイルサイズを指定することにより、世代を管理することができます。保守用設定ファイルについては、4.2.1章を参照してください。ログを出力するとき、当該ログを出力することで、出力先のファイルサイズが保守用設定ファイルで指定したログファイルサイズを超える場合、ファイルのバックアップを行います。世代管理の概要を表7.6.3-1に示します。

表 7.6.3-1 ログファイルの世代管理の概要

#	区分	世代	新旧	動作
1.	ログファイル	最新	新	ログファイルの最新
2.	バックアップ ログファイル	第1世代		第1世代の バックアップログファイル
3.		第2世代		第2世代の バックアップログファイル
4.		第3世代		第3世代の バックアップログファイル
			旧	

7.6.4 HiAppServerModule.log

ファイルには、Hitachi Compute Plug-in のログを出力します。

ログファイルのエラーメッセージの出力例を図 7.6.4-1 に示します。ログ種別（図 7.6.4-1 中の①）が ERROR または WARN のログを検索し、テキストメッセージ（図 7.6.4-1 中の②）の内容をエラーメッセージ一覧で確認してください。

```
...
[14452] [12/25/13-01:46:36.874] [DATASERV] ERROR [EB101105]
{com.hitachi.hiserverplugin.agent.ccm.CCMAgent::makeChassisList}:Login to HCSM failed. User
name or password is invalid.
```

図 7.6.4-1 HiAppServerModule.log ファイルの出力例

7.7 トラブル発生時の収集情報

トラブルシューティングの解決方法で問題が解決できない場合は、当該ソフトウェアのサポート窓口に以下の情報を提供してください。各種情報の収集内容を表 7.7-1、表 7.7-2、表 7.7-3、表 7.7-4、表 7.7-5 および表 7.7-6 に示します。

表 7.7-1 収集内容 VMware 管理クライアント

#	収集対象	収集内容	収集方法
1.	Windows	Windows システム情報	以下の手順で収集してください。 ① 「システム情報」を開きます。 ② 「ファイル」メニューの「エクスポート」をクリックします。 ③ 「保存する場所」で、ファイルの保存場所をクリックします。 ④ 「ファイル名」ボックスにファイル名を入力します。 ⑤ 「保存」ボタンをクリックします。
2.	Hitachi Compute Plug-in	スクリーンショット	現象発生時の画面を Print Screenなどで画像ファイルに保存してください。

表 7.7-2 収集内容 vSphere Web Client サーバ (VMware vSphere Web Client)

#	収集対象	収集内容	収集方法
1.	Windows	Windows イベントログ (1)アプリケーションのイベントログ (2)システムのイベントログ	以下の手順で収集してください。 ① 「イベント ビューア」を開きます。 ② コンソールツリーで、保存するログを右クリックし、「イベントに名前を付けて保存」をクリックします。 ③ 「ファイル名」ボックスに、アーカイブログファイルの名前を入力します。 ④ 「ファイルの種類」ボックスで、ファイル形式をクリックし、「保存」ボタンをクリックします。
2.		Windows システム情報	以下の手順で収集してください。 ① 「システム情報」を開きます。 ② 「ファイル」メニューの「エクスポート」をクリックします。 ③ 「保存する場所」で、ファイルの保存場所をクリックします。 ④ 「ファイル名」ボックスにファイル名を入力します。 ⑤ 「保存」ボタンをクリックします。
3.	vSphere Web Client	vSphere Web Client のバージョン	以下の手順で確認してください。 ① vSphere Web Client 画面で、「ヘルプ」-「About VMware vSphere」を選択します。 ② ダイアログボックスに表示される vCenter Web Client のバージョンを確認します。
4.		vSphere Web Client、vCenter server のログ	以下のフォルダ配下一式をエクスプローラなどで収集してください。 ログファイルのサイズが大きいため、log フォルダを圧縮して提供してください。 vSphere Web Client 5.1/5.5 の場合 <vSphere Web Client のインストールフォルダ>%server%serviceability%logs vSphere Web Client 6.0 以降の場合 C:%ProgramData%VMware%vCenterServer%logs%vsphere-client%logs

表 7.7-2 収集内容 vSphere Web Client サーバ (VMware vSphere Web Client)

#	収集対象	収集内容	収集方法
5.	Hitachi Compute Plug-in	ログファイル Hitachi Compute Plug-in のインストール先フォルダ*1 配下の log フォルダに含まれる、すべてのファイル。	左記に記載したファイルを log フォルダごとエクスプローラなどで収集してください。 ログファイルのサイズが大きいため、log フォルダを圧縮して提供してください。
6.		中間ファイル Hitachi Compute Plug-in のインストール先フォルダ*1 配下にある、以下のファイル。 - constitution.dat	左記に記載したファイルをエクスプローラなどで収集してください。
7.		Hitachi Compute Plug-in のバージョン Hitachi Compute Plug-in のインストール先フォルダ*1 配下にある、以下のファイル。 - version.txt	左記に記載したファイルをエクスプローラなどで収集してください。

*1

- vSphere Web Client 5.1/5.5

<vSphere Web Client のインストールフォルダ>%plugin-packages%HitachiComputePlugin

- vSphere Web Client 6.0

<vCenter Server のインストールフォルダ>%vCenter Server%WebClient%plugin-packages%HitachiComputePlugin

表 7.7-3 収集内容 VMware 管理サーバ(vCenter Server)

#	収集対象	収集内容	収集方法
1	Windows	Windows イベントログ (1)アプリケーションのイベントログ (2)システムのイベントログ	以下の手順で収集してください。 ① 「イベント ビューア」を開きます。 ② コンソールツリーで、保存するログを右クリックし、「イベントに名前を付けて保存」をクリックします。 ③ 「ファイル名」ボックスに、アーカイブログファイルの名前を入力します。 ④ 「ファイルの種類」ボックスで、ファイル形式をクリックし、「保存」ボタンをクリックします。
2		Windows システム情報	以下の手順で収集してください。 ① 「システム情報」を開きます。 ② 「ファイル」メニューの「エクスポート」をクリックします。 ③ 「保存する場所」で、ファイルの保存場所をクリックします。 ④ 「ファイル名」ボックスにファイル名を入力します。 ⑤ 「保存」ボタンをクリックします。
3	vCenter Server	vCenter Server のバージョン	以下の手順で確認してください。 ① vSphere Web Client のホーム画面から、「vCenter」 - 「vCenter Servers」を選択します。 ② ツリービューから vCenter Server を選択し、Summary 画面に表示されるバージョンを確認します。

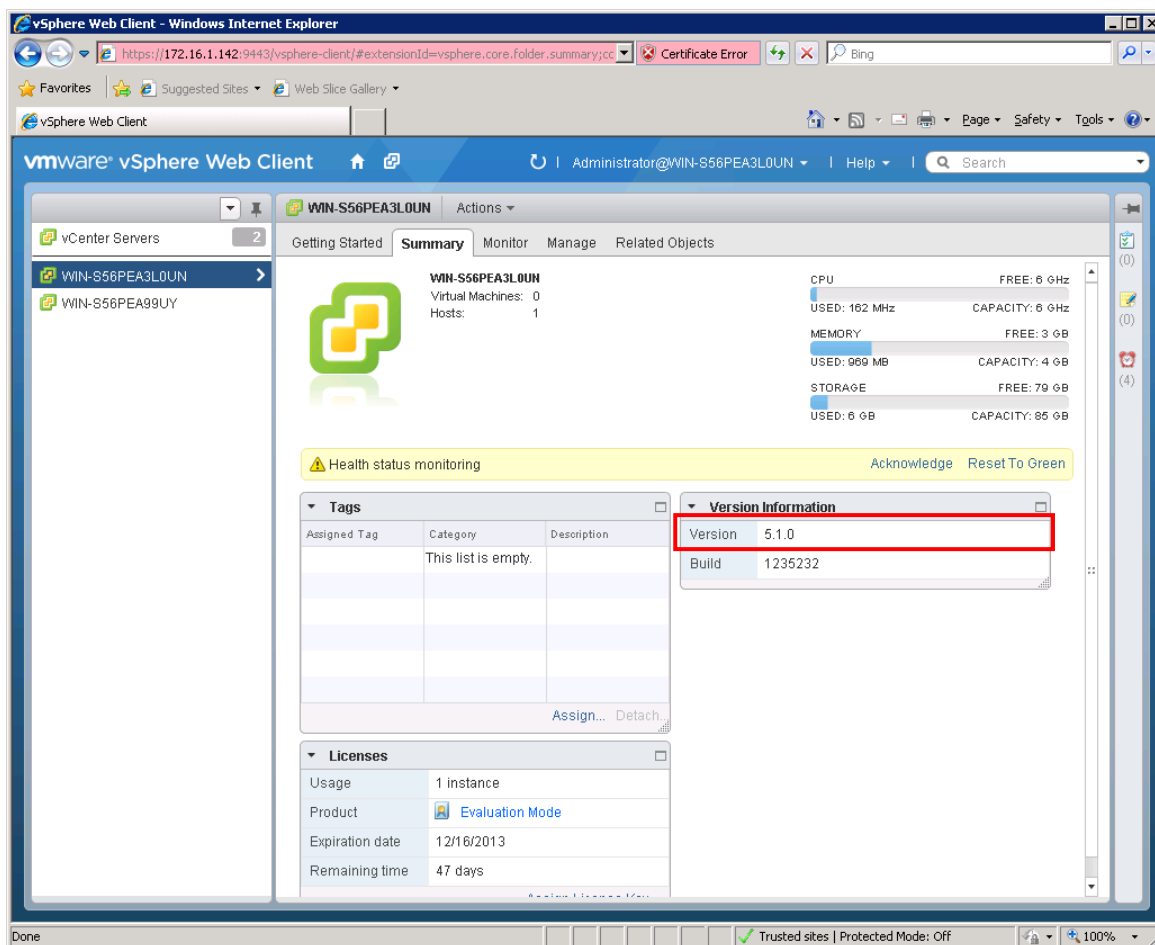


図 7.7-1 vCenter Server のバージョン

表 7.7-4 収集内容 ESXi Server

#	収集対象	収集内容	収集方法
1	ESXi	ESXi のバージョン	以下の手順で確認してください。 ① vSphere Web Client のホーム画面から、「vCenter」 - 「Hosts」 を選択します。 ② ツリービューから問題発生時に使用していた ESXi を選択し、Summary 画面に表示されるバージョンを確認します。

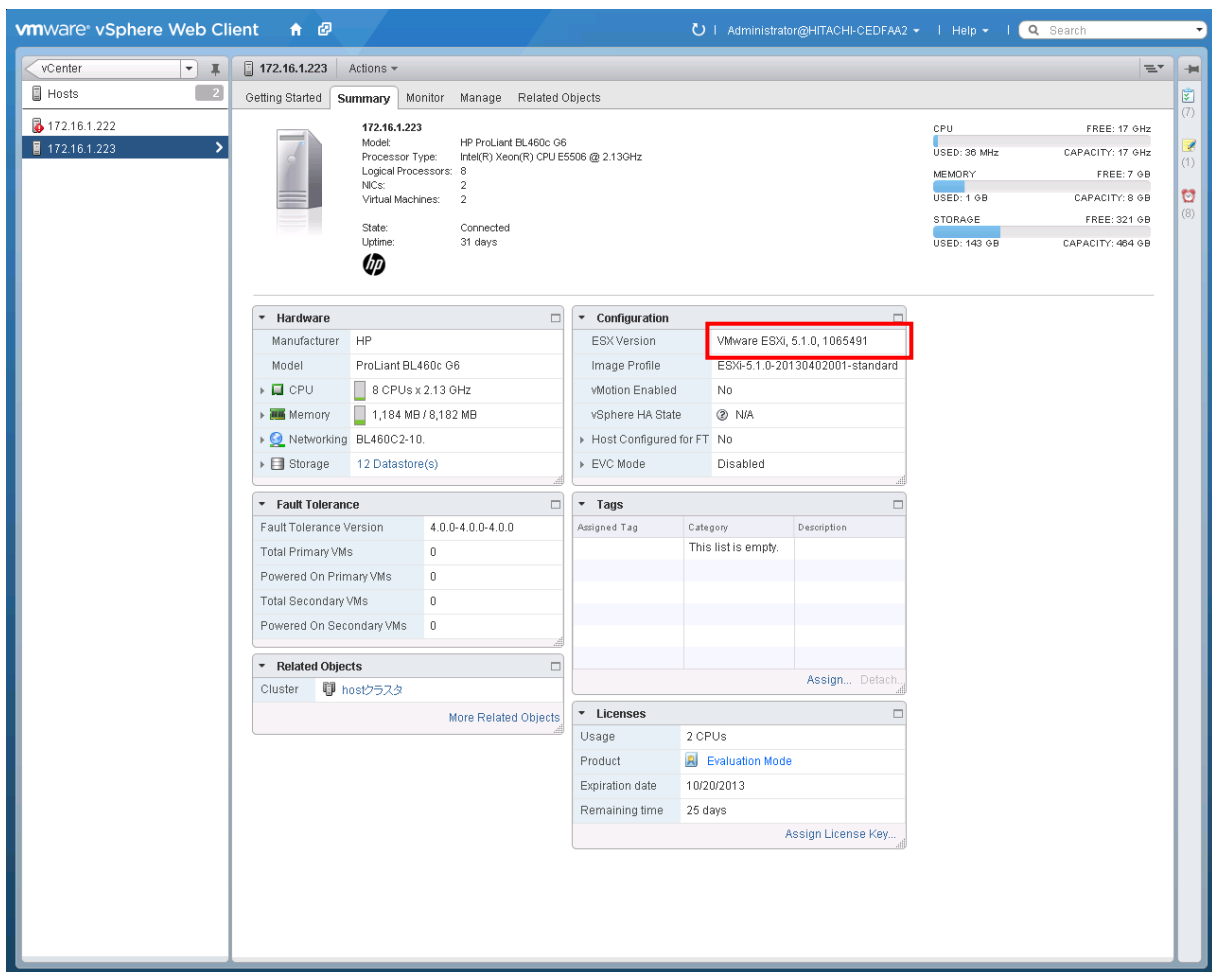


図 7.7-2 ESXi のバージョン

表 7.7-5 収集内容 日立製サーバ

#	収集対象	収集内容	収集方法
1	BS500/BS2000/BS2500/HA8000	ログ	日立製サーバの管理者に依頼し、日立製サーバの機能を用いてログを収集してください。

表 7.7-6 収集内容 HCSM サーバ

#	収集対象	収集内容	収集方法
1	Windows	Windows イベントログ (1)アプリケーションのイベントログ (2)システムのイベントログ	以下の手順で収集してください。 ① 「イベント ビューア」を開きます。 ② コンソールツリーで、保存するログを右クリックし、「イベントに名前を付けて保存」をクリックします。 ③ 「ファイル名」ボックスに、アーカイブログファイルの名前を入力します。 ④ 「ファイルの種類」ボックスで、ファイル形式をクリックし、「保存」ボタンをクリックします。
2		Windows システム情報	以下の手順で収集してください。 ① 「システム情報」を開きます。 ② 「ファイル」メニューの「エクスポート」をクリックします。 ③ 「保存する場所」で、ファイルの保存場所をクリックします。 ④ 「ファイル名」ボックスにファイル名を入力します。 ⑤ 「保存」ボタンをクリックします。
3	HCSM	HCSM の保守情報	HCSM 環境の管理者に依頼し、HCSM の機能を使用して HCSM の保守情報を収集してください。

Hitachi Compute Plug-in for VMware vCenter
ユーザーズガイド

第 5 版 (R3) 2015. 7

無断転載を禁止します。

